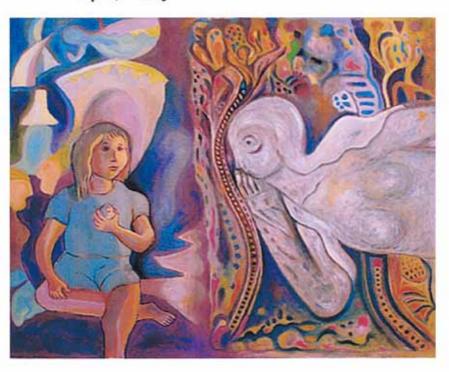




第十七子



企業OBペンクラブ

表紙の絵「追憶のはざま」

吉田 邦彦

3年前になるが、パリから3時間ほどのオータンという人口2万人弱の町にフレスコ画を習いに行った。ここにローマ時代の遺物を集めたロラン美術館があり、ほかに「イヴの誘惑」のレリーフも収蔵されている。この題材を想像してフレスコ画を描いたが、さらに展覧会用に20号の油絵にアレンジしたのが、この絵である。

アダムを禁断の世界に導いてしまったというイヴの「初体験」は、 どのような「チェンジ」を招いてしまったのだろうか……。

企業OBペンクラブ同人誌

◇うれしかった初受注 松谷 隆 38 = 特集・初体験=	◇設計変更····································	- 個人も国家も… 山縣 - 正義 - 一	 ◇変わる世界、変わる日本··········・・ 橋本 政彦 18 ◇チェンジは「攻め」を目指す······・・	下村 將陸 浩平	◇卷頭言 名誉会長 深田 祐介4 ■ 次
◇文章を書くことへの興味 田原 敬82◇幼稚園再訪 寺井 融80◇研究支援ボランテイア 吉嵜 清己78	高橋 孝蔵 慢	新新 新 西	 ◇マドリッドの中華飯店 中村 晃也62 ◇初めての不倫の代償 玉山 和夫 56 ◇家を建てる 玉山 和夫 56 ◇家を建てる	·····································	◇初参加····································

中江 肾三 孔	◇ニューヨーク二泊三日 田谷 英浩の◇英語の下手な日本人 三宅 劭の公才ペラを観る人々(ロイヤル・オペラハウス) … 都甲 昌利18		○古稀、体の変化 松浦 武弘 8○徐福夢男 小野寺満憲 6○豊洲 今昔物語 野瀬 隆平 10	半島 平尾 富雄達遠藤 俊也フォルニア・ミステリー 福本多佳子ドネシアの留学生 荘司 忠志	 ○頑張れイタリア
カットを野瀬吉田	◇編集後記	◇企業OBペンクラブのあゆみ (年表・年史) 153奥山さんと私 都甲 昌利 151奥山社長の死を悼む 高橋 孝蔵 18	◇遺稿 爺々寸感	◇800字文学館賞◇サロン21◇サロン21◇サロン21…※英語を読もう会	◇二○○九年「ペン川柳」勉強会の成果 ◇ペン俳句のこの一年佳句鑑賞 ◇掌編小説勉強会のこの一年

人体輪切り小説はアウト

名誉会長 深田 祐介

身の毛がよだつ、という感じである。 最近の犯罪事件の凶悪化、残虐化の激増ぶりには、

か。

こった女子大生殺人事件でもバラバラにされた遺体の 捜査収集に警察はいまだに追われている始末だ。 後、遺体を輪切りにして始末するような事件が、頻発 アイデア倒れの絵空事だと私は読み過ごしたのだった 「OUT」の登場にはずいぶん驚いたものだ。これ 私は主婦三人が、遺体の解体業を始めるという小 現在も頻発していることだろう。先日の島根で起 大きなショックだったのは、その後他人を殺人

ある。 飛び火して起こっているのだろうが、マスコミが巨大 もしくは潜在犯罪人のあいだに拡がってしまうので な影響力を持つこの社会では、模倣もたちまち犯罪人 保険金殺人は、例のカレー犯罪の余波があちこちに

にして言うのだが、輪切りだの練炭(火鉢) 勇気は持ち合わせていないから、自分の作風を棚上げ 臆病な私は、人間の輪切りのような凶悪犯罪を描く)利用の一

> うだが―凶悪犯罪テ―マの小説は、編集者も作家も社 酸化炭素殺人のごとき ―これは心中の場合も多いよ 会的影響を充分配慮して、執筆を遠慮すべきではな

知している。 言えば、私も自分の首を締めることになる、と充分承 界を描き出すことにある。だから恋愛小説を書くなと 小説の魅力というのは、私にとっては恋愛の甘い世

くべきものがある、といってよかろう。

そしてそのジャンルでも女流作家の活躍はまさに驚

手を振ってまかり通る恐るべき時代になってしまった らしいナツメロ小説と化し、熱愛と凶悪犯罪小説が大 今や、『チャタレイ夫人の恋人』がなつかしくも愛

評価 に憂いているのだ。 り」小説が、日本社会と文学を滅ぼす、と私は真面 戻るべきではないのか、私は真実、そう思うのだ。 「チャタレイプラス10とかマイナス10」というような 『チャタレイ夫人』のモラルと甘い作風に今こそ、 :基準ができてもいいのではないか。 「人体輪切

特集・チェンジ



私の「三つのチェンジ」

越 浩 平

大

の後父は独逸のバイエルに転職し上海に赴任した。件、第二次世界大戦が始まった一九三九年に生まれた。そ弊万平薬局に薬剤師として入局した。私は、ノモンハン事産とは呉服屋の三男坊に生まれ、薬学を学び、丸ビルの齊

私はその時ゼロ歳児で、独逸から取得した賠償船を改

戦局が激しくなり、毎夜防空壕に入る。防空壕の入り遊ぶと、私の姑娘が母親に怒られる。それが嫌だった。近、二人の弟が生まれ、私にも弟達にも姑娘(クーニャだ。二人の弟が生まれ、私にも弟達にも姑娘(クーニャだ。二人の弟が生まれ、私にも弟達にも姑娘(クーニャだ。二人の弟が生まれ、私にも弟達にも姑娘(クーニャだ。二人の弟が生まれ、私にも弟達にも姑娘(クーニャン)が一人ずつ付き、彼女らが家事育児の一切を行っていた。私は租界を抜け、中国人と遊んだ。一緒に遊んだいた。私の姑娘が母親に怒られる。それが嫌だった。 難局が激しくなり、毎夜防空壕に入る。防空壕の入り 遊ぶと、私の姑娘が母親に怒られる。時空壕の入り 遊ぶと、私の姑娘が母親に怒られる。時空壕の入り 遊ぶと、私の姑娘が母親に怒られる。時空壕の入り

口で夜空を見上げると、探照灯が闇夜を美しく照らし、

機の機銃掃射を浴び、横っ飛びに倒れて難を逃れた。記憶は無い。姑娘と市場に買い物に行った時、突然艦載が打ち出されたが、弾丸の高度が足りず、打ち落とした

ルーズベルトが突然亡くなり、日本人とドイツ人達が

爆弾や焼夷弾を落としに来たB29が捕捉され、

高射砲

いた叔父を頼り、母と私達兄弟は避難した。天津は空襲海は危ないということで、天津で塩野義製薬に勤務してが、子供心にも違和感があった。空襲が激しくなり、上肩を組んで、戦局がこれで変わると祝杯を挙げていた

かが中国残留孤児になっていたかもしれない危機だった。
 な、文は上海の国民党に召集され、薬剤師としてサーたが、父は上海の国民党に召集され、薬剤師としてサーキから無蓋貨車や有蓋貨車を乗り継ぐ間、列車は度々八津から無蓋貨車や有蓋貨車を乗り継ぐ間、列車は度々八津から無蓋貨車や有蓋貨車を乗り継ぐ間、列車は度々八津から無蓋貨車や有蓋貨車を乗り継ぐ市、列車は度々八本の時被災し、家族がばらばらになっていれば、兄弟の誰としてサーたが、父は上海の国民党に召集され、薬剤師としてサーたが、父は上海の国民党においた。

い、ちぎって味噌汁に入れて食したのが懐かしい。

も少なく、毎朝、大きななつめの入った万頭と油条を買

ら だ。出入りにつまずき、泣きながら襖や障子をぶち破っ ら玄界灘を渡り仙崎港に着いた。仙崎から下関を回り、 艇母艦)だ。この母艦は魚雷探知機が付いていないか に頭からDDTやBHCをかけられ、 り二つ目のチェンジが始まる。小学校では、虱や蚤退治 りて移り住んだ。一つ目の大きな「チェンジ」だった。 ていたそうだ。まもなく三春の父の実家裏に一軒家を借 山市で日本の生活が始まった。私は文化の相違に戸惑っ 山陽、東海道、 られ悔しい思いをした。引揚船はLST(大型上陸用舟 全て押収された、私の大切にしていた独逸製のペンも取 ない。どこの港か不明だが、最後の検問所では貴重品は が、一つは必ず押収された。どういう訳か全部は押収し 京虫と呼ばれている高級な腕時計を幾つか所持していた 父が一年後に引揚げて、事業を起こすためトラック一 昭和二十一年日本国憲法が公布され、新生日本が始ま 各所の検問所では点呼と荷物検査が行われ、 中国の家の出入りはドア、 いつ接触、沈没してもおかしくない等と脅されなが 東北線を乗り継ぎ、母の実家、福島県郡 日本は引き戸に襖、 肝油を飲んだ。 母親は南 障子

台で東京に引っ越した。利根川の栗橋検問所では荷物検

済が混乱し日本も深い傷を負い、時を同じくして私の会 ズルチンだった。当時の人々は甘い食品に飢え、耳掻き が上海で布団の縁に縫い込んで持ってきたサッカリンと 破綻と、平成二十年、リーマンが破産して米国型金融経 も高度成長を享受した。しかし、サブプライムローンの は朝鮮戦争の特需に助けられ成長し、会社勤めの私自身 の奥歯を削り金歯の下に埋め込んだダイヤだ。日本経済 一杯でとてつもなく甘い薬品は高価だった。あとは二本 査があり、闇米が見つからないよう震えていた。 日本に蓄財していた持ち山は既に処分され、資金は父

同じ系譜を持つ、三つ目のチェンジの始まりだ。 平成二十一年の鳩山政権交代は、オバマのチェンジと 地域社

会や団体利益のしがらみで選挙していた国民が、その呪

社勤めも終了して、二つ目のチェンジが終わった

生」を生きていると言った。同感である。 縛から解かれた選択を行い、変革の芽が生まれた。 氏は、これを第二の民主制と言い、「一身にして三 官僚政治、土建国家から変われるか。政治学者の篠原

「友愛精神」を世界に

村 將 陸

中

「イラク特措法」、「郵政民営化」、「普天間基地移設問題」になったものと思う。民主党の地滑り的大勝が現実のものになったからだ。自民党は一九五五年の結党以来、はのになったからだ。自民党は一九五五年の結党以来、はのになったからだ。自民党は一九五五年の結党以来、はのたみると今回の選挙は民主党の勝利でなく、自民党前えてみると今回の選挙は民主党の勝利でなく、自民党前になっために負うところが大きかったのではないか。

新政権に対する不安と期待をまとめてみたい。改革、大胆なチェンジが実現することを実感した。以下、も、そこには限界があり、政権交代によって初めて真のえる。同一政権内で、改革がいかに大きな声で叫ばれてえる。同一政権内で、改革がいかに大きな声で叫ばれてえる。同一政権内で、改革がいかに大きな声で叫ばれて

● 日米関係の危うさ新政権に対する不安と期待をまとめてみたい。

財源の裏付けのない政策

ソリンの暫定税率の廃止」、「農業の個別保障制度」等々「高校の授業料無料化」、「高速道路料金の無料化」、「ガその主たるものに、「月額二万六千円の子供手当の支給」、財源の裏付けのない政策が乱発されていることである。財源の裏付けのない政策が乱発されていることである。

挙した政策の実現には、膨大な政府債務残高が立ち塞ががある。政権が目指すものが、必ずしも実現できるとはがあり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのいい政策を乱発があり、けだし至言である。耳当たりのい政策を乱発があり、は、以下、とめどもない赤字国債を増発するのではないかと思えてならない。日本の政府債務残高が立ち塞ががある。政権が目指すものが、必ずしも実現できるとはがある。政権が目指すものが、必ずしも実現できるとはがある。政権が目指すものが、必ずしも実現できるとはがある。政権が目指すものが、必ずしも実現できるとはがある。

超えている。また、日本の自殺者率は先進国のなかで、の主要国の中で、米国と並んでトップクラスの十五%を様々な改革を推進した。この結果、日本の貧困率は世界一方、貪欲な市場原理主義を信奉していた前政権は、

るのではないかとの疑念が消えない。

「友愛精神」を世界に

公言している。この点を私は率直に評価したい。鳩山政権は、政策の重点を「人間」にシフトすることをずば抜けて高い。「友愛」を標榜して花々しく登場した

一九九〇年代に始まったバブル経済崩壊後、我が国経 年といわれている。この間、中国をはじめとする新興国 の発展には目覚ましいものがある。しかし、これら諸国 の発展には目覚ましいものがある。しかし、これら諸国 が短期間に獲得した価格競争力が、果たしてフェアー・ ドレードに基づくものであるかどうかを検証する必要が トレードに基づくものであるかどうかを検証する必要が を放置するなら、日本の雇用の多くが不法労働性、公害 重れ流しによるものとしたら看過できない。こうした慣 できわれ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の政策の実現は甚だ に奪われ、「友愛」による人間重視の労働者を奴隷労働 との国際機関と連携し、これら諸国の労働者を奴隷労働

精神」を広く世界に向けて叫ぶ努力を惜しんではならなから解放する方策を追求すべきである。政権は、「友愛との巨際秩界と返找し、これら計巨の労働者を妨款労働

· V

「マーケティング」について

部洋己

阿

者としての教育を行うのだ。

者としての教育を行うのだ。

者としての教育を行うのだ。

者としての教育を行うのだ。

者としての教育を行うのだ。

「阿部塾」をマーケティング塾としてスタートさせるついたところに「経営塾」の依頼が重なったので、当初は向」に欠けているということであった。大企業とまでは向」に欠けているということであった。大企業とまでは断けることになって感じたことは、中小企業の経営者は掛けることになって感じたことは、中小企業の経営者は掛けることになって感じたことは、中小企業の経営者は

もりでいた。

環境、仕組みを作るかということである。 しかし、人間的に問題のある人物にマーケティングだ がなければ人は動かないということも事実であろう。し がなければ人は動かないということも事実であろう。し がなければ人は動かないということも事実であろう。し がなければ人は動かないということも事実であろう。し かし、経営者の本来の情とは、従継者としての心構 のココロ」と題して、後継者としての心構 での一つは「情」のココロである。経営者、上司が従 その一つは「情」のココロである。経営者、上司が従 での一つは「情」のココロである。経営者、上司が従 での一つは「情」のココロである。経営者、上司が従 での一つは「情」のココロである。 を測して、後継者としての心構 を変にした。以下は、塾の開催の なければ人は動かないということである。

に汗を流そうと常に語り、先頭に立って走るのだと説い業員は働き甲斐があるのだ。その夢の実現のために一緒での事を熱く語れ。その夢があるからこそ中小企業の従その夢を熱く語れ。その夢があるからこそ中小企業の従その夢を熱く語れ。その夢があるからこそ中小企業の従こつ目が最も重要な「志」である。 大きく持ち、三つ目が最も重要な「志」である。 人間として持ち合わ 二つ目のココロは「心」である。 人間として持ち合わ

ている。

ることは比較的容易に分かるが、不特定多数の場合は厄前にいる相手、あるいは特定された相手なら、欲していることをいかに満たすかということであろう。つい目のマーケティングとは、せんじ詰めれば相手が欲してい

介である。

適なものはない。年配の上司に、何十年か前の体験をは一日で忘れろ」と語っている。人間、成功体験ほど快なフーケティングとは「チェンジ」の連続である。とマーケティングとは「チェンジ」の連続である。るとマーケティングとは「チェンジ」の連続である。るとマーケティングとは「チェンジ」の連続である。るとマーケティングとは「チェンジ」の連続である。いわゆる一般消費者といわれる相手の欲しているものいわゆる一般消費者といわれる相手の欲しているものいわゆる一般消費者といわれる相手の欲しているもの

けははっきり覚えていて忘れないのがやはり成功体験あるだろう。最近とみに物覚えが覚束ない。昔の記憶だあるだろう。最近とみに物覚えが覚束ない。昔の記憶だあるだろう。最近とみに物覚えが覚束ない。年配の上司に、何十年か前の体験を適なものはない。年配の上司に、何十年か前の体験をは一日で忘れろ」と語っている。人間、成功体験ほど快は一日で忘れろ」と語っている。人間、成功体験ほど快は一日で忘れろ」と語っている。人間、成功体験ほど快は一日で忘れろ」と語っている。人間、成功体験ほど快は一日で忘れろ」と語っている。

ある。そう考えると、人間いくつになってもチェンジのだ。これを忘れて、自身をチェンジして行くのは大変で

連続でなければならないのだ。

標準が、ある革新によってその標準が取って代わられ、ド」なる用語がある。従来、世間に一般に通用しているマーケティング業界でも「ディファクト・スタンダー

行くプロセスこそが、マーケティングで成功するための消費者のニーズにマッチする、その革新を作り出して

ら、消費者はその革新商品に移るだろう。

一つの大きな要素である。

て、クラブの仲間への感謝に代えたい。に、このペンクラブは絶好の機会であることを言い添えに、このペンクラブは絶好の機会であることを言い添え自分自身のディファクト・スタンダード作りのため

マーシャの変貌

田 邦 彦

吉

十年ほど前、ウズベキスタンから東京の大学に留学した我が家のホストドウター、マーシャはストレスから拒食症になって、心ならずも中途退学して帰国した。二〜食症になって、心ならずも中途退学して帰国した。二〜も月に一度くらいのペースでメールを送ってきて、互いも月に一度くらいのペースでメールを送ってきて、互いも月に一度くらいのペースでメールを送ってきて、互いた我が家のホストドウター、マーシャはストレスから拒る方法が家の大学に留学し

ろ、二つ返事で応じてくれたので、二人で出かけること すっかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン ないかと探し、小学校時代の同級生でトルコのイスタン

今から六年前のことである。夕闇のタシュケント空港に着いたとき、もともと可愛いかった彼女は、今は皮コートにぴったりしたGパンを着こなして、以前の少女コートにぴったりしたGパンを着こなして、以前の少女のままでいてほしい私の気持ちとは裏腹に、大人の成熟のままでいてほしい私の気持ちとは裏腹に、大人の成熟のまでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。ナでは祖母が元気で、料理、洗濯、掃除の中心という。

四日間かけて古都をめぐりながらタシュケントへ帰るこコンスタンチンという屈強の男。ウルゲンチから順番に旅行が始まり、専用タクシーで出かけた。ドライバーは旅行が始まり、専用タクシーで出かけた。ドライバーは明に乗じ、私はロシア民謡をいくつか歌った。学生時興に乗じ、私はロシア民謡をいくつか歌った。学生時

とになる。

となった。

食卓を飾った。

人々の輪の中に入ってしまったが、そのときの彼女は大る所で二人は物珍しさも手伝ってマーシャから離れて拐されることの無いよう細心の注意をはらっていた。あに飛び入り参加させてくれた。彼女は私たちが万一、誘る傍ら、行く先々で知人を我々に紹介し、地元の結婚式

りだった。私はそんな彼女がとてもいじらしく、二度とだった」というので、二人は「ごめん、ごめん」と平謝て、眼にいっぱい涙を浮かべ、「無事でよかった、心配て、眼にいっぱい涙を浮かべ、「無事でよかった、心配二人を見ていなかったかと怒鳴りつけて叱った。大の男二人を見ていなかったかと怒鳴りつけて叱った。大の男変だった。大声で捜し求め、コンスタンチンにどうして変だった。

ガイドだけあると感心した。出番がないほど、口達者で、堂々としていて、さすがは

たようで、それが次第に逆転していったように思われた。と一緒だった。最初は妻のいる彼の方から彼女に接近しりして、一体どうなっているのかと思った。やはり彼氏ウインザーホテルでスキーをしている」と電話があったけん、一体どうなっているのかと思った。その後の彼女一年後、彼女はモスクワに職を変えた。その後の彼女一年後、彼女はモスクワに職を変えた。その後の彼女

シャになった。

まが家で当時の写真を見たり話をすると、かつてのマー我が家で当時の写真を見たり話を見張った。それでも、現れたとき、その変身ぶりに眼を見張った。それでも、た。見るからにゴージャスな黒テンの毛皮コートを着て

マーシャを困らせないと誓った。

楽しみに見守ることにしている。は普通?の結婚でもするのか。たくましい彼女の変貌をた。今年の彼女はどのような変貌を見せるのか。あるい中斐のある、忙しい会社に職を変えたことを伝えてき甲斐のある、忙しい会社に職を変えたことを伝えてき

採用から育成へチェンジ!

清 水

勝

づく思うことがある 企業を定年卒業してみて、 いい時代に育ったなとつく

けていたのでそれなりのポジションが与えられ、仕事へ た。年功序列であり、出世競争はあったがそれほど所得 の張り合いもあり、責任感もあった。 格差はなかった。むしろ高度成長の中で、業容拡大し続 や上司にくっついて、見よう見まねで仕事を覚えていっ 我々の時代は終身雇用を前提とする社会であり、 先輩

経済=バブルの崩壊であった。

ごしてきた。 も整っており、まさしく家族的な風土の中で安心して過 企業にもゆとりがあり、家族寮をはじめ福利厚生施設

まった。ある意味では我々もその片棒を担いで、株式に と浮かれ過ぎてしまい、いわゆるバブル期に入ってし あって一九八○年代後半には、金融緩和により蝶よ花よ ところが、いつまでも成長し続けるとの思い込みも

銀座にと実態経済とは別のところで活躍していたようで

もある(反省!)。 当時は新入社員も大量採用され、独身寮の建て直しま

崩壊し出した。それ以上に崩壊したのは実態のない虚業 からだ。実力主義が叫ばれたこともあって、終身雇用は は困らなかったことから転職が増加し出したのもこの頃 人を教育するゆとりもなく放置してしまった。就職先に でして甘やかして入社させた。先輩社員は超多忙で、新

ある。 る。大きな社会問題を提起しているのはご承知の通りで らフリーターもいまや三十六歳~二十八歳になってい きない者はフリーターにならざるを得なかった。その彼 り、企業存亡の危機対応であった。大学を出ても就職で ゼロか少数という事態だった。採用よりもリストラであ そして現れたのが就職氷河期といわれる新入社員採用

られたのは即戦力である。何しろバブル崩壊以降は採用 や人手不足になり、採用数が増加し出した。そこで求め 失われた十年を経て二〇〇二年以降は景気回復となる

りやって貰わないと間に合わない事態なのだ。そこで入 数が少ないことから、その分の仕事を新入社員にいきな 社後の助走期間を短縮し、仕事を細分化して担当させ

感を漂わせ、企業をリードしていくような憧れの上司像 描くことができない。相談相手になる先輩社員は少ない しまうケースも出てきた。これが七・五・三といわれる とは大違いである。働く魅力を感じなくなって離職して 上に、多忙で且つ年齢差がある。課長はというと、疲労 新入社員にしてみれば、全体が解らず、将来展望すら

若者への接し方を知らない上司にも課題がある。 らないと批判するのは簡単であるが、一方では前述の企 ミュニケーション不足は若者の孤立化を招いているし、 業側の状況も無視できないと思う。特にIT化によるコ

早期離職問題である。

早期離職については、最近の若い者は耐えることを知

気の時にはコストを掛けて優秀な人材の確保に走り、景 気が悪化すると採用数を減らし、育成コストも削減して 大きな流れから見ると、そもそも企業の採用が、好景

しまうところに難がある。

あると思われる。それだけに採用・育成姿勢のチェンジ 人材の長期育成計画に欠けるところに根本的な問題が

たり、ビジネスマンとしての成功方向を模索中であると が望まれるところである。 若手社員そのものは、今は企業人としての形成期に当

考えて育成して欲しい。 直ないい学生である。関心領域には意欲的に取り組 学生諸君と接していて思うのだが、総じて真面目

も少なからずいることは知っておいたほうがいい む。ただし、教えないと何をしていいのか判らない学生

「ゆとり教育世代」が社会に進出し出すだけに、その個

性をうまく発揮させる人材育成に力点を置く企業が、こ

れからの成長を確かなものにすると思う。 人社後の成長、若手社員への期待は、企業の確かな成

長に繋がる。 育成重点にチェンジ!

-15-

真剣に取

り組

関心のないことも教えられれば素直に、

チェンジは「攻め」を目指す

垂 水 健

党の手に移った。それも一時的なものではなく、長く続 ごく短い期間を除き自民党が握り続けてきた政権が民主 きそうな雰囲気である。 りつつある」ことを肌に感じさせるものであった。戦後 二〇〇九年夏の総選挙は「日本が変わる」とか「変わ

与える。これまでのような生き方でいいのかと真剣に考 な「チェンジ」の流れが地球を覆っているような印象を 的な金融不況が吹き荒れたことを重ね合わせると、大き 統領の勝利と日本で民主党政権が誕生したことや、世界 掲げた民主党のオバマ大統領が誕生している。オバマ大 これに先立つ○八年十一月に米国で、「チェンジ」を

える人もいるだろう。 は二十年くらい前から始まっていたのではないか。二十 ろうかと私は疑問に思うことがある。国際的なチェンジ ところで果たして「チェンジ」が、いま始まったのだ

> な生き方を許さない、深刻で厳しい変化なのかも知れな きたチェンジは表面的なものではなく、これまでのよう チェンジが軌道に乗る助走だった。だから、いま見えて ために、チェンジが注目されているが、この二十年こそ を、自由や平等を求める声は次第に大きくなってきた。 安門事件が起きている。こうした事件を通して、変化 年前の一九八九年十一月に東西ドイツを分断していたべ ルリンの壁が破壊された。この年の六月には、中国で天 オバマ大統領がチェンジをスローガンに選挙を戦った

たく逆で、それがアウト三つで攻守を交代する。それは ンチは漢字で〝天地〟と書く。野球の攻撃と守備はまっ ンジって何や」と上級生に聞いたことがある。 ともに草野球で覚えた。意味は分からなかった。「チェ である。大阪で育った小学生のころ、アウトやセーフと いう。私はしばらくそれを信じていた。いまでもテレビ 天と地が逆転するのと同じようなものなので、天地だと 「教えたろか。´テンチ゛のことや」。説明によると、テ 私が覚えた英語の中で「チェンジ」は比較的早いもの いと思う。

が当たり、交代させられる方は敗者である。野球のチェチェンジといえば交代して誕生する新しい勝者に焦点の野球を見ていて「テンチか」とつぶやくことがある。

ざまな悲劇に密かな期待を寄せているのではないか。穏やかなものではなく、チェンジによって生まれるさまくれるような期待感がある。だが一般の人の目はそんなンジとは異なる。チェンジが新しい価値観を生み出して

くれている。

のころの。 のしこりを浄化する意味に置き換え、悲劇の目的をカタのしこりを浄化する意味に置き換え、悲劇の目的をカタテレスはこの言葉に、悲劇を見て涙を流すことで心の中することを意味していた。ギリシャの哲学者、アリスト

ギリシャでは病気の治療のために悪い血液を体外に排泄

カタルシスというギリシャ語がある。もともとは古代

気持ちをとらえることができるか、悩んでいる。祭を重く見る仕事が変化している。どうすれば有権者の人も多い。代議士や地方議会の議員のやっていた冠婚葬議員が生まれる可能性が少なくなるなど、被害を受ける民主党の勝利で天下りできなくなる人がいたり、世襲

新聞やテレビを見るものにカタルシスの材料を提供してによる価値観の変化は、政治の世界だけでなく、日々、な情景を見て、心のしこりをとることである。チェンジ白い。チェンジで何か変化があったとすれば、このよう

に違いない。やはり世界は変わってゆきそうだ。チェンスを見つけるために、新しい攻めのチェンジに挑戦するカタルシスの価値に気づいた人は、また次のカタルシ

ジには深い意味がある。

り」であり、何かへの「攻め」や「挑戦」ではない。まり友人の関心を呼ばない。禁酒は私にとっては「守前に酒をやめた。私にとっては大きなチェンジだが、あ私はかなりの酒飲みだったが、体が気になって十数年

人々はこんな変化に興味はない。

こんな時代には攻めの生き方こそが本流なのだと思う。誰にも影響を与えない。「チェンジ」という言葉を聞くと、く、やはり「攻め」でなければ面白くない。「守り」はチェンジが目指すものは、禁酒を例に挙げるまでもな

変わる世界、変わる日本

本 政 彦

節目には子供の成長を祝い、ご加護を祈ったのがお祝いりものとされて、縁起のいい奇数の歳、七、五、三歳の

橋

大漏れ日の暖かい午後、高台の公園から遠くに湖面と大場れて見えます。眼下には、学校があります。まて人気のない運動場を見下ろしています。オリーブ色のコートを着た若い女性がただ一人うつむき加減に散策しコートを着た若い女性がただ一人うつむき加減に散策しコートを着た若い女性がただ一人うつむき加減に散策しています。静かな小さな公園の午後です。二日前の雨のています。静かな小さな公園の午後です。二日前の雨の古残でしょうか、湿って黒ずんだ地肌が見えます。あちています。静かな小さな公園の午後です。

もそれを窺うことが出来ます。

十一月十三日夕刻、オバマ大統領が初来日し、アジア

たようです。それで七歳までは神の子、神様からの預かまで生きること、育てることは切実で、大変なことだっでも幼子の死亡率が高かったせいで、三歳、五歳、七歳本ではほとんど聞かなくなりました。しかし、昔は日本ルの進歩のお陰で、幼児の亡くなる悲しいニュースを日ルの進歩のお陰で、幼児の亡くなる悲しいニュースを日

るようです。バラク・オバマ大統領の日本での演説から供の心に生き続け、その後の人生を左右するパワーとなそう大きな違いはありません。親のこんな愛情は終生子とはいえ、子供の成長への親の心配り、期待は昔も今もの由来と聞きます。今はその切実さは希薄になっているの由来と聞きます。

歴訪の旅を日本からスタートさせました。そして、秋雨 なる十四日午前中に、東京サントリーホールで「今後の 小歳のころインドネシアに向かう途中に立ち寄ったと思 かれる、母親アンとの鎌倉での一日の思い出から始めら れています。「Some of you may be aware when I was a young boy, my mother brought me to Kamakura —」 この後には、さすがに世界一のアイスクリーム消費国 の大統領らしく、アイスクリームの話題を持ち出し、さ

らに日本の発明だとされる抹茶アイスクリームを食べた

て日本にどんな変化をもたらすのでしょうか。た四十八歳と若いオバマ大統領の登場は、世界に、そし点です。さて、「Change」をスローガンにデビューし思い出に結び付けるなど、ユーモア、サービス精神も満

の別離は新たな世界との遭遇でもあります。現世界の覇

人はいずれ老いてこの世を去らねばなりません。

親と

化などで世界多極化の流れが加速しています。昨年十一ともいわれましたが、この予測は外れ、中国の経済大国目、ベルリンの壁が崩れ、二十一世紀は米国繁栄の世紀日、ベルリンの壁が崩れ、二十一世紀は米国繁栄の世紀ともいわれましたが、この予測は外れ、中国の経済大の世紀ともいわれましたが、この予測は外れ、中国の経済大の世紀ともいわれましたが、この予測は外れ、中国の経済大国を維持こそを国家運営の柱に据え、六十年間の安定を維係維持こそを国家運営の柱に据え、六十年間の安定を維係維持こそを国家運営の柱に据え、六十年間の安定を維係をいわれましたが、

しょう。これは、わが国の国防政策、科学技術分野での位性を維持すべく、その質的充実に一層邁進することで国は残り二つのパワーである軍事力、科学・技術力の優国会議の影響力は拡大傾向です。日本の頼った米国の経国会議の影響力は拡大傾向です。日本の頼った米国の経

新しい視覚化、その行動プランが命運を分けるようです。ました。変動の著しい現在を乗り切るには、この箴言の福沢諭吉は、「独立自尊」の言葉に日本の未来を託し

米国との新しい関係構築を必然化する要因となります。

G20首脳

ドル信認への疑問符を付きつけていますし、

月九日には、金の価格が千百十ドルの高値の壁を突破、

エンジの前に

平

大

忠

年(一九〇九年)十月、丁度百年になる。 伊藤博文がハルピン駅頭で暗殺されたのは明治四十二

十一年までに相次いで亡くなり、それ以後日本の国つく を作ったことと少々女好きだったぐらいである。 ど高いとは思えない。世に知られているのは、明治憲法 比較的少なく、伊藤の人気も当時から後世にかけてさほ りのリーダーは伊藤が約三十年勤めたといってよい。 ところが、三傑に比べて伊藤について書かれたものは 維新の三傑、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允が明治

調整型の政治家にみえる。この種の政治家が大向こうか らに権力の均衡を配慮して、円滑に処理していく妥協・ する筈もない。従って、国民的人気が沸かず、評価も高 ら喝采を博することはなく、当然新聞等言論界に大受け い。その時々の政治案件を、世界情勢、日本の実情、さ 伊藤は、確たる思想・信条を持っていたとはみえな

> まらなかったのであろう。 しかし、最近、伊藤こそは政治家らしい政治家であっ

国の立場で考える眼と頭を持っていたことである。 際立っていた点が一つある。世界の中での日本を、 たと思うようになった。他の政治家と比べ、少なくとも 相手

伊藤は当時の日本人の中では、海外渡航歴が一番多い。

だ。さらに、博文の名の所以でもある読書家で、国内に 法が生まれた背景を調べる過程で、各国の歴史を学ん 明治憲法の作成にあたっての渡航では、西欧各国の憲

う。 た。毎日、馬車の中でも英米の新聞を読んでいたとい 留まらず、厖大な諸外国の書籍を取り寄せ目を通してい 西欧諸国の歴史と現状に精通し、 列強がアジア諸国

と日本をどう見ているかの情報を絶えず収集していた。

終わっての三国干渉への対応など、 う他ない。例えば、日清戦争前における列強との外交、 をみると、常に相手国よりも一歩先んじており見事とい その点では、伊藤に匹敵し得る政治家を他に知らない。 伊藤の日清・日露両戦争時において打った政治諸施策 陸奥宗光と共に、伊

藤の読みと行動は実に的確であった。

野においての動きが、日本を救ったといってよい。し、あるときからは講和締結を急がせた。この世界を視めイギリスに末松謙澄、アメリカに金子堅太郎を派遣

日露戦争では、

戦争が始まるや、

国際世論の形成のた

隊を駐留させることは許されないと。シアから譲られた権益は別として、他国である清国に軍郎、児玉源太郎を怒鳴りつけたことがあったという。ロ戦争が終わり、満州における軍の行動について、桂太

る見識の相異はあまりに大きく、国の運命を変えた。大隈は国民に人気はあったが、伊藤と大隈の外交に関すはその後の日本外交の混迷の出発点となったのである。本を見誤るなと激怒したことであろう。対華二十一ヵ条本を見誤るなと激怒したことであろう。対華二十一ヵ条の月職があと六年長生きしておれば、世界の中での日もし伊藤があと六年長生きしておれば、世界の中での日もし一九一五年、大隈は対華二十一ヵ条の要求を行ったが、

ある政治家はいなくなってしまった。

間は、韓国でも日本でも少なかったに違いない。…」と最後に吐いた伊藤の心中を察することのできた人のは伊藤であった。ハルピン駅頭で倒れて「馬鹿な奴だ

また、韓国についても、自立の問題に心を砕いていた

これらの大陸における日本の行動について、伊藤が危

じ取っていたのかもしれない。と国益を害する火種にならないか、皮膚感覚で危機を感察していたからであろう。それらが、ひいては将来大きな国益を害する火種にならないか、皮膚感覚で危機を感なしていたからであろう。それらが、ひいては将来大きな国益を害する火種にならないか、皮膚感覚で危機を感覚していたのは、目先の利権獲得のためだけの旧来の帝性していたのかもしれない。

き後、世界の中の日本の立場を真に理解し憂慮する実力身に背負って外交活動を行った政治家であった。伊藤亡れる」と言った。まさしく伊藤は、この意味の重みを全ド・ゴールは「国家は外交によってその存続が保障さ

う。いや、資質というべきかもしれない。危機感は、現代の政治家が備えるべき必須の要件であろ持っていた、世界の中で日本はどうあるべきかの感覚と持率でいた、世界の中で日本はどうあるべきかの感覚と

の思いを、しかと肝に銘じていなければならない。ンジを唱える前に、外交には国の存亡がかかるとの伊藤いかなる時代においても、一国の首相は、声高にチェ

偽りのチェンジなのか

大 野 ただし

☆年(○九年)はオバマ大統領の当選にはじまって、

が圧倒的でした。

の年であった、といわれています。民主党の大勝、鳩山由紀夫総理の誕生とチェンジ、変革

なるかと心配されています。また双方にとって沖縄の基地問題が不協和音の原因に境に立ち、民主党内閣も水膨れ予算に困惑しています。ただ、最近十一月にもなると、オバマは医療問題で苦

点をお聞きしましたが、「任期中四年以内」とのご回答外です。選挙のときの民主党の発言は「即刻廃止」と聞外です。選挙のときの民主党の発言は「即刻廃止」と聞くたのですが、私の聞き違いでしょうか。

ない人もいますよ」というのを忘れてしまいました。でした。その時に「後期高齢者の中には四年も生きられ

沢が代表を辞めたから民主党に入れてみた」という仲間ようなことを書いています。しかし、私の周りでは「小たと信じています。マスコミは「小沢で選挙を勝った」

私は個人的には今回の選挙の大勝の原因は彼女が作っ

山洋子さんは今回の選挙の最大の功労者です。 その意味で最初に小沢の首に鈴をつけようとした小宮

私見では、小沢に邪魔をされながら、鳩山内閣はよく金を貰わないと何も書かないように堕落したようです。田中角栄に金を貰う習慣をつけられてから、マスコミは

し、もっと予算が削れるはずだという民主党議員に対すなどは国民が一番望んだことではないでしょうか。しか頑張っている、と思います。公開で行われる事業仕分け

るがっかりした気持もあります。

れている」と話したそうです。
連中に足を引っ張られてできなかったことを、やってくねたときに、小泉さんが「民主党は今僕が自民党の議員ねたときに、小泉さんが「民主党は今僕が自民党の議員

この話に関連して、その昔、小泉さんが当時の前原元

代表にエールを送っていたことを思い出します。

税金」という感覚が全くない今までの政治家と官僚の馴 に反対しているのは前原誠司国土交通相です。「国民の いいなりになっている中で、毅然として八ッ場ダム建設 今の民主党の閣僚を見ると、ほとんどの閣僚が官僚の

れ合いにまさに一石を投じた、と心から喝采しています。

そのしわ寄せが集まった。小泉・竹中の経済政策が悪 かった」というものですが、果してそうでしょうか。 なったのは、小泉の経済政策で格差社会ができ、地方に ここで「小泉さんは何故あんなに大勝できたのか」と 現在の自民党のスタンスは「地方がこんなに不況に

「郵政民営化」とは一体何だったのか

いう原点に帰って考えて見ましょう。

ばら撒き政策に対する、小泉のノーという挑戦でした。 これは田中、竹下が作りあげた経世会による地方への

をもっています。東西ドイツが合併したときには、プラ サラリーマンと向こうのそういう立場の人との余りにも 大きな格差です。東独の人たちは別荘と一人に一台の車 最近東独に行って私が実感したことは、日本の普通の

> こから来るのでしょうか。その問題の焦点が「都会の利 た。これに比べて我々日本のサラリーマンの貧しさはど スティックの車が走っていた国が十年で様変わりしまし

益を田舎に流す」田中方式にあったのです。 た」といわれるべきです。 従って地方の衰退は当たり前で「小泉さんはよくやっ

笈を負うて都会に出た若者たちは、その利益を政治家

頭の悪い連中は、土建国家というとんでもない現実で食 と官僚にむしりとられました。その間田舎に残った少し いつないできたのです。その毒が全身に回っただけです

るのです。「税金は公平に配分されるべきだ」と。 失によるところが大です。都市生活者は本当に怒ってい から、早く潰した方がよいのです。 民主党の今回の勝利も「地方重視」という自民党の敵

民主党の問題児は何と言っても小沢一郎です。

仏さんに続き、そろそろ小沢に天誅の時期到来ですか。 ていますが、自民党にはいません。私流にいうと、お陀 の一人です。今小沢、羽田、渡部と三奉行が民主党に残っ ご存知のように、田中角栄の秘蔵っ子で、竹下七奉行

悪しき生活習慣を変革! 個人も国家も

山縣正靖

慣をチェンジした。 変革!のハッパにこたえて、まず老骨が悪しき生活習

かみさんの 小言肴に 酒を呑み

ここ何十年、毎日呑んでいた男が週二回の休肝日をも

これで解決した。難題解決にはノンアルコールビールとゆえたキリンフリーで乾杯というわけで、年来の難題がはキリンビールが発売したノンアルコールビール(0.はキリンビールが発売したノンアルコールビール(0.

いう鼻薬が効いたのである。

これからである。これから四年間はマニフェストどおもやられた覚せい剤中毒になっている。中毒との戦いは円の概算要求だというのだから、日本はもはやノリピー赤字の国家財政である。税収四十兆円の国家に九十五兆次に、わが国家の悪しき生活習慣の最たるものは、大

なければならない。り、毎年ムダな事業支出を仕分けして支出をストップし

しかし、ムダな財政支出削減に対して官僚組織は冷やかである。お手並み拝見どころか、陰湿な反抗、削減やかである。お手並み拝見どころか、陰湿な反抗、削減やかである。お手並み拝見どころか、陰湿な反抗、削減をかである。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党る。今、民主党に協力したとみなされたら、後で自民党を対して官僚組織は冷やない。

の復活は無いよ、と引導を渡す必要があるのだ。か。官僚組織を動かすには、ここ四年間、国会で旧勢力旧与党の切り崩し、抱き込みを図るのも判るではない某幹事長が次ぎの参院選挙でダメ押しの勝利を目指し、このようにマニフェストの目玉が危機的状況だから、

ノンアルコールビールと同じで、変革の起爆剤に何か鼻これに加えて官僚組織を動かすには、小生にとっての

財政支出を維持しようとするのか、その動機を考えれば薬が要るのではないか。そもそも何故官僚組織がムダな

判るだろう。

天下り先、官僚先輩の収入先を、ここぞとばかり創出した。官僚はその支出の受け皿になる第三セクターなどの議員が便乗し、彼らの選挙地盤への財政支出を増やし米国が日本に内需拡大を迫まってからである。これに族とめどもなく増え始めたのは一九八○年代の後半以後、日本の財政赤字が猛然と拡大し、国債など公的債務が

といって天下り先への支出を削減すれば、官僚先輩たち大とそこへの財政支出を最優先する道理がある。ムダだ織は先輩達、いずれは自分の処遇先である天下り先の拡は天下り先で得ることになっている。したがって官僚組務員に対する必要な処遇の予算が取ってない。その処遇

が。

天下り先に出ている。その削減に官僚組織が反対するの「国民の目から見て、ムダな財政支出はだいたい官僚の

の処遇の途が絶たれるのではないか。

を失う官僚OBには、世間で妥当な処遇を保証することを失う官僚OBには、官僚組織の言い分も聞いて、キリンフを実現するには、官僚組織の言い分も聞いて、キリンフを実現するには、官僚組織の言い分も聞いて、キリンフは、以上のようなのっぴきならぬ理由があるのだ。削減は、以上のようなのっぴきならぬ理由があるのだ。削減

ろうか。十六兆円削減して五兆円戻すというレベルなら必要な官僚OBへの処遇の予算はどのくらいになるのだところで、マニフェストの十六兆円削減をするとき、

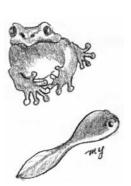
は必要であろう。

た。

日本の財政制度には、年金受領年次の前に勇退した公

チェンジー イエス ユー キャン!と言えるのだ

大成功。



変化への対応

田 信 隆

上

参加しない若者たちはその犠牲になりやすい。枢の人たちにシフトすることが多いわけだから、政治ににその需要は多いように思われる。政治は現役にいる中いえば閉塞感や言うに言われぬ不満を持っている人たちいえば閉塞感や言うに言われぬ不満を持っている人たちお、対がマ大統領が訴えた変化は能動的な変化を指してい

ある。

「チェンジ」の根底には現状への不満があると思われ「チェンジ」の根底には現状への不満がある。そんな人たちは敢えて変化を求める必要い問題がある。そんな人たちは敢えて変化を求める必要い問題がある。そんな人たちは敢えて変化を求める必要が無い。むしろ変化を批判しないほうが得策ではないだろうか。

日本の政治の病苦ともいえるのではないか。

者の場合、お国の為に戦場にかりだされて不毛の戦果を若者にも我慢の限界があることだろう。アメリカの若

巻く環境ではハードなことを要求するのは困難なことで存在すると嘆くのも無理からぬことである。日本を取りが、それだけにこの平和に馴れきった怠惰な若者が多くいにして我国は平和憲法のもとに徴兵制は存在しないあげて帰れば、反戦活動に対峙しなければならないとしあげて帰れば、反戦活動に対峙しなければならないとし

てしまった。多くの日本人のこの精神的病苦はイコールのは個人であり、経済優先がいつのまにか第一義になっる。敗戦の影響を受けた我々の世代にとって、信じるも我々には確固たる原理も主張も存在しない。ただ自分の我々には確固たる原理も主張も存在しない。ただ自分の我々には確固たる原理も主張も存在しない。ただ自分の

続いたわけだが、バブルという頂点に差し掛かってからに向けられた。経済の再生もその繁栄も戦後五十年近く済の発展に向けられた。多くの有能な人材が財界と官界た。世界に日本人を見直してもらいたいという矜持は経戦後政治経済の発展は国民の創意で邁進した結果だっ

うまで日本人この対立を表でいる。では、できてなってしたっした。この転がりだした力は止めることも難しい。る生活の向上がなしとげられた時から下り坂は始まりだは凋落の一途をたどることになる。経済発展の目的であ

敗で苦戦を強いられている。平成の前半の御世はその残務かしそのバブル戦勝国のアメリカもまたデリバティブの失ということよりも、日米による第三次経済世界大戦の結果、ということよりも、日米による第三次経済世界大戦の結果、ということよりも、日米による第三次経済世界大戦の結果、

における「チェンジ」は歴史の必然ともいえよう。金属疲労があるわけである。その良否は別にして、日本党という政党の金属疲労があり、明治以来の官僚政治の後の行動の規範が分かれると思う。日本においては自民新しい政権の誕生を必然と思うか偶然と思うかで、今

ては、とても国家再生など夢物語では無いだろうか。目に汗水たらして働き、高い志を求めて勉学に励まなくしか思えない。今や我々は日本人の原点にもどり、真面景気が第一だという考えは過去の栄光を夢見ていると

ばいずれ低落のアウトプットが出てくるのは(もうだい二桁の順位に甘えている。これほど人間の価値観が変れ気が付けばGNPは世界三位、学力にいたっては世界

らしい価値観を国民が共有しなければならないと思う。と言いたくなる。経済が第一などと思わずにもっと人間を批判するなら自らが真摯に汗水たらして働きなさいの思想を押し付ける気持ちはさらさらないが、現在の政ぶ出てきているが)時間の問題ともいえる。なにも清貧

我々が目指した優秀な大学や一流大企業も目標におくはこれからの時代を楽しく生きていくことは出来ない。アメリカというビジネスモデルは終了したと思わなくて

整理に資本主義国は追われているともいえる。

捨てることからまず始めなくては前に進まない。のはそれ自体もっと難しくなりつつある。過去の栄光を

我々は確かによい時代に生きてきたと思う。これも先

我々が作った負の財産を出来るだけ次の世代に残さず人の努力と犠牲のうえであり、したがってこれからは

るよりも「邪魔をしない」ことである。ではないかと思う。我々は「チェンジ」を容認・期待すに、若者達に早く立ち直りの支援をおこなうことが必要

化 心 (けしん)

岩 崎 洋一郎

院は皆無であった。

成が死んだ。二十二歳の誕生日の三週間前という若 大いに羽を伸ばせる 大いに羽を伸ばせる

せないために、母はあえて誰にも知らせていなかった。大の彼女たちは、玄関に入るなり泣き崩れていた。帰国子が、高い、等と叫んで、集まった弔問客の涙を誘った。母も、い、等と叫んで、集まった弔問客の涙を誘った。母も、い、等と叫んで、集まった弔問客の涙を誘った。母も、い、等と叫んで、集まった弔問客の涙を誘った。母も、が家でひっそりと行われた葬儀に駆け付けたクラス我が家でひっそりと行われた葬儀に駆け付けたクラス

乏の戦後の混乱期であったので、重病人を受け入れる病てもらえず、死に目にも会えなかった。食糧難や物資欠私も、罹病するのを避けるために、病室には一歩も入れ

穴が我が家庭に空いてしまった。食卓での会話は、ほと家の華であった。それがいなくなり、ぽっかりと大きな気な時の姉は、若い娘らしく、おしゃべりで陽気で我がしまった呵責にさいなまれた。家の空気も一変した。元母は変わった。自分の娘を苦しみから救えず、殺して

受け側の責任者として、不眠不休で作業していた。一環として行われた財閥解体の対象であった三菱商事のんどなく沈黙が支配した。父は父で忙しく、戦後処理の

母は、心労と後悔で荒れて、時々ヒステリー気味になることもあった。大正時代に二十五歳の独身の身でフランスに渡り、デザインを勉強した気丈な人だったが、今回ばかりは参ってしまい、どうにかなってしまうのではないかと心配させられた。姉を死なせた責任を全部背負ないかと心配させられた。姉を死なせた責任を全部背負ないかと心配させられた。姉を死なせた責任を全部背負が、母は自分を責め続ける毎日であった。

出も、自分の過去も一切抹殺されたような喪失感に襲わ身にしみた。一緒にニューヨークの小学校へ通った思い人の姉弟である姉は、いなくなるとその存在の大きさがた。何しろ肉親の死は初めての経験であった。たった一には出さないが、姉の死には深刻なショックを受けていには出さないが、姉の死には深刻なショックを受けてい

れた。

止めるには余りにも重かった。今も忘れていない言葉で声が迸って出たと受け止めざるを得ない。しかし、受けいしがれた。怒りにまかせて母がこう言うのは、真実のひしがれた。怒りにまかせて母がこう言うのは、真実のひしがれた。怒りにまかせて母がこう言うのは、真実のひしがれた。怒りにまかせて母がこう言うのは、真実のひしがれた。それは母が受けた打撃に比すれば、小さいもしかし、それは母が受けた打撃に比すれば、小さいも

詰められた母。その心情を察すると、次の瞬間ある決心た一人残った男の子に、そう言わざるを得なかった追い慮ると、あまりにも不憫に思えた。わが子、しかもたっしかし、思わず本心を覗かせてしまった母の気持ちを

ある。

を固めた。

度も、明るく振舞おう。恥かしくても、下手な芝居でもよう。食卓が談笑の場になるように努力しよう。声も態振舞うようにと叩き込まれていた。もっと自分を表現しと決めた。戦時中は、男子たるものは質実剛健で寡黙にといか。 自分を変えよう

なかったが、次第に母も苦笑や爆笑が出るようになって死であった。慣れないことをやるので初めは上手くゆかつまらないいざこざなどの話題を、自分なりに面白おかつまかいからは、なるべく学校での出来事や学友たちとの

構わないじゃないかと。

いった。

、仮面が定着し、良かれ悪しかれ、今日の自分があで、私自身の性格をも変えていったようである。その結が出ると励みになった。こんなことを続けてゆくことが出ると励みになった。こんなことを続けてゆくこと

チェンジを考える

浦 右 蔵

杉

スピーチは、トルーマン氏が八十八回、レーガン氏は が物事を良い方向に変える」と述べている。また十一 ではいけない。言葉は時に人に希望を与え、その希望 ではいけない。言葉は時に人に希望を与え、その希望 ではいけない。言葉は時に人に希望を与え、その希望 ではいけない。言葉は時に人に希望を与え、その希望 が物事を良い方向に変える」と述べている。また十一 月十二日NYからの記事では、主な歴代大統領がチェンジを 数のテーマはチェンジだ。オバマ新大統領がチェンジを が物事を良い方向に変える」と述べている。今号の悠 がり事を良い方向に変える」と述べている。今号の悠

に巻き込まれる時代と相成ったが、科学的と思えない西衣食住的・人間関係的・などなど、全ての面でチェンジ地球的・世界的・国内的・政治的・経済的・科学的・

三百二十回、

オバマ大統領の推計は五百五十回以上にな

のチェンジを論じられないので、ここでは情報通信のンジが顕著に表面化してきた。原稿字数の関係から全て暦で二千年が経過し、二十一世紀に入り十年たってチェ

チェンジについて考えてみたい。

のアメリカにも陰りが見えてきた。の戦略は情報・エネルギー・食糧である。蛇足だが、その戦略は情報・エネルギー・食糧である。蛇足だが、そような大覇者になれる。戦後、アメリカの世界制覇三つは報通信を上手く利用した人間だけがモンゴル帝国の

式・上昇回転機械式自動交換方式・ダイヤルパルスを記の土地を植民地化し、富を自分達だけに集積した。モーの土地を植民地化し、富を自分達だけに集積した。モーの土地を植民地化し、富を自分達だけに集積した。モーの土地を植民地化し、富を自分達だけに集積した。モールスの次にベルが電話を発明した。それから、たったの百三十年おきに技術革新されている。手回し発電機を内蔵三十年おきに技術革新されている。手回し発電機を内蔵三十年おきに技術革新されている。手回し発電機を内蔵の土地を構造し、十九世紀半ばにモールス通信人間が電磁気を発見し、十九世紀半ばにモールス通信

憶してから相手をつなぐ機械式クロスバー交換機、そし

二〇一五年頃には今の固定電話の電子交換機が陳腐化す 内まで固定電話は今までのまま銅線ケーブルか光ファイ 電話を一緒にしてしまおうと決めたのだ。電話局から宅 の専門家が集まって研究協議した結果、ケータイと固定 が、これではNTTはやっていけない。世界的にも同じ 四千五百万。固定電話の収入は一台あたり三千円前後だ か。 張型も現在協議中で近々纏まるであろう。ITUでは ている。二○○六年、ITU(国際電気通信連合) つながる仕組みを、 ナ基地局までは変らない。此の局以降の通信会社の中の バーのまま変らない。ケータイも個人の手中からアンテ 傾向で、ケータイ電話にやられっぱなしだ。そこで世界 する人間の加齢から見て頷けるチェンジ方針である。 ると予想し、暫時NGNに切り替えて行く方針だ。とも ―1を基本型として標準決議し勧告した。続く―2拡 しい仕組みNGN(次世代ネットワーク)方式リリース かくお金の掛かる話で、電子交換機の機械寿命とメンテ さて、新しい仕組みNGN方式とはどんな仕組みなの いま日本のケータイ電話は一億一千万、固定電話 ガードを強くしたインターネットの が新

技術で纏めてしまおうというわけだ。発着するダイヤル技術で纏めてしまおうというわけだ。発着するダイヤル入り口で互換してしまう。われわれお客に関係しない、局と局のつながりは交換機などという高価な機械を使わらと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先順番などの識別符号を付してルートと言う入れ物に宛先にというわけだ。発着するダイヤル技術で纏めてしまおうというわけだ。発着するダイヤル技術で纏めてしまおうというわけだ。発着するダイヤル技術で纏めてしまおうというわけた。発着するダイヤル

TVで時報を止めたのも、この遅れのせいである。居間と台所の双方で受けると頭の調子が狂ってしまう。は約二秒以上遅れる。電話とテレビはやり方が違うが、参考までにアナログTVよりデジタルTVの音と画像

街の中心部の電話局建物は改築されて行くだろう。

変化の頂点

泉

潤

生活であった。

大

さ、冬の寒さをしのぐ策もなく、ひもじく、自由のない動は制約され、抑圧される庶民の状態だった。夏の暑なったこともある。社会は軍国主義の真っただ中で、行

でも、 で余生を十分享受できる年金が約束されている。まさに と車の高性能化で気ままに旅をできるし、世界中どこへ 化は交通機関である。日本中、新幹線と高速道路の発達 寒暑を克服し、快適な生活を楽しめる。さらに大きな変 を受ける。食べ物も世界中のうまいもの、おいしい酒が ものは高機能で美しく、世界のファッションが手近なも 実現した。その恩恵を我々は十分に堪能している。 池田首相の打ち出した所得倍増計画をはるかに上回って 倍の伸びを記録し、五十年間に十三倍となった。まさに 増加し、経済も大幅に拡大した。十年ごとに平均一・七 も手に入る。家中に電化製品があふれ、スイッチ一つで 食卓をにぎわし、デパートへ行けば山海の珍味がいつで のになり、外国の人から日本人は着こなしがよいと定評 戦争が終わり、 気楽に旅に出ることができる。国と企業の計らい 変化はプラスに転じた。人口 一は順 着る 協調に

鉄棒にしがみついて危うく雪の中へ振り落とされそうに

い出しに出かけた。満員列車にぶら下がって、デッキのベルで格闘した。また食糧買い出しのため農村地帯へ買小学校では、裏山の松林で松根油を採取するためにシャ

立派な温泉地でも、

疎開してくる人々には優しくない。

となった。 楽園の暮らしである。夢に見た生活がこの数十年で現実

に、大きなショックを与えた。日本が得意であった分野 二十四時間世界の情報をインプットし、経済を動かす知 に後れを取ったことである。頭脳労働者はビジネスス 関係者をはじめとするモラルの崩壊である。個人的欲望 となる。街にあふれる実用衣料がよい例である。二つ目 低廉な運賃で海上コンテナによって運ばれる製品が相手 程度の費用で勤勉かつ健康な労働者によって生産され、 者が生産するものと競争しなければならない。十分の一 アジア諸国の低賃金を基にした経済競争にまきこまれ、 い。オイル、 を満たし、ツケを他者にまわすシステムに乗って恥じな 的エリートと競争しなければならない。三つ目は、金融 クールで理論武装し、パソコンを自在に操り、三六五日 は、コンピューターを駆使した働き方で、IT先進国 いまや日本の若者は、中国、インドなど低賃金単純労働 かかり、世界の経済に暗雲が立ち込めてきた。一つは、 しかし、二十一世紀に入りこの上昇傾向もブレーキが 財政、 金融バブルが発生し、はじける度

> は、時間、空間を問わず、競争にさらされる。二○○○ 年を契機に成長率が零となり、下降傾向をたどり始め た。経済統計はほとんどの指標がマイナスに変わり、政 た。経済統計はほとんどの指標がマイナスに変わり、政 た。経済統計はほとんどの指標がマイナスに変わり、政 の隣人十億以上の民が、低廉な労務費で日本を目指して の隣人十億以上の民が、低廉な労務費で日本を目指して 努力している。その人々が豊かさを実感するのにどの程 努力している。その人々が豊かさを実感するのにどの程 と思われる。それまで日本は耐えねばならない。

化を経験した。これはおそらく空前絶後だ。
活水準、国際化のすべての局面で我々の世代は最大の変どの人は未来を予測し、備えることができた。文明、生り、頂点を過ぎたところで停滞局面に遭遇した。ほとん我々の年代はいわばどん底からずっと成長の坂を上

うことはないだろう。

一○年の七、八十年の間が世界中で最も変化が大き二○一○年の七、八十年の間が世界中で最も変化が大き、代が他の世代に比べて最も大きい。一九三○年代から代が他の世代に比べて最も大きい。

設計変更

小 寺 裕 子

かし値段で勝負しなくてはならない海外では、その製法て食感の良い日本向けのポテトチップを作っている。し海外から導入するという。現在使っている機械は、軽く最近大手ポテトチップの会社の通訳に行った。機械を

をわざわざ海外から買うのだそうだ。

だと高すぎる。そこでより廉価な製品を作るための機械

トヨタは創業以来安さを売りものにする自動車を作っ国向けの車を作るためだった。

日産のダットサンにしても、英国の高級車オースチンするよう作られた。たことがない。トヨペットはフォードやシボレーに対抗

いもの作り」をめざしてきた。技術者は、信頼性と安全いもの作り」をめざしてきた。すが国民車を作るうとして試作しあったが、これはトヨタが国民車を作ろうとして試作したモデルだ。ところが、幸か不幸か日本経済は急成長をたモデルだ。ところが、幸か不幸か日本経済は急成長をたモデルだ。ところが、幸か不幸か日本経済は急成長をたモデルだ。ところが、幸か不幸の自動車産業は絶えず「より良いをはいるのだ。

が必要だ。人は有意義な変化なら意欲的に取り組める。を仏教からキリスト教に改宗するくらいの価値観の転換を仏教からキリスト教に改宗するくらいの価値観の転換とでれるのは「安さ」「ほどほどの安全」だ。技術者ど検討事項は気が遠くなるほどある。今までと違って、ど検討事項は気が遠くなるほどある。今までと違って、が必要だ。人は有意義な変化なら意欲的に取り組める。

性の追求を第一に叩き込まれてきた。

経営陣が技術者を説得、いや技術者に夢を抱かせること『技術革新』という殺し文句には弱い。しかし、今回は

ができるのか。

多分必要なのは発想の転換だろう。変化を『有意義』 多分必要なのは発想の転換だろう。変化を『有意義』

このような発想の転換は、退職を控えた私自身が必要

く行うは難しである。

テニスにしても、やった翌日に膝が痛くなる近頃だ。

こなしたりしなくてもいいと、心の底から思えるようにあった。その言葉は私の心に残ったが、私は守ってこなあった。その言葉は私の心に残ったが、私は守ってこなあった。その言葉は私の心に残ったが、私は守ってこなあった。その言葉は私の心に残ったが、私は守ってことがのかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をかった。これからは「速く」「たくさん」仕事や家事をあった。これからは「速く」「たくさん」と思いました。

ならないといけない。

卑近な例だが、私は今年娘の学校でのPTAの活動を

を楽しむことが自分にできるようになるのか、言うは易る意味でほっとした。しかし、ゆったりした時間の流れる。二十年余り前のPTAと同じ時間が流れていた。ある。二十年余り前のPTAと同じ時間が流れていた。あどうしても心の底から楽しめなかった。簡単なことを決どうしても心の底から楽しめなかった。簡単なことを決

えよう。 否定的に捉えるのではなく、未開発の領域への挑戦と考に切り替える必要がありそうだ。でもこれを「後退」とプレーのスタイルを、走ることからサービスライン中心

るが、せめてキリンくらいにはなりたいと思っている。くとしたペンギンだのリスのようだと子供に言われていか、私は親愛の情をもって見守りたい。私自身もあくせか、私は親愛の情をもって見守りたい。私自身もあくせ

「何でも書こう会」

二○○九年、月例の勉強会十二回で発表された作品の二○○九年、月例の勉強会では椅子が足りずに苦労するほどであった。の勉強会では椅子が足りずに苦労するほどであった。この会に関して、特記すべきことが二つある。一つは、月例の会とは別に、一月二十七日から二十八日にかけて、熱海の伊豆山にある「ウエル・ハートピア」で一は、月例の勉強会十二回で発表された作品の二○○九年、月例の勉強会十二回で発表された作品の二○○九年、月例の勉強会十二回で発表された作品の



特集·初体験



野瀬 隆平

うれしかった初受注

谷

松

隆

四月入社直後よりの導入教育のあと、経理部門と工務い出しながら、この初受注に心のなかで祝杯をあげた。

部門での実習が終わったのは九月末、いよいよ職場への

特に入社以来の他部門から、営業に転籍した人間にとっは、自身が進めて獲得した最初の契約ではなかろうか。 営業マンにとって一番うれしいこと、印象に残ること

りのビルの三階にある駐在員事務所でのことである。オーストリアの首都、ウィーン市マリアフィルファー通それが自分自身に起きた。時は、一九七一年三月、

のでしょうか」

「いますぐ、貿易部に行って、どんな仕事ができると思

てはなおさらのことと思う。

計算機専門学校(ZPR)の責任者が商談状況を報告G)が…」と当時のユーゴスラビア国ザグレブ市の電子「昨年十一月に提案書を出したザグレブ建築協会(PU

前に」と頼み込んできた。望している。ついては貴社とわが社の代理店契約をその

し、最後に「先方は来週、購入契約にサインしたいと希

べきかの不安もあったが、入社以来の八年間のことを思彼の報告を聞きながら、今後の同国での展開をどうす

部に配属されるに違いないと考えていた。配属が言い渡される。外国語を専攻した身なので、貿易

「いま、購買部門と伺いました。なぜ、貿易部ではないしばし呆然としていたが、気をとりなおして質問した。もらいたい」と言われたのには二の句がつげなかった。一人事担当の取締役総務部長から「購買部門で頑張って

「分かりました。取締役の目の黒いうちには、貿易部にくオレの目の黒いうちは貿易部には行かせない」経験を積んでから、貿易部へ行けばいいんだよ。とにか積み書類のタイプくらいだ。それよりもいろんな部門でうか。せいぜい、ビジネスレターや電報の下書きか、船

い付けを二年、その後研究部特許課で、技術援助契約やということで、購買部門で通信機器用部品や機器の買行かせろとは言いません」で話を終えた。

外国特許出願などでもうすぐ三年というとき、勤務先が 務課に配転、担当専務の書類整理係を命じられた。 したので、海外部門への転属希望を出したが、工場の庶 親会社に吸収合併された。このとき、その取締役は退任 翌年の六月下旬、専務によばれて部屋に入ると、

「君はいつまでここにいるのだ」

海外部門への転属希望を出しています」

「よし、来週決めてくる」とアッと言う間の会話だけ。 翌週、一九六九年九月一日付けでブルガリアと韓国へ

かという疑問を持ったままであった。 しかし、電算機はなぜプログラムを作ることで動くの の電算機輸出担当部署への配転が決まった。

ブルガリアから東欧全体に営業活動を拡大するため、

ZPRの話を持ち込まれ、駐在員は他国を開拓中だった 東欧の窓口、ウィーンに駐在員事務所が設立された。 され、時期早尚とご破算にしたあと、某商社から前述の なりたいと申し込んできたが、一億円の初期投資を要求 旧ユーゴスラビア国リュブリアナ市の商社が代理店に

ので、東京から現地調査のため出張した。

さは百倍に膨れ上がった。

驚いたのは、他の東欧諸国と違い、ユーゴスラビアで 外貨枠を持つ企業や政府機関が官報に入札告示をす

は、

ることで独自に調達でき、自由競争である。

を受け、加盟二十社の電算機担当者相手に、通訳経由で

PUGに対し提案書を提出した。すぐ説明をとの要求

人生初の提案説明をした。質問の一つの「他社には建築

関係のソフトウェアが揃っている。同じようなものはあ るのか、あれば説明してほしい」には正直参った。 だが、

考えている。これがお気に召さないなら、他社機をどう 「当社はお客と一緒に必要なソフトを作ることが重要と

での企画会議にA4用紙一枚の申請書を提出、初の海外 ぞ」と諦め半分で答え、会場をあとにしたのだったが。 同国ではなんとか商売ができるとの感触を得て、本社

での自社レンタルをポイントとしたのが効を奏し、

気に入った」とにやり。これを聞いて、初受注のうれし 選んでくれたのか」と尋ねたところ、 意しながら進めること」の条件付きで承認された。 その後PUGのトップに会った時、「なぜ、こちらを 「お前のあの答が

香港駐在初体験

渡里

清

肺の中が水浸しにならないかと心配でした。と、夏は暑くて、湿度が九十から百%と高い環境では、かは行ってみたい所でした。しかし、いざ行くとなるかは行ってみたい所でした。しかし、いざ行くとなると、夏は暑くて、湿度が九十から百%と高い環境では、

トすることです。
て、アジアの証券市場で運用するプロジェクトをスタータの私に与えられた仕事は、中東のオイルマネーを集め国の金融機関によって設立された合弁会社です。証券出ラーを資源国に向けようと、産油国のクエートほか四か

勤務先は、オイルショックで中東に流入するオイルダ

計を案じて、「香港は暑いところで、四月から十一月まい出しました。友達と別れるのが嫌だというのです。一転勤の話をすると、二人とも「いやだ。行かない」と言家に帰って、幼稚園と小学一年生の娘たちに、香港に

は家族より一足先に香港に飛びました。欲しいのです。「よし、買ってやろう」で一件落着。私買ってくれるなら行く」とのこと。水泳のとき持つ板が

で泳げるよ」と言うと、二人は相談して「ビート板を

トに帰って冷房のスイッチを入れると、湿気を含んだ空初めての香港は、快適とは言えませんでした。アパー

? ぺ 、 ひとつ)は、 昔コン井戸に切り引いてにこう気が冷やされて、白い帯となって室内にたなびきます。 上に帰って省房のフイッチを入れると、 諸気を含んた空

路の向こうの岩山にへばりつくように点在し、殺風景でで、緑が少なく、大陸を脱出した難民の住む小屋が、道アパートのまわりは、岩山の斜面を切り開いたところ

あと、これでは、これがパー・引見り前に行は、そ飲めません。中華料理は美味しいけど、衛生状態はどう潤いのないところです。水道の水は、一度沸かさないと

湿物の竿が突き出され、ゴミ袋が落ちてきます。タクも昼も人の群れで大混雑です。ビルの上の窓からは、洗も良くないようです。大丸デパート周辺の商店街は、夜

たくりも多いし、清潔とは言えない環境で、住むだけでが開いて、早い者勝ちに乗り込んで来ます。スリやひっシーは奪い合いで、もたもたしていると、反対側のドア

も疲れました。

さい」とのこと。しばらくするとカウンターの後ろのド支店長を呼び出し、事情を説明すると、「そこにいて下です。そんなはずはない。リ・コンファームはしっかりです。そんなはずはない。リ・コンファームはしっかりです。そんなはずはない。リ・コンファームはしっかりです。そんなはずはない。リ・コンファームはしっかりにあります。とっさにカウンターの予約がないと言うのよようとすると、ガルフ・エアーでクエートに入るに対する見方を変えました。香港から大英航空でドバイに対する見方を変えました。香港から大英航空でドバイに対する見方を変えました。香港から大英航空でドバイに対する見方を変えました。香港から大英航空でドバイ

す。

出張を終えて、香港に帰った時はホッとしました。香

から身を守るため、長袖のワイシャツと背広にしっかりが、汗とともに体外に出るのが原因です」。灼熱の太陽在中に、身体がだるくなることがあります。体内の塩分の予約がキャンセルされるそうです。

と。後で知ったのですが、王族が乗るとき、しばしば他

でいっぱいです。聞くとクエートの王族の一行とのこルフに滑り込みました。機内は恰幅の良い白衣の人たちい。」見ると五分しか時間がありません。走るようにガアが開き、「Mr.WATARI? すぐガルフに乗って下さ

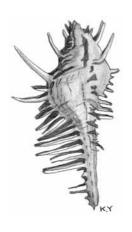
では、強烈な太陽が、出た汗を瞬間蒸発させていたのでた建物の中に一歩入ると、どっと汗が噴き出ます。屋外摂氏四十度以上でも汗を感じません。でも、冷房の効いと身を固め、帽子までかぶって戸外を歩いている時は、

八月末にクエートに出張しました。この旅は私の香港

しい中華料理が、素直に楽しめるようになりました。テに住みやすい。それからは、賑やかな香港の街や、美味もあります。外を普通に歩けます。クエートよりはるか港には山があり、山には少しでも緑があります。青い海

つの方法だと実感しました。新しい環境に入るには、他所と比較して見るのも、一

ニスも水泳も楽しみました。



初めての熱帯アフリカ

金京法

んでいた。

きと描いていた。 サハラ以南の熱帯アフリカは若いころから一度は訪れ サハラ以南の熱帯アフリカは着いた『アフリカの内幕』 と題するノンフィクション作品を読んで、多大の感銘を と題するノンフィクション作品を読んで、多大の感銘を と題するノンフィクション作品を読んで、多大の感銘を を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き生 を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き出 を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き生 を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き生 を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き出 を背景に、新興国にみなぎる政治的経済的熱気を生き生

ドリッド、モンロヴィア、ラゴス経由で最終地のアビムからオランダ航空の夜行便に乗り込んだ。飛行機はマワール共和国での鉄鉱山開発プロジェクトが始まったのワール共和国での鉄鉱山開発プロジェクトが始まったのの カーカー である。現地視察ミッション参加のため、アムステルダのある。現地視察ミッション参加のため、アムステルダ

まで広がりだす。熱帯の夜明けである。

の間、飛行場の隅にあるあずまや風の粗末な待合室で休に着き、給油のため一時間ほど止まっていた。乗客はそジャンに飛んだが、夜明け直前にナイジェリアのラゴス

空にはほのかな明かりの気配が漂いだす。そして東の方熱帯特有の夜明け前の静寂を生暖かい空気がつつみ、

蒸気を含んだ空の下、物憂い草原の光景がはるかかなたあ、突然鋭い鳴き声が、まるで大地から湧き出るようにる。突然鋭い鳴き声が、まるで大地から湧き出るようにる。突然鋭い鳴き声が、まるで大地から湧き出るようにる。大自然の美とはこのようなものであろうか。感激となうが茫然自失というか我を忘れて見入った。しかしそいうか茫然自失というか我を忘れて見入った。その時であいがかが、まるで大地から湧き出るようにに深紅の光がさし始め、それを背景に四方に枝を張り出に深紅の光がさし始め、それを背景に四方に枝を張り出に深紅の光がさし始め、それを背景に四方に枝を張り出

木はかなり強烈な香りを放ち、家具や建材すべてが匂熱帯アフリカの特徴はまずその香りである。すべての

しながら、人々の最大の出費は衣装代らしい。りが空気の中に充満している。着陸して飛行機のドアーりが空気の中に充満している。着陸して飛行機のドアーが開くとあの香りのご挨拶である。また目を見張らされが開くとあの香的感覚の鋭さである。強い日差しの下、が開くとあの香的感覚の鋭さである。強い日差しの下、る男性のいでたち。簡素な家に住み、粗末な食事を口にしながら、人々の最大の出費は衣装代らしい。

う。人々の体臭、スパイスを利かせた料理の香りなどが

をんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値とんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値度の日用生活必需品はここで調達する。そしてその一角に必ず民芸品の土産物屋があり、黒壇や紫檀の彫り物をに必ず民芸品の土産物屋があり、黒壇や紫檀の彫り物をには一つのルールに則ったやり取りが売り手と買い手のには一つのルールに則ったやり取りが売り手と買い手のには一つのルールに則ったやり取りが売り手と買い手のには一つのルールに則ったやり取りと同じで、おそらく中東が発祥の地なのであろう。そういえばみやげ物屋はほ東が発祥の地なのであろう。そういえばみやげ物屋はほ東が発祥の地なのであろう。そういえばみやげ物屋はほかが発祥の地なのであろう。そういえばみやげ物屋はほかがある。ほとんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値とんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値とんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値とんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値とんどがトルコ帽をかぶった中東の人々である。また値との世界である。また値とのでは、またりなどのよりないます。

笑いがあるだけである。

招くのである。バザールで日本人がよくやる失敗である。用する熱帯アフリカでは、大量まとめ買いは価格上昇をで、供給が需要を決めるというセーの法則がいまだに通とめ買いすれば安くなるのは生産力のある先進国のこと段は基本的には需給関係で決まるようである。大量にま

界のまなざしは冷たい。資源獲得をもくろむ中国の作りつての熱意や熱気はない。熱帯アフリカの現状を見る世とんどの国が経済開発から取り残されて今日に至っている。国連を中心にアフリカ救済の動きは絶えないが、かる。国連を中心にアフリカ救済の動きは絶えないが、かる。国連を中心にアフリカ救済の動きは絶えないが、かる。国連を中心にアフリカ救済の動きは絶えないが、か

コート・ディヴォワールの鉄鉱山開発計画はオイル

れは熱帯アフリカが瞬間的に見せる「崇高の美」であの変化とは関係なく今も繰り返されているであろう。そラゴスの空港で見たあの感動的な払暁の光景は、時代

る。

| 初めての海外駐在「楽園都市サイゴン」|

古川 さちお

う。国内でも滅多に利用したことのない飛行機に乗ってK氏が体調を崩しているので、一日も早く赴任せよとい年目にしてサイゴン駐在を命ぜられた。前任のベテランー九五八年五月、総合商社2社の平川幸二郎は入社四

外国に飛ぶ。憧れの海外駐在員だ。

思っていた。いわば晴天の霹靂だ。ヨーク支店勤務になると周りはみていたし、自身もそうする部門が輸入機械課なので、二~三年経てばニューた。が、こんなにも早くチャンスが訪れるとは! 所属たぎがフランス語専攻だったから、かねて予感はあっ

はロッキード製百人乗りスーパー・コンステレーショ極東とヨーロッパを結ぶエールフランス航空の使用機で同情する者もいた。しかし本人は有頂天に近い状態。進国とは気の毒な」と思われていたし、はっきりそう言っ進国と

手に恵まれ、給油に立ち寄るマニラ経由、サイゴンまで隣りはパリに向かう若い日本婦人だった。お陰で話し相める学友のY君に頼んで取ってもらった席は通路側で、ン。プロペラ機時代では最新鋭だ。同社日比谷支店に勤

明るいロビーに多数の日本人の出迎えがあった。大使館着、ローカルタイムでは午後五時だから、真昼のように日本時間午後七時にサイゴン・タンソンニュット空港の十時間は全く退屈しなかった。

や他商社それぞれの新駐在員赴任を迎える人々だ。

いと交代帰国させてもらえないのでね」と正直な打ち明うなご本人だ。着く早々、「病気ということにでもしな代理人が迎えに来ているのかと思いきや、大柄で健康そただ一人の先任駐在員K氏は病身と聞いていたので、

け話を聞く。

だった。公文書、新聞、報道など公用語はフランス語とだったことから食・住をはじめ、環境は一流先進国並みた。ところが、後進国どころか、戦前はフランス植民地歴のあるKさんは体調を崩したらしい」と聞かされてい

ころか、レストラン、バー、キャバレーのホステス、タ クシー運転手、はては場末などにたむろする乞食まで ベトナム語の二ヶ国語。フランス語はどこでも通じるど

に引けをとらないものだった。 料理屋でも外国人に出されるメニューは、高級中華料理 から貯蔵された希少な珍味に遭遇したものだ。ベトナム レストランや一流ホテルの食堂では、地下カーブに戦前

多にお目にかかれないご馳走が出される。特にフランス

フランス料理、中華料理など戦後間もない日本では滅

外国人にはフランス語で話しかけてくる。

サイゴン駐在員極楽」と言われるような状況だった。 をしなかったが、周辺諸国に比べると「○○国駐在地獄) 各商社の先任駐在員たちも内地では殊更ひけらかすこと 扇風機がゆっくりと回っている。まるで映画の世界だ。

事務所もアパートも広々としており、天井には巨大な

代を体験・熟知しているせいだろうか、常に「ニッポ ン・ジョウトウ(上等)」であり、 さだった。ベトナム人は、フランス撤退後の日本統治時 幸二郎が赴任して最も嬉しかったのは、対日感情の良 **「フランス、アメリ**

> カ、ジョウトウ(上等)ナイ」であった。 極端なことを言えば、日本人ならば交通違反も許され

るし、どのレストランでも日本人は当国政府高官の次に

優先権を与えられたものだ。

国が南北に分かれていたので、田舎に行くと北ベトナ しかし日本人ならゲリラに

誰何されても、日の丸やパスポートがあれば、何の問題 もなかった。 ムの共産ゲリラは怖い存在。

身駐在員とは容易に交流が生まれる。 人、事務官には多くの独身女性もいたので、幸二郎ら独 軍属とは戦後復興資材の間接的取引があった。その米軍 だった。秘かに駐留する米国軍事顧問団、付随する米人 ると、中間の数年間はそれこそ駐在員極楽のサイゴン市 以前の対仏独立戦争や後年の米国空軍北爆時代に比べ

評判のいい日本人独身者は、 気のキャバレーがあり、 彼らの郊外キャンプの近くには、都心とは異なる雰囲 アメリカ美人も客として遊ぶ。 彼女たちの同伴者としては

格好の存在だったのだ。 日本商社の多くは、フランス人が残した住宅を社宅と

その木は下の方から順番に一日一個の実を熟させた。くもないが、屋敷の一角には一本のパパイヤの木がある。使用人小屋には「アマ」と呼ぶ年配の女中を雇った。広だから、手頃な一軒家を幸二郎が独り占めし、付属するして借り上げ、数名が同居している。2社は一人駐在員して借り上げ、数名が同居している。2社は一人駐在員

外法権だ。

が法権だ。

なった。

いささか怖いような楽しいような、変わったエピソーもサイゴンをおいてほかにはなかった。二郎の商社マン時代、パリ駐在時を入れて、後にも先にこのような、楽しい駐在員生活というものは、平川幸

を出した。来るわ、来るわ、門前市をなすような応募者ある日、彼のために仏語会話の教師を雇うべく新聞広告三年の駐在期間が終わり、交代者Y君も赴任してきたドもある。

願するので、食事は辞退したが、事務所で一度会おうとない。その中に母娘二人で来社したが、Y君が『若すぎい。その中に母娘二人で来社したが、Y君が『若すぎい。その中に母娘二人で来社したが、Y君が『若すぎんだ。幸二郎が面接官となり、無事一人の年配フランス人だ。幸二郎が面接官となり、無事一人の年配フランス人

したら、そこで一切の接触を絶ってもよい」という薄気天、「優れた日本人即ちあなたの種が欲しい。娘が妊娠

なんと、率直な話として望まれたことは、びっくり仰

ムでは、無料(ただ)ほど高いものはないよ』を思い出かねがね、会社の先輩から言われていた言葉『ベトナ味の悪い頼みだった。

して、丁重に申し出を断った。

の辺で止めておくことにしよう。信じられないようなエピソードはほかにも多いが、こ

初参加

 \Box 恵 子

ました。

高

「ねぇ、もしよかったら企業OBペンクラブに参加して

「それじゃあ一度、見学に…」

みない?」

んと交わした何気ない会話が、全ての始まりでした。 二〇〇九年六月十九日金曜日、私は、小寺さんと共 梅雨時の昼下がり、エレベーターの前で、旧知の小寺さ

に、代々木のオリンピックセンターへ、出向いてしまっ た。私は、周りの状況を全く把握することなく、講演を たのです。その日は、会員の山崎礼子さんの講演日でし

席のオーディエンスがどれほど素晴しい方々だったかと 本当は、その時に気がつけば良かったのですよね。同 熱心に拝聴したのを覚えております。

場違いだったかも? つまり、私はもしかしたら、いえもしかしなくても、

い頭を垂れるのでした。

見事合格!ラッキーセブンの七十番目の会員として、皆 さまの温情と御慈悲のもと、会員資格を得ることができ しかし、時は既に遅しで、入会審査のご連絡を戴き、

十年分のお言葉を呑み込まれたかの如く、平静を装って でデビューさせていただきました。その時、皆さま、何 初回は、九月十九日に「人とのつながり」という作品

私の文章を聴いてくださいましたよね。その優しさと品 格ある「暗黙の了解」が身に染みた一日でした。

のみながら、企業の第一線で大活躍をしていらっしゃっ 出される雰囲気は、酸いも甘いも噛み分けて、清濁併せ ンで乾杯後、少し赤い顔ながら、その会話の中から醸し そして、十一月は、アフターファイブも初参加。

れ、「場違いでも片隅で参加させてください」とついつ りました。 た方々ならではの、何とも言えない重みとエスプリがあ 経験から語られるお言葉を拝聴できるという幸運に恵ま 私は、今回、企業OBペンクラブの方々の、卓越した

ワイ

旧友との奇遇

石 川 正 達

された。

ど漸く平静を取り戻したころである。

に、戦後の世の中も、各地でノド自慢大会が催されるなりを担当させられ、見るもの聞くもの全てが新鮮であっりを担当させられ、見るもの聞くもの全てが新鮮であった。戦後の世の中も、各地でノド自慢大会が催されるない。現け出し時代は新潟支局で一九四七年(昭和二十二十八年(のころから新聞が好きで、大学を出て新聞社に入

確信した。

ノド自慢大会の出来事

団が侵入して喚きながら窓ガラスや椅子席を壊し、大会ド自慢大会が盛大に催された。ところが、荒くれ男の一あったか、新潟の繁華街にある映画劇場を借り切ってノあ湯でも、白山祭りの一日、県庁の職員組合主催で

天商たち。いわば映画「男はつらいよ」の寅さんの仲間(侵入者たちは白山祭り目当てに各地からやってきた露

を中止させてしまった。

に訴えたのが原因だった。侵入者たちは新潟警察に逮捕若者が入場券を持っておらず、木戸を突かれたと、仲間である。彼らの面倒を見てくれていた土地の親分一家の

の他人か。いや、彼の経歴から彼に間違いあるまい、と郷高校)時代の友人の名前があるではないか。同じ名前逮捕者の中に「N」という私の卒業した本郷中学(本

隣席にいたのがN君である。私は肋膜炎で一年休学し、東京に移転して、本郷中学に入れてもらった。この時、私は広島で生まれて尾道で育ち、中学三年のとき父が

彼も落第して二人とも四年を二度やっている。

上級生に殴られて

から立たされて頬に一発ピンタを食らった。最近、四年られた。ばかばかしいので笑っていると、五年の主謀者から全員グラウンド集合の声がかかり、校舎前に座らせ四年の時、五年生とトラブルが起きた。昼休み、五年生四校は上・下関係に厳しい学校だった。この二度目の

うのがその理由のようだ。その場で逆らう訳にもいか生が生意気になって、五年生に敬礼しなくなった、とい

ず、無念の涙を堪えた。

屋上へ行くと、昨日の五年生、級長をはじめ主謀者ら休み、彼は私に、ちょっと屋上まで来てくれ、と言う。にやくざの組織に属し、その名を知られていた。前日の翌日、N君が出てきて激しく怒った。彼は地元では既

二十数名を一列に並ばせているではないか。

い子供たち皆が入れる中学を作ろうと、高松の城主で同校は、かつて中学受験の厳しかったころ、進学した見舞い、それで事件は解決した。

た。

浅草で手相占いという話

あった松平家が土地を提供して作られたと聞いた。

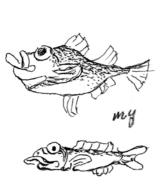
時代にN君と親しかった友人に会った時、彼の消息を聞あのころから既に七十年以上経過した。数年前、本中

を引ってここがある」に言う。いた。「浅草のホテル前で手相占いをしているという話

「秋祭り巣鴨はかつて通学路」、一昨年(二〇〇八年)を聞いたことがある」と言う。

なってはいるが、雰囲気は、昔と変わらなかった。出し、母校を訪ねた。母校のたたずまいは新しい建物とる。巣鴨駅を通って本郷中学へ通学していたころを思い巣鴨駅近くの地蔵尊秋祭り吟行に参加した時の句であ

くの喫茶店で語り合ったのが彼と会う最後の機会となっていなかった。新潟事件の折、保釈された彼と裁判所近脚を伸ばした。ホテル前を探したが、手相占いの店は出い君はどうしているか。母校を訪ねたあと、浅草まで



ギニアの夢プロジェクト

村

中

爽

想外な出来事に出くわすことになった。 一九七○年、私は初めて西アフリカのギニアを訪れ 一九七○年、私は初めて西アフリカのギニアを訪れ 一九七○年、私は初めて西アフリカのギニアを訪れ 一九七○年、私は初めて西アフリカのギニアを訪れ 一九七○年、私は初めて西アフリカのギニアを訪れ

陸する羽目になった。雪が積もり、薄暗く閑散とした空後戻りして西シベリアのノヴォシビルスク空港に臨時着到着寸前に濃霧のため着陸不能となり、何時間も航路をに向かう予定だった。ところが、搭乗機がモスクワ空港羽田を出発。パリに一泊して翌朝ギニアの首都コナクリオー月十九日の朝、モスクワ経由パリ行きの日航便で

が発着するパリ郊外のルブルジェ空港までタクシーを飛クリ便の出発時間が迫っていた。アフリカ各地行きの便リー空港に着いたのは二十日早朝となり、予約したコナルに運ばれて仮眠。夜半に再出発したが、パリのオル港は零下十七度で寒さが身にしみた。バスで近くのホテ

ばしてやっと間に合った。

出張することになったが、出鼻をくじかれる思いをした交う銃弾と砲声に肝を冷やした。その後何度もギニアに攻事件に遭遇する。宿に数日間足止めにされ、街に飛び

今度は隣国ポルトガル領ギニアの外人部隊による武力侵

こうしてコナクリにたどり着き一息ついたところで、

初訪問のときの経験は忘れ難い。

た。一方、ギニア側のプロジェクト推進の熱意は強く、どについて関係官庁との折衝に手間取ることも多かっていなかった。そのため契約の認証、輸出保険の付保なア間の外交関係は密とは言えず、両国共に大使館も置いジェクトの可能性調査を受注したが、当時は日本とギニジェクトの可能性調査を受注したが、当時は日本とギニジェクトの可能性調査を受注したが、当時は日本とギニジェクトの可能性調査を受注したが、当時は日本とギニジェクト推進の熱意は強く、

一九七二年には日本に大使館を開設し、日本との協力関

終了し、可能性調査の報告書が提出された。特有の厳しい気候風土など多くの難点を乗り越えて無事係強化に努めた。この間、現地での測量調査はアフリカ

計契約がまとまり、作業が開始された。 このにこれに続き、一九七三年、次の段階の詳細設をもので、当時としては野心的な大プロジェクトだっるもので、当時としては野心的な大プロジェクトだっのための総延長千キロ超に及ぶ鉄道と、輸出積出し用ののための総延長千キロ超に及ぶ鉄道と、輸出積出し用ののための総延長千キロ超に及ぶ鉄道と、輸出積出し用ののための総延長千キロ超に及ぶま道と、

思い出となってしまった。

しかし、契約作業が順調に進む一方で、このころから

夢だと切に思う。

しては、いつも複雑な思いで対応に苦慮したものだ。 財政、外貨事情の現状を挙げて、支払の猶予を求めてき 財政、外貨事情の現状を挙げて、支払の猶予を求めてき 財政、外貨事情の現状を挙げて、支払の猶予を求めてき が来るごとにギニアへ出かけ、支払の確保に努めた。何 が来るごとにギニアへ出かけ、支払の確保に努めた。何

契約金額の支払いは遅延の上、止まったままだっ九七六年にかけて契約作業は全て終了した。しか

で素朴なギニアの人たちとの交流は今では遠く懐かしい行きは続き、計十三回に及ぶ渡航を重ねた。多くの陽気請求の努力義務は依然残ったので、その後も私のギニアの補償は契約額を下回る範囲となった。さらに、支払いの補償は契約額を下回る範囲となった。さらに、支払いの補償は契約額を下回る範囲となった。さらに、支払いの補償は契約額を

るにせよ、この計画はいつか近い将来に必ず実現されるきず、夢のまま消えたように見える。しかし、形は変わ「ギニア横断鉄道計画」はその後の状況変化で実現はで

回復を期待している。
一九八四年、民族主義指導者セク・トーレ初代ギニア共和国大統領が世を去り、その後、政権交代が何回か共和国大統領が世を去り、その後、政権交代が何回かたったころの古い友人の一人として、一日も早い安定のだったころの古い友人の一人として、一日も早い安定のだったころの古い友人の一人として、一日も早い安定のでったころの古い友人の一人として、一日も早い安定のでったころの古い友人の一人として、一日も早い安定のでった。

『發明物語と科學手工』

飼 直 哉

鵜

きり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉したものだ」というコラムに載っていたことまでは、はっんだ本に出ていた覚えがある。「これが発明されたらたいらの荷降ろし装置」という言葉を思い出した。子供の頃読乗ろうとした電車のドアが開いたとき、急に「走る列車か兵をり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉をり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉とり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉とり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉とり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉とり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉とり記憶している。何の脈略もなしに記憶の奥底から言葉といる。

会図書館で調べようにも手掛かりがなさ過ぎる。てももう一度読みたくなった。しかし、これだけでは国豊田佐吉の伝記もそこで読んだことを思い出し、どうし手荷物の中にその一冊だけを入れていた。エディソンや手荷物の中にその一年間を滋賀県に疎開したとき、僅かな

だけが表面に出てくるから、人間の脳は面白い。

疎開先で終戦を迎えたとき、「心に太陽を持て。唇にて」のことが話題になって記憶回路がまた動きだした。数年後、知人との飲み会で山本有三の「心に太陽を持

本探しもインターネット時代になって様変わりした。をのこと。しばらく記憶の片隅においたままだった。であったのを手掛かりに、神田の古書店街で尋ねてみた。であったのを手掛かりに、神田の古書店街で尋ねてみた。であったのを手掛かりに、神田の古書店街で尋ねてみた。とのこと。しばらく記憶の片隅においたまうな気がしてきた。とのこと。しばらく記憶の片隅においたままだった。をのこと。しばらく記憶の片隅になって様変わりした。を探しもインターネット時代になって様変わりした。を探しもインターネット時代になって様変わりした。

を踊らせて注文した。古書店のサイトに運良く一冊出ていることが分かり、胸

年)を、一頁ずつ文字通り童心に帰って読んでいる。

こうして手に入れた「發明物語と科學手工」(一九三五

機、白熱電球などの発明者の話が二十六編出ている。物語」で、望遠鏡、裁縫ミシン、タイプライター、電信三百二十頁ほどのハードカバーの本の第一部が「發明

いる。「様々な吹き獨樂の造り方」など疎開先で本を見などの実験や、子供たちが自分で作れる玩具が沢山出て「蒸汽を利用する科學遊び」、「レンズのない針孔寫眞器」続いて「科學手工」として「シャボン玉のいろいろ」、

思い出と現実の境界が判然としなくなる。 うな気分になってしまう。急に記憶がアナログ的になり、 しかし、読んでいるうちにどれも昔、見たことがありそ ながら作った覚えが明瞭に残っている部分も多かった。

れたらたいしたものだ」として、次の七つが書いてある。 **「發明物語」と「科學手工」との間に「これが発明さ**

- 「螢の光に似た電球」
- 「手輕な天然色寫真」

「音聲タイプライター」

- 「走る列車からの荷降ろし装置

「電力が石炭から直接取れたら」

- 「家庭でやれる録音装置」
- 「砂糖の人造」

正確で、興味深いものばかりだ。 ルビ付きの子供相手の本であるが、技術予測としても

声タイプライター」は現代でも充分通用する用語である。 カラー写真(コダックが一九六〇年35ミリ判十二枚撮り 九五六年)の名付け親のようなタイトル。さらに「音 まず最初に驚くのは「蛍光灯」(日本の発売は東芝が

> 決策はコンテナーに替わった。規格を統一した鉄製コン んなに時間の經濟となるでせう」と説明がある。この解 を発売)、家庭用録音機 (ソニーの家庭用カセットテー をおろすとき、列車を停めずに走りながらできたら、ど プレコーダーが一九六○年代末に普及)など夢一杯だ。 話の発端となった「荷降ろし装置」は「列車から荷物

テナーは一九五〇年頃に急速に普及したそうだ。

改めて見てみると、一九二○年代末の時代を反映して

燃料電池の実用化研究が二十世紀末になってようやく進 み出したことの予見とも読める。また「人造砂糖」はい いて面白い。「石炭から直接電力を」は、これに代わる

かにも嗜好品が限られていた当時らしい夢である。 どうやらこの「發明物語と科學手工」は私がもの造り

に憧れた発端であったようだ。疎開から帰った三年生の

て作った竹トンボなどにも、いまだに私の初体験の感触 と釘だけを材料にしたモーターや、拾ってきた竹を削っ とき、初めて作った鉱石ラジオから微かに放送が聞こえ てきた瞬間の感動は、決して忘れるものではない。

英軍将校官舎執事体験

大 庭 定 男

Engineer)将校官舎の執事勤務を要請された。この中 第908港湾管理中隊(908 Port Operating Co., Royal ジョンプリオクの作業隊に移った。そこで、英軍工兵

敗戦の翌一九四六年六月、私はジャカルタの外港タン

ような重要な勤務も人生経験だと承諾し、持ち物全部を や将校のご機嫌を損じては大変なことになる。私はこの

を分与した。

隊は作業隊二千人を監督しており、そのL隊長(少佐)

リュックに詰めて赴いた。

君、戦中南方航空勤務)と私が住み込み、インドネシア 官舎にはL少佐を含め将校三名、日本人コック(K

の洗濯女三名が英軍のトラックで通っていた。

ボンだけであった。それでも、帝国陸軍主計中尉という で、来客を応対し、下男、下女に指図していたが、捕虜 の私は作業隊の誰もがそうであるように上半身裸、半ズ 執事という職業は、映画で見るとキチンとした格好

プライドだけは忘れなかった。

執事の仕事 朝昼夕三食のテーブルセットをし、食事中はウエイター

となるが、困ったことには、フルコースのデイナーなど

くそのとおりで、隊より支給されるものは缶詰(多くが ら出すのかというような細かいことでよく注意された。 は食べたことも無いので、食物を右から出すのか、左か 「英人は食物の種類が極めて少ない」と言われるが、全

全くなかった。このため、日本軍の漁労隊が獲った鮮魚 米国産)、小麦粉、調味料、パン、時に生肉で、鮮魚は

を楽しんだ後のベッドメーキングをさせられることで、 が立った。それ以上に屈辱的だったことは、隊長が情事 抑留されていた連中であるが、主人顔をされるのには腹 た。彼女たちは一年前までは日本人の愛人であったり、 将校たちはよく愛人(オランダ人か混血)を連れてき

く、動物視していたからだと結論しているのを読み、成あった例を挙げ、彼女等が日本人を人間としてではな会田教授は英軍女性将校が日本人捕虜の前で裸で平気で

ンダ人に使われていた連中で、インドネシア人からはインドネシアの洗濯女たちは、オランダ時代からオラ

程と思った。

Orang Batavi(バタビア人)と特別視されていた。白

で一度日本語に直して行うのはかなり難しかった。英語の間の通訳では母国語の日本語が入らない。頭の中ちとの間の通訳も私の仕事であった。インドネシア語とおった。彼女たちは英語が出来ないので、英人と彼女た我々日本人に対し優越感をもっている度し難い女たちで我々日本人に対し優越感をもっている度し難い女たちで、人に仕えることが天性のようになっており、反日で、人に仕えることが天性のようになっており、反日で、

楽しく、よい刺激になった。
の空気が吸え、独立宣言後のジャカルタの街を見るのがた。将校は私が交渉すると沢山買えるとご満悦、私は外場に野菜、果物、鮮魚などとの物々交換に行く時であっ場に野菜、果物、鮮魚などとの物々交換に行く時であっまなどをジープに積んで、英軍H中尉とジャカルタの市詰などをジープに積んで、英軍H中尉とジャカルタの市

もない。『夕食は六時』といわれたが、大分急いでいるいうのは『五時五九分』でもなければ、『六時一分』であろうが、時間には極めて厳しかった。『午後六時』と英人気質を観察するのも興味深かった。軍人のせいも

英人は階級により、しゃべる言葉が違うということをろ、「六時と言ったではないか!」と叱られた。

ようなので、数分前に「準備出来ました」といったとこ

コットランド訛りがひどく、聞き返しても分らない。特下士官や兵はスコットランド人が多い。彼らの英語はスあった。この中隊はスコットランドで編成されたため、英語の教科書で読んだことがあるが、全くそのとおりで

に電話はお手上げで、将校に代わってもらった。

にもこの日記を持ち帰ることが出来、『ジャワ敗戦抑留の本を読み、復員後の人生について日記に綴った。幸いが、これを彼女たちはキャッキャッと言って喜んでいた。強の送り迎えは兵隊がジープの荷台に抱いて乗せていた晩の送り迎えは兵隊がジープの荷台に抱いて乗せていた。

日誌一九四六/七』(龍渓書舎)として出版できた。

家を建てる

上原利夫

間の六甲山からは、こんな家が眺められた。に車庫付きの三十坪程度の瀟洒な二階建てである。阪神であった。決して大きな家ではない。百坪ぐらいの敷地大学を卒業して、仕事以外の最初の夢は家を持つこと

当時の新入社員の月給は一万三千円ぐらい。家は退職

新築住宅を持てる仕組みが、S銀行とDハウスの共同企な時代に、自己資金と積立預金で、在職中に土地付きのを買い、それから家を建てるのが順序となる。そのよう度がなかった時代である。だから先ず貯めたお金で土地金で買うものだった。いまでは当たり前の住宅ローン制金で買うものだった。いまでは当たり前の住宅ローン制

ずも夢が実現したことになる。

充当して、家を建てるのである。不足する建設費は住宅定期預金を百万円目標で毎月積立て、これを土地代金に業者に自由設計の家を建てさせる。施主はまずS銀行で入いウスが大阪府で二十万坪の丘陵地を造成し、指定

画で生まれた。

宅地開発プロジェクトに申し込んだ。家の規模は自分のローン制度もまだなかった。わたしはこの日本初の大型銀行の宅地購入ローンは認められていなかったし、住宅金融公庫や勤務先の融資を受けて、毎月返済する。市中

懐具合で、平屋の二十坪、敷地は五十坪だった。

一区画を売り、建物を三十五坪の二階建てにした。図ら渉に時間はかかったが、この物件は引き取らず、同じ造渉に時間はかかったが、この物件は引き取らず、同じ造成団地内の二区画百六十坪の更地と交換してもらった。成団地内の二区画百六十坪の更地と交換してもらった。数年後、家が完成し、引き渡しを受けることになっ数年後、家が完成し、引き渡しを受けることになっ

で、時間節約のために、やるべきことはすべてやった。に、とも思ったが、トラブルが生じたときは面倒なのるために大手商社に元請させた。たかが木造小住宅なのるために大手商社に元請させた。たかが木造小住宅なのるために大手商社に元請させた。たかが木造小住宅なの者に任せだった。今度の家は建築士に図面を引かせ、施者に任せだった。今度の家は建築士に図面を引かせ、施

図の等高線を読み取る力が役に立ったのである。の部分を調べることから始めた。大抵の人は造成前を失なる造成図面を見せられた。しかしこの偽りを指摘で異なる造成図面を見せられた。しかしこの偽りを指摘で異なる造成図面を見せられた。しかしこの偽りを指摘でまたことが、有利な解決をもたらした。大抵の人は造成前をったことが、有利な解決をもたらした。大抵の人は造成前をの部分を調べることから始めた。大抵の人は造成前を

台所の位置と人の動線も大事である。といい、敷地と道路の位置が重要である。土地の形状と次に、敷地と道路の位置が、わたしは、東南の角に玄関を設けられる東西に長いが、わたしは、東南の角に玄関を設けられる東西に長いたでいると、その効果が現れるという。風呂、トイレ、人でいると、その効果が現れるという。風呂、トイレ、大でいると、その効果が現れるという。風呂、トイレ、大でいると、その効果が現れるという。風呂、トイレ、大いに、敷地と道路の位置が重要である。土地の形状と

てしまう。自分の好みに拘ると後悔するという。照明器ら出来上がりを想像するのは難しい。配色になると迷っ選択に頭を悩ます。楽しいと言えば楽しいが、色見本か棟上げになる。家の骨格が見えてくると、内装や家具の神主さんを招いて地鎮祭を行い、基礎工事が始まり、

壁の素材と色、庭や外周りの生け垣との調和になる。具も同じで、全体との調和がポイント。最後は、建物外

こうして、昭和四十三年一月に木造の我が家は完成し

機会かもしれない。しかし、すぐ海外勤務になったのは三回建てると満足できるものになるらしいから、よいがあり、出来具合はよい。ところが、予想されたことでだが、初めて住む家である。最初の平屋建てよりゆとりた。敷地八十坪、建坪三十五坪の二階家。二度目の作品

られたのは幸運だが、十九年住んで貸家にした。とれたのは幸運だが、十九年住んで貸家にした。める違と一旦落ち着き、五年後に三回目の家を建てた。ある。屋根裏部屋付きで、外見は二階建てだが、登記上はい下一階、地上三階になっている。生涯に三回家を建ておいたが、間数の多い和風の建売を購入し、四人の子供わったが、間数の多い和風の建売を購入し、四人の子供

いまは、高齢者に優しいマンションで過ごしている。

で、その実現は帰国後に延びた。

五年後に東京へ戻った。ヨーロッパ暮らしで好みが変

初体験の無条件降伏

玉 山 和 夫

諾し、日本は敗戦国となった。 一九四五年八月十四日、日本政府はポツダム宣言を受

の担当国の捕虜となって、苦難をなめることになった。は故郷に帰ることが出来たが、国外に居た兵は、それぞれ組むのか決めかね、混乱した。日本本土(内地)に居た兵日本軍にとって敗戦とは「初経験」であり、どう取り

り、日本兵は報復的で非人道的な取り扱いをうけた。Jは条約に定める捕虜としての権利を認めないものであ人の日本軍人、軍属をジュネーブ条約で定める捕虜とし本の敗戦に対する準備を進めており、投降した七十八万本の敗戦に対する準備を進めており、投降した七十八万東南アジアを担当した英軍は、ドイツの例に準じ、日東南アジアを担当した英軍は、

SPについては大庭会員が悠遊に書かれているように、

英軍定量の半分以下の食料しか支給されず、粗悪な条件

米軍占領地区にいたものは、条約に基づく捕虜として了したのは一九四七年末だった。

のなか重労働をさせられ、九千人が死亡した。

帰国が完

扱われ、早めに帰国し、やせ衰える者は少なかった。

中国にいた日本軍は、当面の戦場では蒋介石軍と中国

降伏した。日本兵の多くは条約に準ずる捕虜として扱わ共産党軍に対し優位であったが、命令により蒋介石軍に

れたが、一部では屈辱的な取り扱いを受け、或いは共産

れ、僅かな食料で数年間重労働を強いられ、死亡者は視しているソ連軍に捕らわれ、酷寒のシベリアに連行さ中国東北部(満州)に居た五十五万人は、条約など無軍との戦闘に使われ、かなりの戦死者を出した。

五万人をこえた。

軍事裁判所憲章で一九四五年八月八日に結んだロンドン協定付属の、国際でし」と明示されており、更に続いて米英仏ソ四国がでし」と明示されており、更に続いて米英仏ソ四国がおツダム宣言第十項には「我らの俘虜を虐待する者を

(1)

対する罪」(A級犯罪)

② 捕虜虐待等の伝統的な戦争法規違反 (B級犯罪)

一般住民に対する非人道的行為や迫害を国際犯罪と

3

する「人道に対する罪」(C級犯罪)

後法であり、一般的な法体系から言えば「チエンジ」でを国際合意した。このうち①と③は新しい戦争犯罪=事

あった。

決により、七名が絞首刑、他の者は終身から七年までの決により、七名が絞首刑、他の者は終身から七年までのよって行われた。合議ではインドのパール判事は全員のに異議を唱え、フランスのペルナール判事は第二次大戦に異議を唱え、フランスのペルナール判事は第二次大戦に異議を唱え、フランスのペルナール判事は第二次大戦に異議を唱え、フランスのペルナール判事は全員のに異議を唱え、フランスのペルナール判事は第二次大戦に異議を唱え、フランスのペルナール判事は第二次大戦に対し、連合国から一名が改善が表現している。

死刑になり、更に逮捕された者は長期にわたり拘留さ本兵を逮捕し、裁判を行った。英軍管轄下では約千名がBC級については、連合国は各地で二万五千名もの日

ている。

禁固刑となった。

懲罰であった。一方中国は死刑や無期徒刑を皆無とし、れ、餓死寸前の食料しか与えられなかったのは、苛酷な

BC級犯罪の多数の被告は急造の裁判所で、殆どが軍有期刑者には思想教育を行った

人である裁判官と検察官によって裁かれ、報復的な雰囲

く、理由が分からないままに死刑になった者も多々あっ活動は制限されていた。日本語の通訳は未熟なものが多で、ごく一部には日本人の弁護士が立ち会ったが、その気のなか略式に裁判が行われた。弁護人は形式的な存在

地におけるBC級裁判や抑留者に対する強制労働などはており、マスコミに対する厳格な事前検閲によって、外日本内地は、米国主導の連合軍によって占領統治され

全く国民に知らされなかった。

ていたが、予定通りには進まず、泥沼にはまってしまっ成功で自信をつけ、イラクでも占領が上手く行くと思っらめ、おとなしく占領政策に従った。米国は日本占領の日本人は初体験の無条件降伏にとまどい、抵抗をあき

た。

初めての不倫の代償

春

三

でもロシアに行けばモテモテ間違いなし!どの堅物でもイチコロ。たとえ日本では女性に縁遠い男との堅物でもイチコロ。たとえ日本では女性に縁遠い男ロシア女性の手練手管やひたむきなアタックにはよほ

に我々社員を相手に毎晩へべれけになっては愚痴をこぼ節の三角形を循環していたというカタブツが、ようやく館の三角形を循環していたというカタブツが、ようやくのとりある生活を獲得した四十代半ばにして妻に出て行いれ、離婚騒動がもち上がった。その憂さを晴らすためかれ、離婚騒動がもち上がった。その憂さを晴らすためかれ、離婚騒動がもち上がった。その憂さを晴らすためかれ、離婚騒動がもないでは、というないというない。

最後のチャンス!

が、ニーナはロシアの片田舎のプラント建設現場でその連では一般女性が外国人と接触できる機会は少なかったし、漢字も読み書きできるほど優秀だった。その昔のソは、若くもなく美人でもないが、滑らかな日本語を話は、

てみるとあの豪遊ぶりはどこへやら、旦那は仕事にもあタック、念願の祖国脱出を果たした。ところが日本に来目そうな日本人通訳者の羽振りのよさに惹かれて猛烈ア数少ないチャンスに恵まれた。風采はあがらないが真面

ぶれがちで家賃の払いにも汲々とする始末だ。

生活のために彼女も働きだしたが、そうなると旦那は

いたような社長の別居と離婚訴訟である。格好の標的、の将来にも不安を覚えて思い悩んでいた矢先、降って湧離婚すれば故国に戻らねばならない。生活費や子供二人ようになった。なんとかしてこの状況から逃れたいが、

に告白(自慢)しては周囲を困惑させていた。

「運命的出逢い」の進展状況を相手かまわず逐一赤裸々
しく手料理のサービス。男女交際に関してはウブを通り
しく手料理のサービス。男女交際に関してはウブを通り
しく手料理のサービス。男女交際に関してはウブを通り
まずは社長の仕事ぶりや人柄を褒めたたえ、あふれる

女の席はもちろん社長の隣に移され、甘い空気が漂う。電話があったらごまかしとけ」と箝口令が敷かれる。彼中。偽装のために途中まで社員を同行させ、「旦那から日那に怪しまれないようにデートはもっぱら就業時間

していた。

に仕立てて追い出そうと、「機密漏洩による懲戒解雇」頭。そこで、この恋愛に非協力的なあの社員三名を犯人され、「会社の機密を漏らしたのは誰だ!」と怒り心すい。ある日ある時、取引先からアツアツぶりを冷やかすい。ある日ある時、取引先からアツアツぶりを冷やかこんなに用心した(?)のに、この種の噂は広まりや

先に敬遠されて受注激減、屋台骨も傾きかけてきた。人を告訴するという作戦ミスを犯したものだから、得意と題した怪文書を全顧客に配布したばかりか、反逆者三まされることとなった。しかも「反逆者による社内暴動」だけでなく、懲戒の撤回と退職金を要求する団交にも悩だけでなく、懲戒の撤回と退職金を要求する団交にも悩だけでなく、懲戒の撤回と退職金を要求する団交にも悩

我ら懲戒解雇三人組はこの不当解雇を総評に訴えた。

を言い渡した。さぁそうなると他の社員も黙ってはいな

い。目に余る公私混同に全員が愛想をつかして退職し、

スリルに武者震いしながら生き生きと充実した日々を過ラ撒きと団交を続けた。思いおこせばあの頃は、緊張とのかという決意、一人ではないという心強さを背に、ビ

残り半分の土地に新居を建ててもまだお釣りがきたそう売り払った。時はバブルの頂点。数億円で売りさばき、産分与と退職金支払のために豪邸の敷地三百坪の半分を社長は離婚と労使紛争の二つの訴訟に敗れ、妻への財

弁護士と再婚、我々三人は新会社を設立した。だ。半年後にニーナと再婚、別れた妻も訴訟を担当した

初めての不倫で思いがけない代償を払うことになった

が、スピーカーの故障で中止になって良かった、と今は使って自宅周辺住民にアピールしようという総評の荒業が、根はそう悪い人でもなかった。ラウドスピーカーをけた網に見事にかかった社長は、やり方こそ間違えたけた網に見事にかかった社長は、やり方こそ間違えたけたが、ニーナが自分と子供達を守ろうと必死で仕掛

憧れの「一家団欒」が実現していればいいのだが…。

心から思っている。

怒りや闘争は妙に人を活気づける。泣き寝入りするも

マドリッドの中華飯店

村 晃 也

中

一人で週末のマドリッドを歩いたことがある。誰でも経ン語を試してみたくて、心配する商社マンを振り切り、今は昔のことになるが、生意気にも習いたてのスペイ

えば宵の口といった感じであった。出かけた。夜の八時半といっても街の雰囲気は日本でい気軽な下町の食堂然とした店を見つけようと、勇躍町にしは一仕事で、肩の凝るホテルのレストランは敬遠して験することではあるが、慣れない土地での夕食の場所探

に入るには相当の勇気が必要であった。 昼間タクシーで通り過ぎた時は気が付かなかったが、 母間タクシーで通り過ぎた時は気が付かなかったが、 母間タクシーで通り過ぎた時は気が付かなかったが、 は全く苦労はなかった。が、どの店もガッシリした木製 は全く苦労はなかった。が、どの店もガッシリした木製 いざその積もりで歩いてみると、街路の角という角、路 いざその積もりで歩いてみると、街路の角という角、路 いざその積もりで歩いてみると、街路の角という角、路

入った時の、薄暗い店内で料理の出来上がるのを独りで値段はそれなりに把握できるのだが、先客が居ない店に勿論、店頭にはメニューが貼ってあり、料理の中身とお

ら、表から内部の様子が判る店を探して歩いた。待つ自分を想像すると、余りいい気持ちはしない。だか

そのような店は、十軒が十軒とも、殆どが立ち席のい

な食事に行こうかといった感じの店ばかりで、店内の喧ここで待ち合わせして軽く咽喉を潤し、それから本格的のフライをおつまみにしてちょっと一杯ひっかけるか、わゆるスタンドバーであった。勤め人が帰りがけに小魚

騒と濛々たるタバコの煙は、不慣れな旅行者の立ち入る

のを阻止するかのように思えた。

華料理店なら様子もそこそこ想像できるし、ヨコメシにアは開いていたが、中は暗くて見えなかった。だが、中ンには漢字で『菜宝館』なる店名が読み取れた。店のド裏手にうらぶれた中華料理店を発見した。薄汚れたネオ裏

辟易している胃腸を休めるには好適に思えた。

ドアに近いテーブルを数名の従業員が囲み、簡単な食

彼らは慌てて食事を切り上げ、小生を奥のテーブルに事をしている最中だった。

テレサテンの歌声が流れてきた。飲みながらふと気が付くと、店の奥から中国語でうたうハンを注文した。落ち着いた気分を取り戻し、ビールを案内した。しばらくお目にかかれなかった餃子とチャー

たい。当地では中国人の社会的地位はだいぶ低いのかも知(中国人)だ」と答えて、卑屈な笑いを唇の端に浮かべ(中国人)だ」と答えて、卑屈な笑いを唇の端に浮かべみると「ノン」という。「香港か」「ノン、我々はチノターを呼び「私は日本人だが君らは台湾人か」と聞いているのも気詰まりなので、ニキビ面のウエイ

たまま「ノン、これはチノの歌だ」という。 教えてやったところ、彼は相変わらず薄ら笑いを浮かべなんていう歌か知っているか。これは日本の歌だよ」と すんではないか! 多少の懐かしさも手伝って「これは デイに変わった。なんとそれは『潮来の伊太郎』のメロディに変わった。なんとそれは『潮来の伊太郎』のメロディに変わった。

エイターを加勢に呼んで来て「この歌もチノの歌だ」と対に日本の歌だ」と強硬に主張した。すると敵は別のウもう我慢できない。再度ニキビ氏を呼んで「これは絶もう我慢できない。再度ニキビ氏を呼んで「これは絶をう我慢できない。と、更に曲が変わって今度は小生で反論できずにいた。と、更に曲が変わって今度は小生で反論できずにいた。と、更に曲が変わって今度は小生

チノチノといいながら、何回も何回も頷きあうのである。も譲らず、カウンターのおばさんまでも味方に引き入れ、らは笑顔こそ引っ込めないが、歌の国籍については一歩の地名だ」といって、曲に合わせて歌って見せても、彼「いやこれは日本の歌だ。『ヤナガセ』というのは日本

口々に言い合い、頷きあっている。

あるボニータとの国際交流は未だ実現していない。は誠に不本意な結果に終わった。因みに、究極の目的でこうして国際交流を夢みた初のスペイン語の現地実習

掻きこみ、チップも払わずに店を出たのであった。

手にして小生は急に不機嫌になり、黙ってチャーハンをを説得できる術もなく、この店の無知で頑迷なチノを相

事態はここに窮まり、小生の拙いスペイン語では彼ら

掌編小説勉強会のこの一年

るのに適当な長さと思われます。各自が事前に提出した、三年目に入って定着し、隔月開く合評会も昨年会は、三年目に入って定着し、隔月開く合評会も昨年会は、三年目に入って定着し、隔月開く合評会も昨年会は、三年目に入って定着し、隔月開く合評会も昨年会は、三年目に入って定着し、隔月開く合評会も昨年会が、

員専用のホームページに掲載されます。 合評会を経て改訂された作品は、勉強会の成果として会二、三名の批評専任の方に加わっていただいています。 メンバーは男性七名、女性一名、それに合評会には 創作作品を合評会で講評し合って勉強します。

作品の数は、この一年で四十五編、勉強会開始以来の作品の数は、この一年で四十五編、勉強会開始以来のもちろん恋愛小説と多様です。

この年、勉強会のメンバーのはじめての共同作業として、二つのリレー小説に取り組みました。これは、参加で、二つのリレー小説に取り組みました。これは、参加で、二つのリレー小説に取り組みました。と、起承転結を分業して書くのはかなり勝考えて書くのと、起承転結を分業して書くのはかなり勝きが、なんとか辿り着きました。次作の『選択と生き様』は趣向を変えて、リレーで書き継いだ後、最終回の結末は趣向を変えて、リレーで書き継いだ後、最終回の結末は趣向を変えて、リレーで書き継いだ後、最終回の結末は趣向を変えて、リレーで書き継いだ後、最終回の結末となり、各自の個性を映した「選択と生き様」になりました。

の場としてさらに活性化するように努めたいと思いまこれからも、この勉強会が創作の腕を上げる切磋琢磨

(プロマネ 濱田 優、西川武彦)

す。

自由テーマ



山縣 正靖

虹

西川 知世

更に神は言われた。

「あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々とこしえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹をなる。わたしが地の上に雲を湧き起こらせ、雲の中に虹が現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすが現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすが現れると、わたしは、わたしとあなたたちならびにすが現れると、わたしは、わたしとあなるものとの間に立てない。雲の中に虹が現れると、わたしはそれを見て、神と地上のすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める」

面です。

すっかり乾いて舟から降りたノアに神様が語りかける場切っている人が多いと思います。常に悪いことばかりを知っている人が多いと思います。常に悪いことばかりをが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼが人を造ったことを後悔して、地上に洪水を起こし滅ぼからと決心さればいる人があります。

献って裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって見子たちに見つかったとか、実に面白な箇所がこの部分です。ノアは六百歳で洪水に会い、な箇所がこの部分です。ノアは六百歳で洪水に会い、な箇所がこの部分です。メアは六百歳で洪水に会い、な箇所がこの部分です。メアは六百歳で洪水に会い、な箇所がこの部分です。メアは六百歳で洪水に会い、な箇所がこの部分です。メアは六百歳で洪水に会い、イエスを箇所がこの部分です。メアは大百歳で洪水に会い、おい、といったとか、実に面白かって裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって息子たちに見つかったとか、実に面白かって裸になって見います。

てた契約のしるしである」

「これが、わたしと地上のすべて肉なるものとの間に立

神はノアに言われた。

でした。どなたか見られたでしょうか。私ですが、残念ながら、その虹を見ることができません会ったら消えるまで立ち止まってしまうことがよくあるな二重の虹がかかったとありました。虹が大好きで、出な二重の虹がかかったとありました。虹が大好きで、出

になります。き物に心を寄せてくださっていると思い、幸せな気持ちだと知ってから、虹をみるたびに、今、神様が地上の生だと知ってから、虹をみるたびに、今、神様が地上の生

なっています。のです。私の信仰理解は幼いのですが、虹は拠り所とのです。私の信仰理解は幼いのですが、虹は拠り所とす。聖書のこの箇所を読むとそれを信じることができる

虹を見たときには、さっそく俳句を作ります。

二重虹人は悲しきとき笑ふ虹消えてしまひぬ仔犬ふところに

初嵐旧約の神空に在り



誇りなき民

山章一郎

新

NHKTVの『ベルリン アンダーグランド』という NHKTVの『ベルリン を東西に分断した壁はベルリ 番組を見た。あのベルリンを東西に分断した壁はベルリンの地下鉄にも築かれた。煉瓦で塞がれたプラットホーンの西側への逃亡の生々しい痕跡が今も残されていることを知り慄然とした。柔らかい煉瓦には穴が開いたことを知り慄然とした。柔らかい煉瓦には穴が開いたが、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必が、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必が、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必が、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必が、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必が、その奥には強固な鉄板の芯が入っていて、人々の必ずにない。

陥っているのかと思った。確かにあの「アウシュヴィッ意味でドイツ人も日本人と同じような自己権威喪失に「ドイツ人は自分の国に誇りを持たない唯一の民族だ」と言っていたのは印象的だった。彼は東西分断によだ」と言っていたのは印象的だった。彼は東西分断によだ」と言っていたのは印象的だった。彼は東西分断による民族相克のベルリン地下世界協会という団体の役員が最後総括役のベルリン地下世界協会という団体の役員が最後

も知れない。 ツの大殺戮」を行った祖国に対して誇りは持てないのか

というものに対する国民感情の変遷が鮮やかに蘇る。敗戦前後に多感な青春を生きた私には、敗戦前後の祖国というもう一つの国があり、民族が居る。太平洋戦争敗というもう一つの国があり、民族が居る。太平洋戦争敗民族は君たちだけではない。この地球の東の果てに日本民族は君たちだけではない。この地球の東の果てに日本民族は君たちだけではない。

て、我々は祖国の歴史に誇りを失い、国家民族としての国、民族であったという事実を徹底的に見せつけられかれた。自分の誇りにしていた祖国は実はとんでもない民を見捨てて我先に逃げ出したなどの不祥事が次々に暴京大虐殺等々。更にあの権勢を極めた「皇軍」が自国の

資質にも自信を失った。

張り「金儲け」だけでは「誇り」にはならなかったのか。 に満ちて言えた。ところが、今や同じことを言うのに も、「侵略戦争を起こした、あの国の人間です」と言っ も、「侵略戦争を起こした、あの国の人間です」と言っ ているような、何やら後ろめたいものを感じる。そして て誇りを持てない、それ故に関心がないというのは至極 で誇りを持てない、それ故に関心がないというのは至極 でいるような、何やら後ろめたいものを感じる。そして できりを持てない、それ故に関心がないというのは至極 でいるような、何やら後ろめたいものを感じる。そして できりを持てない、それ故に関心がないというのは至極 と言っ と言っ はならなかったようだ。矢 大国の実績も祖国の誇りには繋がらなかったのか。

のように考えているのだろう。

しかし、その点では他の国々だって多かれ少なかれ同

· V

の国の人々はそんな過去の歴史と祖国への「誇り」をどの国の人々はそんな過去の歴史と祖国への「誇り」をどいり。「カチンの森事件」を持つロシアだって。それらいり。「カチンの森事件」を持つロシアだって。それらにはなっているのだろう。アラブの人を裏切った英国したはなっているのだろう。アラブの人を裏切った英国したはなっているのだろう。アラブの人を裏切った英国したはなっているのだろう。アラブの人を裏切った英国したはなっているのだろう。アラブの人を裏切った英国したような歴史の恥部を引きずっている筈だ。かつての帝じような歴史の恥部を引きずっている筈だ。かつての帝じような歴史の恥部を引きずっている筈だ。かつての帝じような歴史の恥部を引きずっている筈だ。かつての帝

り、それらを誇りと出来るような世界に早くなって欲しアチーヴメントなどがその国を計る基本的な尺度にな余りに悲しい。科学、芸術、平和などの文化・文明的なに勝たなければ「誇れる国」にはなれないというのではどんな蛮行も戦争に勝てば帳消しになる。矢張り戦争

夏が近い

新井良侑

十二月八日に、

『真珠湾攻撃総隊長の回想

淵田美津雄

数年前に、新聞で読んだのか、テレビ番組で見たのか数年前に、新聞で読んだのか、テレビ番組で見たのかに興味を引かれた。しかし、そのこと以上に、彼が晩年に興味を引かれた。しかし、そのこと以上に、彼が晩年に興味を引かれた。しかし、そのこと以上に、彼が晩年ま残した未発表の自叙伝の題名が「夏が近い」であることに強く引きつけられた。

ていることを思い、警鐘を鳴らしたものと思ったのであの世界情勢や時代の潮流から、この預言の実現が近づいは、淵田氏が目の当たりにした原爆の悲惨な光景と現在代の終末の兆しを預言したキリストの言葉である。私代の終末の兆しを預言したキリストの言葉である。私

この自叙伝の刊行を待ち望んでいたが、二〇〇七年る。

問自答している場面である。

『問題をしている場面である。

『問題を追している場面である。

『問題を追いに超えたものであった。

『の原爆記念碑の前で、彼が碑に刻まれた「安らかに眠っの原爆記念碑の前で、彼が碑に刻まれた「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませんから」の意味について自の自叙伝』として発行された。

霊を神さまにゆだね、私たち人間をして再び過ちを犯さないるのである。つまり、この非業にたおれた人たちののか」と鋭く自問し、全霊をあげて熟慮を重ねた。のか」と鋭く自問し、全霊をあげて熟慮を重ねた。そしてついに、彼は、「この碑文は、祈りであって、そしてついに、彼は、「この碑文は、祈りであって、でいるのである。つまり、この非業にたおれた人たちのな場合で、バラバラにはは「原爆などという凶悪無惨な兵器で、バラバラにまを神さまにゆだね、私たち人間をして再び過ちを犯さな場合である。

という結論に到ったのである。ないように導いてくださいとお願いしているのである」

トを信じなさい」という結論を提示した。その他の神さまなんていない。あなたはイエス・キリスる。淵田氏は、「神さまとはイエス・キリストである。この慰霊碑はこの前に立つ人に、この碑文を実行する

また宇宙で起きている諸現象から、私も確実に夏が近づ極限近くまで発達した文明社会、断絶した人間社会、と同じ思いの者である。

いていると感じている。



ビル・エヴァンスを知らなかった

谷博

細

青山通りの伊藤忠や嘗て問組があった辺りの向かいにあった「オーチャード」というクラブを憶えていますか?あった「オーチャード」というクラブを憶えていますか?が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なママと、若くて可愛いシンガポーリエンヌや、が豊富なマと、若くないが、日頃口うるさいから、

判って安心し、それからは彼のことも〝先生〟と呼ぶこを頼りに、演歌でもフォークでも伴奏してくれるのがて、見かけによらず上手にソングブックの楽譜とコード目一方みたいな若いピアニストがピアノの前に座ってい

ジャズピアニストは別にビル・エヴァンスに限らず、

とにしました。

いるのに何で?」とでも言いたげな不満顔をしたが、それが、ハーモニーは面白いが何ともムードが場の雰囲気に合め、ハーモニーは面白いが何ともムードが場の雰囲気に合と、彼はもそもそと振り返って「ジャズがお好きと聞いてと、彼はもそもそと振り返って「ジャズがお好きと聞いてと、彼はもそもそと振り返って「ジャズが場の雰囲気に合いるのに何で?」とでも言いたげな不満顔をしたが、それが、そのはが、客の注文が途絶えるとパラパラと弾くBG

でも気を取り直してブギウギを弾き出しました。

世の中のバブルがはじけ、やがて私も現役をはなれて、 世の中のバブルがはじけ、やがて私も現役をはなれて、 世の中のバブルがはじけ、やがて私も現役をはなれて、 世の中のバブルがはじけ、やがて私も現役をはなれて、 世の中のバブルがはじけ、やがて私も現役をはなれて、 を犯していたことに気がつきました。あのオーチャードで を犯していたことに気がつきました。あのオーチャードで 不景気だと非難したパラパラは、実は歴史に残る伝説の 不景気だと非難したパラパラは、実は歴史に残る伝説の でーシスト、スコット・ラファロと今でも活躍しているド ラマーのポール・モチアンとのトリオ演奏からベースとド ラムの音をぬいたものだったのです。

じ、彼もいつも背をこちらに向けていたせいもあって、 てて、クリント・イーストウッドのように映画界には るのであろうか? それともジャズピアニストの夢を捨 今になってつくづく相済まぬと思っています。機会があ 取り出すと、ビルから構造物の一部が抜けた姉歯調にな を務めなければなりません。トリオの時のピアノだけを いったのであろうか?(彼も若い頃はサンフランシスコ は検索もできない。あれからあと、研鑚を積んだ結果で 顔も覚えていません。名前で探そうにも〝先生〟だけで れば謝りたいと思ったが、もはやオーチャードも店を閉 から、私が戸惑ったのもむべなるかなであります。 る訳です。それだけをオーチャードで聴かされたのです アンサンブルでは独奏部を除き、トリオ全体のまとめ役 ます。ソロでは左手でリズムを取りながら右手でメロデ イーパートを作り、両手でハーモニーを構成しますが、 ソロプレイとアンサンブルとでは完全に演奏を変えてい 流のジャズピアニストになって、世界に羽ばたいてい それにしてもあの時の

*先生

には悪いことをしたと

輝く「ラウンドミッドナイト」の吹き込みに参加した無無残な生涯を描いた伝記映画「バード」に結実したといえます。)それとも未だにどこかのクラブで、この不えます。)それとも未だにどこかのクラブで、この不えます。)それとも未だにどこかのクラブで、この不えます。)それとも未だにどこかのクラブで、この不におびえながら生オケの伴奏を続けているのでしょけって昔の音源が新鮮に耳と心に響きます。私にとって中でイスのクインテットに加わって音楽の歴史に燦然とイヴィスのクインテットに加わって音楽の歴史に燦然とイヴィスのクインテットに加わって音楽の歴史に燦然とイヴィスのクインテットに加わって音楽の歴史に燦然とイヴィスのクインテットに加わって音楽の歴史に燦然とがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るもがモダンジャズの創始者チャーリー・パーカーの見るも

がまた物凄く湧き上がって来るのです。〝ミスター・エンスの凄さを思うとともに、あの〝先生〟への悔恨の念ンスの凄さを思うとともに、あの〝先生〟への悔恨の念デビー」や「マイ・フーリッシュ・ハート」などをしみデビー」や「マイ・フーリッシュ・ハート」などをしみデビー」や「マイ・フーリッシュ・ハート」などをしみ

名の白皙のピアニストでした。

のピアノバーでジャズを弾いていた。その頃の彼の想い

ヴァンスと先生! 御免なさーい!

母の念い

濱

田

優たか

ことのもっとも多い怖い伝染病だった。 ぼくが赤坂に住んでいた子どもの頃、 肺病は死に至る

とは殆んど記憶にない。感染を恐れた親が、ぼくを見舞 外のサナトリウムで療養生活を送ったが、そのときのこ 父と母の暗い顔が子ども心に忘れられない。姉たちは郊 いに連れて行くのを憚ったからだろう。 銀行勤めをしていた二人の姉が相次いで肺結核に罹っ 「厄病神にとりつかれた」と嘆き悲しんでいた

調のためで、自分に責任があると己を責めた。戦後の食 に、一人息子のぼくは病気を寄せ付けない丈夫な身体に 糧事情がひどく悪い時期で仕方なかったのに――。そこ 快方に向かったけれど、母は二人が発病したのは栄養失 で母は、病み上がりの姉たちの体力回復を図るととも 新薬が導入されはじめた時期でもあり、幸い姉たちは

しよう、と食生活改善の大作戦に取り掛かった。

職をして食費の捻出に努めた。その一方、母ならではの 裁学校出の腕を活かし、夜なべして家族の服を縫い、内 なく、滋養豊富な料理を作るのは容易ではない。母は洋 リーマンのわが家では、 とはいってもまだ物不足が続いていた時代、 高価な闇物資などとても手がで

安サラ

ユニークなやり方でお金を掛けずに食材を集める。 たとえば野菜は、千葉から行商にくるオバサンから格

安に買う。実際は貰う方が多かったようだ。いつの間に かわが家は、得意先を回って疲れた千葉のオバサンの、

母のお喋り好きにぼくはよく閉口したが、ここではそれ ろして一服し、母としばし世間話に興じて気を晴らす。 最後に立ち寄る休み処になった。彼女は勝手口に腰を下

が功を奏し、オバサンは残った野菜を置いて帰るのだ。

と、一度使っただけの上質な天ぷら油の瓶をぶら下げて や兜を持ってきてくれた。彼は田舎から出てきて包丁一 を母に聞いてもらいたくて息抜きに来る。油がなくなる べて今どきの若い衆は……と、調理場では言えない不満 本で赤坂に店を構えた苦労人。自分の板前修業時代に比 魚は、近所の仕出屋のオジイチャンが高級魚の中落ち

来てくれた。

るか、その場にならないと分からず、事前に献立を決めが集まったが、貰い物には一つ難点がある。何が手に入こうして、母の人柄に惹かれた人々の好意で良い食材

ることが出来ないのだ。

型冷蔵庫に買い溜めができない時代に、である。に早業で料理が出せたのか、今もって不思議に思う。大料理に変わる。不意の来客があった時など、なぜあんな料でもたちどころにそれを活かした旨いると、どんな材料でもたちどころにそれを活かした旨い

をほどこした。 あんかけの中華風料理はことに好評で、父は大いに面目の縁者も何かあればうちに集まる。魚の唐揚に具沢山の族だけでなく、親戚の間でも母の手料理は評判で、父方族だけでなく、親戚の間でも母の手料理は評判で、父方

料理は旨かった」と大きくなってからも懐かしんでくれらはいつまでもそれを覚えていて、「お前のお袋さんのした。食糧難でみんなが空腹を抱えていた頃である。彼母は、うちに遊びに来るぼくの友だちにもよくご馳走

ゝゝ))こうご。る。一飯の恩義は、博徒でなくても、いつまでも忘れな

いもののようだ。

のは数限りないけれど、この頑健な身体は特別な一生も学校を出て社会人になり、家を離れた。母から貰ったもいした病気もせず健やかに大きく育った。そして無事にいした病気もせず健やかに大きく育った。そして無事に

姉たちも健康になり、やや晩婚ながら二人とも嫁いだ。のの贈物と感謝している。

ぼくたち三人の子どもが巣立ち、父との二人暮らしに母の念いは叶ったのである。

戻ると、母は料理に腕を振るう場がほとんどなくなっ

きれない。母は、いつまでもぼくを育ち盛り食べ盛りのは美味しいし、ありがたいのだが、盛りだくさんで食べりで好物の料理を作ってくれる。久しぶりの母の手料理た。それで、ぼくがたまに実家に戻る時、母は大張り切

子供と思っているのだ。

「無理しないで、残してもいいのよ」

そう言ってくれる母の顔は寂しげだった。箸運びが遅くなったぼくに、微苦笑を浮かべながら、

活字と映像

橋 孝 蔵

高

ペンクラブ会員の活動の幅を広げるのに少しはお役に児玉進氏を企業OBペンクラブに紹介したことがある。く、ベストライフの奥山融氏、東京ライターズバンクのだいぶ前の話だが、作品発表のチャンスを広げるベ

立ったのではないかと自負している。

くなり、いつの間にか忘れてしまった。を当クラブの会員へ勧誘したりしていたが、仕事が忙しを当クラブの会員へ勧誘したりしていたが、仕事が忙しあった。活字と映像との連携は大きなチャンスを生むのあった。実はもう一つトライしようとしたものが

問題をもう一度勉強し直したいと思っている。(それから十年ほどの歳月が流れたが、活字と映像との)

活字と映像のメディアミックス・ビジネス

サラリーマン時代の最後は映像ビジネスを担当させら

当たり外れが激しく、博打のような映画、ビデオ、テ

近い関係にある。

れた。自分の経験でいえば、活字と映像は、

想像以上に

かは大きな課題であった。 レビ番組、出版のビジネスから、採算をどう取っていく

を見付けることができるなら、メディアを超えて、そのそれぞれが失敗の多い事業である。もし、儲かる作品のものです。

アクションものなら、ゲームソフトにし、大儲けの最後映画化する。映画が当たれば、ビデオも売れる。それがあるとする。それをテレビ番組化する。当たった番組をう戦略が考えられた。例えば、評判を呼んでいる小説が作品からあらゆる手段を使って利益をむさぼり取るとい

本、テレビゲームになりうる。

の仕上げとする。良いシナリオは映画、

テレビ番組、

かる。その反対もありうるという関係が作りだされる。説も売り出し、評判が良い。活字が当たれば、映像も儲の人気を利用し、映画・ビデオでも儲け、その勢いで小大捜査線」、テレビ朝日の「相棒」はテレビで当て、そ大捜査線」、テレビ朝日の「相棒」はテレビで当て、そ

シナリオ

満足なら、新しいシナリオライターが用意され、さらに デューサーが納得するまで、書き直される。それでも不 構築され、笑わせ、泣かせ、感動させる。監督やプロ 何度も何度も練り直される。シナリオをベースに映画が るものと私は思っている。ハリウッドでは、シナリオは ハリウッド映画の面白さは一にも二にもシナリオによ

ら、日本では適当なところで手が打たれ、ハリウッドよ 数千万円のシナリオ代も大それた夢ではない。残念なが アメリカではシナリオに大金が支払われる。映画なら 一桁以上も安いようだ。

手を加えられる。

れ、素人には狭い門である。 ている、あるいは勉強しているというドライバーに出く わすことは珍しくない。しかし、映画の製作本数は限ら ハリウッド界隈でタクシーを拾うと、シナリオを書い

市場

シナリオは映画だけでなく、テレビにも使われる。地

な有名な俳優、監督を起用するかどうか、宣伝をどうす るか当らないかを前もって推測し、手が打たれる。 バラエティ番組製作に注力させられている。映画も当た 視聴率という化け物に翻弄され、タレントによる愚劣な のチャンネルを持つ。一見市場は大きそうに見えるが、 上波、CS放送、BS放送、ケーブル・テレビと何百も るかなどが焦点になる程度で、最初から客に迎合した下 し、放送ほどひどくはない。せいぜい、お客を呼びそう

らない作品を覚悟して作ることはない。

ものにコマーシャルがつくという仕組みが良い。 クしたいと思うような魅力あるものにお金がついていく WEBが今後は面白そうである。クリック回数の多い テレビ界はすでにピークを過ぎたのだろうか。 クリッ

良い作品・番組と商業的価値は別である。 業的に使われるようになれば、WEBの将来は極めて大 健全なメカニズムが進化して、もっと大きな規模で商

きいと思われるがどうだろうか。

というメカニズムは健全である。一方、テレビや映画は

研究支援ボランティア

寄 清己

吉

大学に寄付している。

大学に寄付している。

本のそれは研究支援である。私には年金にプラスしてアルのそれは研究支援である。私には年金にプラスしてアルのそれは研究支援である。私には年金にプラスしてアル

妻を同伴した。妻の費用は私の負担である!

工程師たちは実験を担当、企業は設備と材料の提供と分

いと申し上げた。私が訪れた国営企業のなかで、二社がびら(女性も多い)は、中国のマーケットで人気があってきた。しかし、この技術ノウハウは機密である。入してきた。しかし、この技術ノウハウは機密である。入国営工場で技術を指導しているのは総工程師である。国営工場で技術を指導しているのは総工程師である。

かった。定年退職の近い総工程師や幹部たちとはほぼ同た。私はJSVとしての技術指導や協力をする必要はなた。程能は文献をよく読み、知識も経験も豊富であっ

K社の技術を導入し、合弁会社を設立している。

年配であったから、お互いの人生経験からくる世間話を

ノウハウを得ることにあった。私は研究計画書を作成し、の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。の教育、日常の食事、冠婚葬祭などいろいろと談笑した。

担した。成果は企業と私の共有である。工程師たちは土 曜日も働いてもらい、私が休日出勤手当を支払った。

平成十九年同窓会報に述べている。 その半分以下になっている。物価上昇を考慮すれば、現 間二八六万八千円の校費研究費があった。ところが今は 在の校費配分額は二十五年前の五分の一以下だと嘆く。 六名と卒論生九名がいたから、教授の研究費と合わせ年 物化学講座の歳入メモを見ると、教授二名の研究費は 人につき一万八千円であったという。当講座には院生 三三万円、大学院生一人につき十七万五千円、卒論生 岐阜大学・応用生物科学部を定年退職されたN教授は 一○○四年、国立大学は法人化に伴い、国からの交付 昭和五十八年度の生

援を要請している。 心配する。岐阜大学は基金を創設し、目標額十億円の支 をお願いしてい く、学部の活力は低下していくと食品生命科学K教授は たちは将来の学部を担う人たちであるが、研究費は少な 金は年々減額され、大学運営は厳しくなった。若い教員 また、応用生物科学部も寄付金募集

私は戦争の真っただ中農芸化学科に学び、昭和十九年

ン

使った。第四回は今年の二月に決定の予定である。

情を知り、アルファのお金は若い教員たちの研究活動に ぎ、国民を養うのである。大学の研究充実と教育レベル 感じてきた。資源のないわが国は科学技術力でお金を稼 久を祈るのみ。農芸化学科の学生は徴兵されなかった。 る。壮行会の席上、林学科の友人は、浪人までして入学 向上は国家として重要なことである。 は製造会社の人間になってから技術知識の不足を何時も しかし授業期間は短縮されて、早期の卒業となった。 したのに徴兵されると言って涙を流す。私は彼の武運長 は学業半ばで戦地に出征した。いわゆる学徒出陣であ 九月に卒業した。昭和十八年秋、農学科、林学科の学生 私は岐阜大学の実 私

をとり上げ、毎年百万円を提供している。 は食品成分による生体機能調節。第二回はアントシアニ た。支援の対象者は農芸化学分野の助教、准教授である。 類の大量分離法。 応募テーマのなかから教授会推せんの目玉研究の一つ 寄付金は吉嵜研究支援金と名付け、取扱規程をつくっ 第三回はタンパク質の構造機能に 第一回寄付金

使ってもらいたいと思った。

幼稚 粛 再訪

井

寺

イヌ女性が、

商店街に降りてくる。それが怖かったの

融

真ん中に川があり、日高本線という名の単線鉄道が通っ 車で向かった。通った幼稚園があった土地である。町の ていて、裏手には日高台地が迫る太平洋沿いの半農半漁 の話で、昭和二十七、八年の頃のことだから無理もない。 昨年十月、苫小牧の先、北海道沙流郡日高町富川に、 幼稚園の記憶はほとんどない。いまから六十年近く前

料理で歓待していた。

町に進駐軍(正しくは占領軍)がやってきた。子供た

に連れて行かれるよ」と脅された。町の後背には丘があ 幼稚園はありませんか」と問う。「さあ、分かりませ 川であった。ガソリンスタンドで「お寺が経営していた 箇所あるが、経営者は寺でないという。 ん」。若いスタンドマン氏によれば、富川に幼稚園は二 幼児の頃、悪さをすると、母に「アイヌのおばちゃん 牧場が次々とあらわれる鵡川を過ぎて、坂を下る。富

り、アイヌ集落があった。買い物に、ヒゲをはやしたア

たりしていたし、彼もわが家に遊びにきている。母は手 なっております」と、その父親からアイヌゴザを贈られ た。部下にも、アイヌ人青年がおり、 だ。いまなら人種差別ものだ。 たく偏見のない人で、アイヌの人たちとも仲がよかっ 実をいうと、畜産関係の会社に勤めていた父は、 「息子がお世話に まっ

歳年下の弟が、よく寝小便をしていた。赤犬の肉を食べ ちは、ジープを囲んだ。乗せてもらい、カンパンをもらっ て帰った。母に「乞食じゃないんだから」と叱られた。 悪童連を率いて、赤犬を探しまくったこともある。二

ると治るという話を聞いたからである。

的な小さな集落であった、と記憶する。

幸いにして、神経は切られておらず、「これからは気を 右手で左手の親指を押さえながら、病院に駆け込んだ。 つけるんだよ」の医者の一言で済んだ。いまでも血を見 り落としそうになったことがある。血をみてビックリ。 近所の農家の草刈り機で、草とともに自分の親指を切

ここと、これでは、こうでは、こうでは、これでいるのが嫌いなのは、そのときの後遺症かもしれない。

色甲皮)らい。)こう、正ちに出売げた見いこう、丁目一番地」や「日本諸国物語」はそれで聞いた。「家には5球スーパーと呼ばれるラジオがあった。「

ちゃん」云々とは、言われなかった。
のは御飯のおかずのため、豆腐と油揚げを買いに行かさい始飯のおかずのため、家に着いたときには、半分が欠けていた。のはばいがない。場途、揚げ立ての油揚げの魅力に負けて、角から

件の幼稚園には砂場があった。各家庭から持ち寄った件の幼稚園には砂場があった。ある日、その化粧瓶化粧瓶なども、遊び道具であった。ある日、その化粧瓶のおばあさんに訊ねた。「娘なら知っているよ」と自宅のおばあさんに訊ねた。「娘なら知っているよ」と自宅のおばあさんに訊ねた。「娘なら知っているよ」と自宅を開かる。

た。「昭和二十一年生まれですが」とのこと。当方の一う。失礼ながら、「何年生まれですか」と訊いてしまっなっていますよ」と答えられ、自分も卒園生であるとい女性が顔を出した。「えぇ、そこはいま町営の保育園に奥から娘さん、といってもかなり年配で、少々太目の

年先輩にあたる。

一緒はしていない。もしや〝お医者さんごっこ〟のお仲ではあるが、お互い一年保育ということでもあり、ご

う。京料理のように、骨切なんていう、洒落たことはでる。でも、一般家庭ではどうやって食べていたのだろ富川の思い出といえば、鱧売りの行商がきたことであ間かと思ったが、杞憂であった。

である。だが、子供の頃、それを食べた思い出はない。いま隣の鵡川は、シシャモの天日干しの町として有名

きなかったはずだが…。

イ、鱈など美味しい魚が北海道には多いのだ。シシャモよりもキンキ、平目(おひょう?)、八角、ソ

帰りに、鵡川の干物店に立ち寄った。

地元産のシシャ

た。ノルウェー産の六倍ぐらいになるのではないか。本モを求めると、十尾連なった一串が、千八百円であっ

物は高いのだ。

かしの砂場が見当たらず、新たな思い出は浮かばなかっそれはそうと、肝腎の幼稚園、現在は保育園だが、懐

た。

文章を書くことへの興味

田原

敬

企業OBペンクラブ》を知ったのは、昨年三月十四 の大企業のBペンクラブ》を知ったのは、昨年三月十四 の大企業のBペンクラブ》を知ったのは、昨年三月十四 の大企業で働いてこられた人生経験の豊富な方々の随筆であった。 一人は出版界に属し、出版、印刷、製本部門を各々独立 がてこられた人生経験の豊富な方々の随筆であった。 がてこられた人生経験の豊富な方々の随筆であった。 がてこられた人生経験の豊富な方々の随筆であった。 本は出版界に属し、出版、印刷、製本部門を各々独立 がてこられた人生経験の豊富な方々の随筆であった。

波夫先生とご一緒にモンゴルへ十六年前に旅をしたのが成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ成で米国は北半分、幾つもの企業を訪問し、ヨーロッパ

きっかけで、日本の古代から世界の歴史に興味が湧き、 エジプト、イタリア、スペイン、モロッコなどへ行った。 エジプト、イタリア、スペイン、モロッコなどへ行った。 し、書き残すことの大切さを身に沁みて感じている。 し、書き残すことの大切さを身に沁みて感じている。 し、書き残すことの大切さを身に沁みて感じている。 とは至難なことであり、写真は大きな援けになる。 生まれ育った土地、地域、国、風土は、人間形成に密 生まれ育った土地、地域、国、風土は、人間形成に密 生まれ育った土地、地域、国、風土は、人間形成に密 生まれ育った土地、地域、国、風土は、人間形成に密 生まれ育った土地、地域、国、風土は、人間形成に密 とは至難なことであり、写真は大きな援けになる。 とは至難なことであり、写真は大きな援けになる。 とは至難なことであり、写真は大きな援けになる。 とな関係があり、宗教にも深く関係している。

い人間の死闘が十五~二十世紀まで続いてきた。てきた。コロンブスの新大陸への動きの頃から、凄まじ起こし、勝った国が支配することが、長い間、黙認され起界では、科学技術の進歩により、強い民族が戦争を

最近は、社会生活の変化が著しく、炭酸ガスの大量排知って検証するのは個々の役目のように感じる。

歴史は、立場が違えば考え方も違うので、それらを

とを知り、自分の考えのヒントとなって、自身の枠を更を生し、これらは重大なこと故、解決を疎かに出来ない。さて「書くことへの興味」は、ペンクラブの方々が諸々の問題を文にし、会員に考えを示すところに大きな諸々の問題を文にし、会員に考えを示すところに大きな諸々の問題を文にし、会員に考えを示すところに大きな出で、あちらこちらで水不足、気候変動で多くの問題が出で、あちらこちらで水不足、気候変動で多くの問題が出

一方、明治十八年から続いている《上田郷友会》にス』の編集にも携わった。の会の幹事としてお手伝いをし、『東アジア古代ニューの会の幹事としてお手伝いをし、『東アジアの古代文化江上波夫先生が東大を退職後、「東アジアの古代文化

知っていますよ」と、言われた。

黒崎さんの父上は海軍軍人で、トラック島近くで船も

に拡げる縁となっている。

度は皆で会って意見交換をしようと、有志で始めた会だ。へ行くにも三泊四日は掛かる。当時の先輩達が、月に一へ行くにも三泊四日は掛かる。当時の先輩達が、月に一二五年を迎える。

毎日新聞の編集長をされた清水幾男さんから、或る

事をしたことを、石川さんご本人から伺った。ラブの石川正達さんの一年先輩で、清水さんと一緒に仕仕方なしに引き受けて七年が過ぎた。清水さんはペンク無理です、出来ません!」と言ったが聞き入れられず、日、「会報の編集をしてくれ」と頼まれ、私は「それは日、「会報の編集をしてくれ」と頼まれ、私は「それは

同じく、黒崎昭二さんは、我々上田高校の同期生、

相

げ、後に監督をした荻原達夫君の話をすると、「彼を央大学を出ると富士製鉄に入社して社会人野球で名を挙央大学を出ると富士製鉄に入社して社会人野球で名を挙明後一君の大学機械科の一年先輩であること、さらに黒田俊一君の大学機械科の一年先輩であること、さらに黒田俊一君の大学機械科の一年先輩であること、さらに黒田俊一君の大学機械科の一年先輩であること、さらに黒田俊一君の大学機械科の一年先輩であること、

いた。されて中央大学へ進まれた由、ご丁寧に手紙で教えて戴されて中央大学へ進まれた由、ご丁寧に手紙で教えて戴ろとも轟沈、戦後は母上の手で育てられた。令兄は苦学

な」としみじみ思う次第である。ざる関係を知ると、当クラブに入会して「ああ良かったごのように、杉浦、石川、黒崎さん方々との少なから

私の脳力活性化方法

崎昭一

黒

東北大学川島隆太先生の「脳力低下防止策を考えで、八十歳を過ぎた今、私なりに脳力低下防止策を考えが読んで、自分の脳力を試したのに似ている。私は理工が読んで、自分の脳力を試したのに似ている。私は理工が読んで、自分の脳力を試したのに似ている。私は理工がある。これとなく数字に興味を持っていたの系を勉強して製鉄会社の製造ラインに四十年も働いた技術者であるし、なんとなく数字に興味を持っていたの派者であるし、なんとなく数字に興味を持っていたので、八十歳を過ぎた今、私なりに脳力低下防止策を考えて、八十歳を過ぎた今、私なりに脳力低下防止策を考えて、八十歳を過ぎた今、私なりに脳力低下防止策を考え

一 まず数に関して

5ならば、5で割り切れる。然らば、6の倍数がどうかの倍数であれば、4で割り切れる。末尾の数が0またはが3の倍数ならば、3の倍数である。末尾の下2桁が4の数が偶数であれば、2の倍数である。4桁の各桁の和の数が偶数であれば、2の倍数である。4桁の各桁の和

各桁の総和が9の倍数なら、9で割り切れる。切れる。また、下3桁が8で割り切れれば、8の倍数。といえば、偶数で各桁の和が3の倍数ならば、6で割り

うだ。ついでに、スタンレー・クレーマーの本で分かっ 聖数字といって、限りなく存在する素数の要因になりそ という数字は、ラッキー番号なのだが、数学上では、 去るので、相当集中しないと、計算が追いつかない。 以下に変換するためである。ただし、車は、さっと過ぎ 数なら全体の番号も7で割り切れる。4桁の数字を3桁 見て、1001~8008を引いた残りの数字が7の倍 り切れる筈である。一生懸命考えている最中に、スタン 0001から9999まで。ほぼ7台に1台は、7で割 たことは、11の倍数が容易に分かることだ。 であることだ。これを用いて4桁の数字から番号をよく ントを発見した。1001=7×11×13(どれも素数) レー・クレーマーの『数学物語』とかいう本の中に、ヒ は、7の倍数を素早く見つける方法がない。 車の番号は、 ところが、世にラッキーナンバーといわれる7の場合 以上は、 算数の基本を学んでおれば、誰でもできる。

えるのである。「ついている」と思うのである。変人なし、7の倍数と分かったときは、なんとなく幸福感を覚らと、間違いなくその通りである。私は街を歩いているとの数は11で割り切れる(注参照)。数字が何桁になろと(B+D)の差)が、0もしくは、11の倍数なら、もと(B+D)の場合、一つ置きの数の和の差((A+C)

四桁の数ABCD(1000×A+100×B+10

二 次に言葉に関して

のでは

それは感じる。 スポートを申請する時など、ローマ字で書くが、いつもはKUROSAKIとE以外の母音が使われている。パはXUROSAKIとE以外の母音が使われている。パ

たころ前なごで下思義な売み方とするらのと挙げてみ海、最近のカナ文字では、ポリバケツ。である。母音5つを全部使うのは、竹之内と、出羽のである。母音5つを全部使うのは、竹之内と、出羽の井上とか竹内、末吉などよく出てくる姓も母音が4つ

次に名前などで不思議な読み方をするものを挙げてみ

る。

春日・カスガ、長谷・ハセ、三宅・ミヤケ、海老・エトキワ、三枝・サエグサ、東雲・シノノメ、飛鳥・アストキワ、三枝・サエグサ、東雲・シノノメ、飛鳥・アスカ、勿来・ナコソ、沢潟・オモダカ、村主・スグリ。
古がら、あたりまえのように読んで発音しているが、不思議でならない。言語学者金田一博士や、諸橋博士に、聞けばわかるかも! こんなことを考えていれば、に、聞けばわかるかも! こんなことを考えていれば、に、聞けばわかるかも! こんなことを考えていれば、はの中に油が回ってボケないだろうと考えているのが私。傘寿を過ぎた昭和二年生まれの男ですが、変人で私。傘寿を過ぎた昭和二年生まれの男ですが、変人で私。傘寿を過ぎた昭和二年生まれの男ですが、変人で私。金寿を過ぎた昭和二年生まれの男ですが、変人で私。金寿を過ぎた昭和二年生まれの男ですが、変人でし、日下・クリカ

(A+C)-(B+D)が、0又は11の倍数であればよい。(注) Model [1000·A+100·B+10·C+D] の場合

高原の町2020

西川 武彦

通行人には我関せずだから腹が立つ……」。 「……二日酔いが残ったまま、川柳勉強会の会合に出席 「……」。

来た』だ、とほざいています。

に走る街路を埋め尽す。シャンゼリゼならぬ幅四mの道を飾るカフェには外国人も多い。ヨーロッパには似たような小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じうな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じうな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じうな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じうな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じっな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じっな小さい観光地が沢山あり、これをカッコいいと感じっな小さい観光地が沢山あり、シャンゼリゼならぬ幅四mの道に走る街路を埋め尽す。シャンゼリゼならぬ幅四mの道に走る街路を埋め尽す。シャンゼリゼなら、

文を建てたのは十八年前。景観も忙しく変貌しました。 な文士たちは、軽井沢から療養をかねて、乾燥した空 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。今でも作家、画 気が美味しい富士見に逃れてきました。 気が高る八ヶ岳の富士見高原に舞台を移し

セイで、生まれ育った下北沢の街を描いた一節です。

筆者が『卒サラも遠くなりにけり』のショート・エッ

以下は跡継ぎが描く、二〇二〇年の富士見高原です。以下は跡継ぎが描く、二〇二〇年の富士見高原です。とも改善したそうです。幸いなことに、その頃現われりとも改善したそうです。幸いなことに、その頃現われた民間企業出身の町長の斬新な指揮のもと、十年間で町た民間企業出身の町長の斬新な指揮のもと、十年間で町た民間企業出身の町長の斬新な指揮のもと、十年間で町た民間企業出身の町長の斬新な指揮のもと、十年間で町はすっかり生れ変りました。

され、雇用対策が効を奏して失業者の多くは里帰りして とい、展用区S、東アジア、米国と多極化した世界で、 に達した米国流の市場原理主義は、今は昔の物語です。 上し、BRICS、東アジア、米国と多極化した世界で、 とU、BRICS、東アジア、米国と多極化した世界で、 とした。東アジア共同体の中で、ゼロ成長でも経済が成 ました。東アジア共同体の中で、ゼロ成長でも経済が成 り立つ仕組みが軌道に乗った感じです。 民主党政権がすっかり定着したのもよかったようです。

路の無料化や羽田の国際ハブ空港化なども効きました。て、南ア、北ア、八ヶ岳、富士山も魅力的です。高速道テーキを頬張る内外の観光客で賑わっています。高速道度けの諏訪や勝沼の地ワインを舐めながら但馬牛のス生まれ変わりました。お洒落なレストランは、ボルドー生まれ変わりました。お洒落なレストランは、ボルドー生まれ変わりました。お洒落なレストランは、ボルドーで、黄色い白樺群と対をなす。建造物の高さ制限が効いて、黄色い白樺群と対をなす。建造物の高さ制限が効いて、黄色い白樺群と対をなす。建造物の高さ制限が効い

い、森には整備された遊歩道があちこちに。 た。イギリス流の〝Foot Path〟なる散歩道が家々を縫りかけの無駄な橋や道路は姿を消して、里山が戻りましに溶け込んでいます。『破壊局』なる新組織のもと、造

看板は一様に濃い茶色の材質に白抜きで、見事に環境

士だと具合がよいらしいのです……」。す。フィリピン、タイ、マレーシア出身の若い女性介護が、認知症の父親を高原病院で優しく介護してくれまが、認知症の父親を高原病院で優しく介護してくれまFTAが普及して、東アジアからのヘルパーさんたち

いやねえまったく……」。 スで居眠りすると風邪ひくわよ。まだ五時じゃない!(山の神)「なにやってんの、また飲みすぎ? テラ

畑が連なり、

現といえましょうか。秋には黄金の棚田に真っ白な蕎麦

咲き乱れるコスモス。沿道の山桜が紅葉し

の、協業形態の農業生産で蘇ったのです。瑞穂の国の再休耕田が復活しました。家族単位こそ小さくなったもの

ここにも一人、少子・高齢化社会の犠牲者が

鳥

海

博

が平日の「独身生活」を余儀なくされた。「船チョン」 が始まった。こうなると、まだ会社に勤務していた小生 金曜日夜に船橋に帰るという、彼女の『月来金帰』生活 ちにして手が無くなり、我がオカミサンが船橋から駆け る。長女(小児科医)に子供が生まれ、産休明け後、忽 つけることになった。月曜日朝に船橋から横浜に来て、 の二人の娘の子育ての手伝いだから、 てきた理由は、「子育て」である。正確に言えば、自分 からここに引っ越してきてから約三年になる。引っ越し 今、私は横浜市青葉区に住んでいる。千葉県の船橋市 「孫育て」であ

塞その他で倒れて、発見が遅れ、取り返しのつかないこ ら、「オジイチャン(小生のこと)も古希を越えて来たし、 人にしておくと危ない。階段から転んで、或いは脳梗 こんな生活状態が約二年続いたが、家族一同の中か

ところが、そうこうするうちに、同地区に住む次女の

子育て(孫育て)が一段落したら、いつでも船橋に帰れ 座の必要品だけ持って来て、大部分は船橋に置いたまま。 ションには、そうたくさんは持って来られないので、当 うなもの。持ち物も、普通の戸建ての家から小さなマン らぬ間に事が運ばれ、小生はいわば横浜に拉致されたよ 計画も、実は母娘同士が適当に決めたもので、小生の知 所有、そういうことで落ち着いたようだ。このあたりの 入れは、所得のある長女に任せ、勿論、返済も彼女が行 は、金融機関はお金を貸さない。仕方が無いので、 も、ご存知のように、所得や担保の無い女性や高齢者に があるわけじゃなし、家内が隠し持っていたらしい埋蔵 引っ越したという訳。それにつけても、しがないサラリー そんなことで急遽、今住む青葉台にマンションを買って とになってもいけない」。有り難い話ではあるが、まあ、 るように、住宅はそのままにして置いた次第 い、その代わり、購入したマンションは家内と娘の共同 金から頭金だけやっと捻り出し、あとは借金。といって マンOB、この歳になって住宅を買うほどの潤沢な余裕

なったから、今度はこっちの面倒を見てもらえる」。夫。おネエちゃんのところ、もう大分手が掛からなくバアチャンがそばに居るから子供が三人になっても大丈所に三人目の子供が生まれた。良く聞いて見ると、「オ

船橋の家をそのままいつまでも放置してもおけないの

を容易にしようというものである。契約書など読んでみを容易にしようというものである。契約書など読んでみきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)家が不要になり、小さなマンションに移り住むのきな)を対した。

て、手順が判明。先ず「耐震構造」のチェック。次い早速申し込み。機構の職員が直ぐに説明に来てくれ保証するという至れり尽くせりの仕掛けになっている。とい年金の足しになる。空き家になっても、最低家賃をしい年金の足しになる。空き家になっても、最低家賃をしい年金の足しになる。空き家になっても、最低家賃を自分が使いたい事態になったら、いつでも返してもらえ

目は立きごころ。こう見責りと表質こそするこ、アドラ用見積り。年金生活者にとって、一時的な大きな設備費りなどは全部取り替える必要がある。そしてそれらの費で、家の修理・修繕すべき箇所の洗い出し。キッチン回

入れも済まして、第三者に貸せる状態になったのが、あった家財道具や備品その他を廃棄処分したり、庭の手分とは減らない。あらかたの工事が終わり、家に置いてト四百万円は要る。アチコチ値切ったけど、それでも半用は泣きどころ。この見積りを素直に受けると、アバウ

れ、無駄な投資にならなければよいがと願っているが、ころである。田舎のボロ家に予期せぬ資金を投下させら今や早く借り手が現れないかと、心待ちにしているとやっと十一月下旬になってから。

日本社会の少子高齢化の思わぬ犠牲者のようである。

ると、安心して貸せるメカニズムになっている。将来、

療養記

中川路

沙汰のまま失礼したお詫びに、一筆啓上致します。

病院に搬入された。皆様の前から突然に姿を消し、ご無

昨年一月深夜、道で躓き、側溝に転倒。即ピポピポで

明

前年二月に受けた自転車事故の脳挫傷が未治癒であったためのふらつきが原因である。入院後は、筆を擱いてたためのふらつきが原因である。入院後は、筆を擱いてのリハビリ歩行の毎日で、独りで外出できたのは梅雨のあとであった。CT、MRIで脳には問題となる異常のないことを確認し、以後約ひと月の各内臓内視鏡検査を受けた。加齢による身体能力の低下のほかはすぐ命に係やるおそれもないと、八月から昼間の外出が許された。がんも認知症も医学の進歩で、治癒はせずとも進行を止める治療はできる。とはいえ、介護を頼りにせず刺激を求めて楽しく生きることが肝心との最終診断だった。しかし読書、テレビ、会話いずれも感度の落ちた私にはしかし読書、テレビ、会話いずれも感度の落ちた私にはしかし読書、テレビ、会話いずれも感度の落ちた私には

百編を公募していた。言い出しっぺの私も毎回参加し、 十五年まえ、文章力とは自分の書きたいこと、思うこ 十五年まえ、文章力とは自分の書きたいこと、思うこ 十五年まえ、文章力とは自分の書きたいこと、思うこ 十五年まえ、文章力とは自分の書きたいこと、思うこ 十五年まえ、文章力とは自分の書きたいこと、思うこ

のクラブ創設二十周年記念800字文学館の外部公募ののクラブ創設二十周年記念800字文学館の外部公募のページに送られるお知らせによって、在宅でわくわくしながら読んだ。特に「何でも書こう会」は満席が続き、松がら読んだ。特に「何でも書こう会」は満席が続き、ながら読んだ。特に「何でも書こう会」は満席が続き、公の「800字文学館」の開示、深田名誉会長を迎えてその「800字文学館」の開示、深田名誉会長を迎えて

運よく入選し、出版された五冊が書棚の隅を飾った。

私が日々閉ざされた昨年は、クラブ大飛躍の一年だっ

盛況で、年末に大輪の花を咲かせたことが嬉しい。

意ながら手も進まないで間に合わず、涙を呑む。 ・一様ののでは、日本文学館からオムニバス書籍の六年 とながら手も進まないで間に合わず、涙を呑む。 は間で、一様のではでいる。一茶が雲の峰と詠む私の若い頃を見 をの大切さ」公募の案内が入った。締切りは間近、執筆 は間でいる。一茶が雲の峰と詠む私の若い頃を見 を表するのでは、一様を は間近、執筆

励まして下さり、元気を取り戻す。すが、作品を聴かれる目はキラキラ輝いていました」と込む私を新参加の女性が「大変体力が減退されたようで、先日一年ぶりに「何でも書こう会」に出席した。落ち

た。五か月で、一日八千歩、毎日三十分の早歩き達成が酸素ウォーキングによる脳力向上プロジェクトに応募した。親しい福祉保健師の勧めで、十一月に青葉地域の有という十五年続く高齢者医療保健センターの研究を知っという十五年続く高齢者医療保健センターの研究を知っという十五年続く高齢者医療保健センターの研究を知った。現しい生き方を求め、高齢者問題に目を転じた。運新しい生き方を求め、高齢者問題に目を転じた。運

いまは体力が耐えられるか心配だが、指導者は目標より刺とした老後に役立つと強調する。少し厳しい日々に、員の討議で培う記憶力、計画力などの脳力の向上が、溌員の討議で培う記憶力、計画力などの脳力の向上が、溌目標だ。七人の高齢者がメンバーで、各自毎日の歩行記目標だ。七人の高齢者がメンバーで、各自毎日の歩行記

いLEDの光が照らす回復の道を目指して歩もう。 老いに揺らぐ自らの蝋燭でなしに、ペンクラブの新し

も心がけが大事と励ます。



頑張れイタリア

阿部典文

く働く無秩序」の幾つかを紹介してみよう。が凝縮されている。そこで三十数年前に体験した「上手れは無秩序だ」。この言葉は言いえて妙、イタリアの姿にイタリアで上手く働いていることがあるとすれば、そ

正式手引人。「こう草はくポーク上兼でよう主となった。のは、タクシーの運転手はセンターライあった。客先との待ち合わせ時間が迫り、交通渋滞でいあった。客先との待ち合わせ時間が迫り、交通渋滞でいる。

確率が高い」と。

「この車はスポーツ仕様でその性能を今期を手口く。「この車はスポーツ仕様でその性能を今期の注意が必要で、太陽の明るく輝く開放感に誘われ、無謀(無秩序)な運転に走り、大きな事故を起こすれ、無謀(無秩序)な運転に走り、大きな事故を起こすれ、無謀(無秩序)な運転に走り、大きな事故を起こすれ、無謀(無秩序)な運転に走り、大きな事故を起こする。

シュヴイッツのユダヤ人虐殺などはその典型的な秩序のない行動に走ることは良く体験することであり、アウ因みに秩序に従順な人々が解放されると、思いもよら

中の暴走の事例かもしれない。

無策」に対する庶民の無言の抵抗であったのだろうか。とれ、釣銭代わりに流通していた。市民の間では、インされ、釣銭代わりに流通していた。市民の間では、インされ、釣銭代わりに流通していた。市民の間では、インに超過した為、硬貨が潰されて不足しているとの穿ったに超過した為、硬貨が潰されて不足しているとの穿った見方が流されていた。秩序ある国では犯罪行為となる私見方が流されていた。秩序ある国では犯罪行為となる私見方が流されていた。秩序ある国では犯罪行為となる私見方が流されていた。秩序ある国では犯罪行為となる私間であったのだろうか。

すれば問題は解決する」との便法を教えてくれた。そのれたスイス領ルガノ湖にちょっと出国し、観光で再入国したところ「許可は国の仕事。手続済ゆえ不法滞在を問われることはない。不安ならばミラノから四十数キロ離れたスイス領ルガノ湖にちょっと出国し、観光で再入国権が追っという。

その後私はミラノに勤務することになった。煩雑な居

楽しく過ごすことが出来た。お蔭で私は三年間に及ぶ滞在を観光ヴィザの繰り返しで

リーニによる独裁は、記憶に新しい出来事となってい僚機構が成熟していなかった。その弱点を突いたムッソが十九世紀後半に成立したが、国家運営の中核である官の異なる地域間の結婚により、一見近代的中央集権国家家群の北部と、中世の残渣の南部諸王国間の、全く性格家群の北部と、中世の残渣の南部諸王国間の、全く性格家群の北部と、中世の残渣の南部諸王国間の、全く性格

付けられ、その他多くの面で厳格なEU的秩序を求めらは統一通貨「ユーロ」が登場して、その幣価維持が義務(このようなイタリアに今変化が訪れている。経済面で

る

るというイタリア的妥協が図られたと伝えられている。化が進められたが、その厳格な適用は小規模な酪農家に相る「生ハムやチーズ」等のイタリアの伝統的食文化の頼る「生ハムやチーズ」等のイタリアの伝統的食文化の頼る「生ハムやチーズ」等のイタリアの伝統的食文化の頼る「生ハムやチーズ」等のイタリアの伝統的食文化の頼る「生ハムやチーズ」等のイタリアの伝統的食文化の東温がであるが、「食の安れている。因みに最近発生した事例であるが、「食の安れている。

を願い「頑張れイタリア」のエールを送る昨今である。を願い「頑張れイタリア」のエールを送る昨今である。を願い「頑張れイタリア」のエールを送る昨今である。を願い「頑張れイタリア」の滞在であったが、国家に頼私にとっては短いミラノの滞在であったが、国家に頼私にとっては短いミラノの滞在であったが、国家に頼私にとっては短いミラノの滞在であったが、国家に頼

インドネシアの留学生

荘 司 忠 志

 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区 一九五三~四年当時、国際学友会館は、東京都新宿区

中年の日本人に話しかけた。にいた。そのうち、留学生の一人アリ君が目の前にいた領を見るためインドネシアからの留学生数人と羽田空港の九五四年夏、スカルノ大統領が来日した。私は大統

戦争に参加した元軍人もいた。

「ミヤヤマさん?」続いて「トアン、ミヤヤマ?」 宮山さんは私にとって旧知の人だった。トアンとはインドネシア語で、あなた(男性に対して)を意味し、英ンドネシア語で、あなた(男性に対して)を意味し、英さんではありませんか」と問いかけたのだった。宮山さんは一瞬怪訝な顔をしながら私を見た。私は数年前から店山さんを知っていた。続いて、アリ君は「私は、インドネシアのメウラボの町から来たアリです」と。宮山さんはびっくりして、アリ君に「君はあのメウラボのアリさんのところの?」と言って絶句した。が、やがて宮山さんのところの?」と言って絶句した。が、やがて宮山さんのところの?」と言って絶句した。が、やがて宮山さんはかつてのインドンネシアの日々を思い出したようで、それからの二人はインドネシア語で奔流のごとく話し合った。「あの頃の君は裸足であちこちを駆けずりし合った。「あの頃の君は裸足であちこちを駆けずりしつていたね!」

の北スマトラを転戦、終戦時日本軍を離脱、インドネシ文学部卒)は戦時中日本陸軍に召集され、インドネシアたしたのであった。宮山氏(故人、旧制静岡高校・東大れてから、十数年を経て東京羽田空港で感激の再会を果れてから、十数年を経て東京羽田空港で感激の再会を果れてから、十数年を経て東京羽田空港で感激の再会を果

運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。運命を共にした人であった。

留学生と遊び歩く日々を取り戻した。

アリ君たち十五人の仲間は、五年間造船学の勉強をした。最初の半年間は新宿区目白にあった運輸省の造船研た。最初の半年間は新宿区目白にあった運輸省の造船研究所で基礎を、ついで東京近郊の造船所で半年間実地にのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあったアのような生活をしていた。国際学友会館で知りあった。

大学(インドネシア語科)に入学し、再びインドネシア生との交遊も断念した。大検にパスした後、東京外国語大検に挑戦すべく千葉の故郷に帰り、しばらく彼等留学

一九五八年大学四年の夏、インドネシアを中心に東南を地で在京留学生の故郷を訪問し、日本に留学している息子の一人の友人として、故郷の人々に大歓迎を受けたのだった。スマトラの田舎、セレベスの町、ジャワ島各地出身の留学生の中には、東京水産大学で水産を、東京大学で電気を、あるいは一橋大学で農業経済を学んでいた学で電気を、あるいは一橋大学で農業経済を学んでいた。

に従って熱心な回教徒になり、コーランをほとんど暗記本人のアリ夫人は、もともと敬虔な回教徒だったアリ君に海運アタッシェとして八年の長きにわたり勤めた。日に海運のアリ君は日本人女性と結婚し、しばらくジャカ

を学んだ留学生とは特別に親しくなった。

私が大学を卒業して造船会社に就職してからは、造船

め

新制中学卒で大学入学の資格がなかった。そこで、

旧制中学三年で高校に進学しなかったた

当時私は、

かし、アリ君は五十歳になる前に二人の男の子を残してアラーへのお祈りの指導者の役をするまでになった。しするほどになった。在京大使館の集まりでは、しばしば

早逝してしまった。

まれて、再会を楽しむことができた。
は、幸い翌年には早くもインドネシアへ出張の機会に恵は、幸い翌年には早くもインドネシアへ出張の機会に恵出世の階段を登っていった。彼等が帰国した後、しばら出世の階段を登っていった。彼等が帰国した後、しばら日本で造船を勉強したアリ君の仲間十五人は、学成日本で造船を勉強したアリ君の仲間十五人は、学成

家を訪れてくれた。等の何人かが、公務でヨーロッパに出張のついでに我が後に、長期にわたりギリシャに駐在していたころ、彼

はインドネシアの汚職文化に揉まれながらも、大過なくちの何人かは、アメリカやヨーロッパへ留学した。彼等セー(メルセデス)・ベンツを二、三台並べ、子どもたなった。家を新築し、庭にはご婦人たちの好きなメルシアの風土である汚職の嵐に巻き込まれ、急速に金持にシアの風土である汚職の嵐に巻き込まれ、急速に金持に

ケ屋、歌声喫茶で歌い覚えた「有楽町で逢いましょう」は等とカラオケで合唱するのは決まって昔新宿のカラオも度々会った。そうした機会に集まって、ジャカルタで頻繁にジャカルタに行く機会があり、彼等やその家族と頻繁にジャカルタに行く機会があり、彼等やその家族と生き抜いて引退し、子女の教育を終え、今では孫たちに生き抜いて引退し、子女の教育を終え、今では孫たちに

残っているのは四人のみで、他はアラーの神に召されて残念ながら十五人の造船留学生のうち、今日まで生きである。

あの世へ行ってしまった。



カリフォルニア・ミステリー

福

本

多

佳子

に同行することになり、サンフランシスコへ飛んだ。いう彼に「じゃ、行ったら」と勧めたことから下見旅行起業するか、スタンフォード大学で教職を得ること」とた。「僕の夢はシリコンバレー発祥の地、パロアルトでルームメートの化学者、ボブから起業の手伝いを頼まれルームメートの化学者、ボブから起業の手伝いを頼まれ

といった邸宅が並んでいる。整然と庭に並ぶ白い豪邸、スペイン風やチューダー様式満開だった。香しい並木道の両側には、パームツリーがベニューに入ると、大きな白いマグノリア(泰山木)がウェイを出てメインストリートのユニバーシティー・ア

空港でレンタカーを借り、ルート一○一を南下。ハイ

たパームツリーの並木道の後には大きなユーカリの木がるとスタンフォード大学のメインゲート。がっしりとししゃれた雰囲気の町の中心を通り抜け、駅の下をくぐ

た。当時はシリコンバレーの名称も、町の名も知らずには何年も前にロスからドライブ旅行をした時に立ち寄っ立ち並んでいる。更に進むとメインキャンパス。ここに

まった。敷かれたレールの上を進むように、深く考えるまった。敷かれたレールの上を進むように、深く考えるは至難の技と言われていた。下見のつもりだったのが、当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるの当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるの当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるの当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるの当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるのは至難の技と言われていた。下見のつもりだったのが、当時、パロアルトで事務所やアパートを手に入れるのは至難の技と言われていた。下見のつもりだったのが、周辺をドライブ通り過ぎただけだったが。

ガラス窓を通しての対面以外に、餌のあるテラスに集不思議な触れ合いを体験することになった。鷹や隼とはには常に花と緑があふれ、何種類もの小鳥や小動物との多くのスタンフォード大学関係者が住むこのアパート

住む事になってしまった。

ことなく、夏のはじめ、シリコンバレーの中心地に移り

まった嘆き鳩を襲って食べようしている場面にも遭遇し

てしまった

て、それがあの有名なサンフランシスコの霧の正体とわ 山の上に、むっくりと長く続く白雲の帯。 しばらくし

それでいつも快晴なのだ。霧の有無は、太平洋に沈む鮮 やかな夕陽を眺めに行くかを決めるサインともなる。 かった。ここでは山が太平洋からの霧をブロックする。 知り合ったばかりの隣人のアンに「雨が降らないのに

野原や山の草原が生き生きとした若草色に変わってい だったんだ」。感謝祭の前になると、あれあれ、枯れた い笑顔で「カリフォルニア・ミステリー」と答えた。 十月後半になって雨が降り出し「そうか、春夏は乾期

何でこんなに木が豊かなの」と聞くと、彼女は悪戯っぽ

取り戻し、まるで人生を謳歌しようとしているみたい た。 かってのびようとしていた。枯れきっていた草が生命を みた。足下には、草の芽がつんつんと勢いよく太陽に向 後、スタンフォード・ショッピングセンターまで歩いて 雨がやんで、 まばゆい陽光がさし始めたある週末の午

で、踏みつけたくないと思った。ごめんなさいと云いつ

つ十一月の新緑の野を横切った。

四階のアパートに移ると、二種類の小鳥が同居

人と

ン。見上げると、梁に一本の釘。その夜、窓からじっと ら飛びたった。翌朝、探索してみると床の上に小鳥のフ なった。夜、ガラス戸をあけると、何かがバルコニーか

る。 目を凝らし外を眺めると、その釘の上に小鳥が眠ってい

早朝、ガラス越しに釘の上を見ると、まだ眠っている

して、プラスチック皿に小さな穴をあけ、天井から紐で ながら、フィービーの寝床を取去る気はなく、解決案と を手に戻ると、既に飛び去った後。床のフンは困りもの チャーとも呼ばれ、虫を食べる小鳥だ。コーヒーカップ ブラック・フィービーがいた。この鳥はフライ・キャッ

た。あどけない寝姿を見る度に、よく釘一本の上で眠っ ていて落ちないものだと感心するばかりだった。 夜眠っているフィービーの姿を眺めるのが日課となっ

ある午後、そのフィービーが天井に張った朝顔用の紐

吊るしてフンを受ける仕組みを考案した。

-98-

に感じた。「そうね、ここは貴方の家よ」「ここは僕の家」私の顔を見ながらそう歌っているようの上で幸せ一杯という表情でさえずっているのを見た。

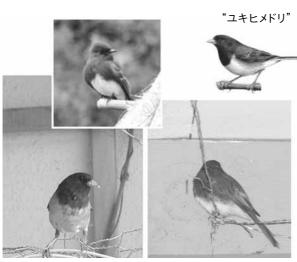
春になり、フィービーが帰ってこない夜が続き「鷹に食べられたか?」と心配していると、友人から「うちで食べられたか?」と心配していると、友人から「うちで食すけど、春はペアで巣を作り、ひなが巣立つとまた、らすけど、春はペアで巣を作り、ひなが巣立つとまた、らすけど、春はペアで巣を作り、ひなが巣立つとまた、

てしまった。 遠方から家族が帰ってきたように感じ、しばし、見とれをの数日後の夜、釘の上にフィービーが戻っていた。

小鳥や動物がしっかり我々人間と目を合わせる。 大鉢に巣を作り、子育てに挑戦。三度目にして我々の助な可愛い小鳥、「ユキヒメドリ」が同じバルコニーの植な可愛い小鳥、「ユキヒメドリ」が同じバルコニーの植な可愛い小鳥、「ユキヒメドリ」が同じバルコニーの植

パロアルトのアカデミックな雰囲気と豊かな自然に地

ニア・ミステリーだったのか?と同時に色あせてしまった。うーん、全てがカリフォル中海性気候。あんなに魅せられていたはずなのに、帰国



"釘の上のフィービー

女友達

藤俊也

遠

学したのち旅館に行った。ひとり旅は、私のほかに女性いた。私達の一行は、午後に島に着き、民俗博物館を見私は近畿日本鉄道のツアーで日本海の隠岐島に行ってもう十年も昔のことになるか。

苗字だ。

しょっちゅうだとのこと。は行けず、登り口で一人だけ待っていた。こんなことはは行けず、登り口で一人だけ待っていた。こんなことはここは丘の上にあって石段が長いので、足の悪い彼女黒木御所跡を皮切りに、後醍醐天皇の行在所跡へも。

事になる。私より七つ若い。その名は関位安代。珍しいこれが機縁で、私はこの女性とその後ずっと付き合う

かった。あとで娘さんが「母は勝気なところがあって、かった。彼女にこんな特技があるとは私は想像もしていながら節を弾いた。終わると花束を持った沢山の人に囲まがら節を弾いた。終わると花束を持った沢山の人に囲まれた。彼女にこんな特技があるとは私は想像もしている津軽三味線の会で演奏会を開くから来ないかと言う。折角軽三味線の会で演奏会を開くから来ないかと言う。折角軽三味線の会で演奏会を開くから来ないかと言う。折角軽三味線の会で演奏会を開くから来ないかと言う。折角をはいた。

私が行くことは知っていたので、一緒にこの仏像群を観で乗車したが、一行の中に関位さんがいるので驚いた。廻るツアーがあった。私はこれに参加。途中の新横浜駅こんなこともあった。湖北の十一面観音菩薩像を観て

稽古事には熱中した」と話をしてくれた。

にわざわざ訪問したと言う。

翌日は遺跡廻りだった。後鳥羽上皇が流されて住んだ

込んだ傑作として有名であり、是非拝観したかったとも中でも、髙月町渡岸寺の十一面観音像は井上靖氏が惚れてみたくなって急に参加することにしたのだとのこと。

けに足の悪い関位さんはさぞ難儀をしたことだろう。国東半島の古社寺と仏像も忘れ難い。起伏の多い山地だほかに、関位さんと一緒に行ったツアーでは、九州のほかに、関位さんと一緒に行ったツアーでは、九州の

緒に旅行する以外のときは、お互いに電話をかけ

学大橋病院に入院する一昨年九月まで続いた。静かな喫茶店で談笑した。こんなことは、彼女が東邦大だった。地下のすし屋で昼食を済ませ、そのあと五階の合って待ち合わせた。場所はたいてい渋谷の東急プラザ

生来の元気さを失くしていった。
は好転しなかった。長くこんな状態が続き、関位さんはは好転しなかった。長くこんな状態が続き、関位さんはまま病院生活となった。精密検査が続いたからだ。病状が一般であると言っていたが、退院せず、その年の夏、関位さんは胃の辺りが苦しいから東邦大

んがかなり悪化していて、打つ手がないとの事。私はそ娘さんの話では、本人には知らせていないが、膵臓が

見るのは辛かった。の後何度となく見舞ったが、日一日と弱っていく彼女を

になった。
彼女は十二月末に亡くなった。私はまたひとりぼっち



鉞」半島

尾 富 男

平

う人はいない。
の不便さのせいか、私の周囲には訪れたことがあるといていたが、この鉞の形をした本州北端の半島には、交通旬のことである。青森県にはこれまで何度も旅行で訪れ旬のことである。青森県にはこれまで何度も旅行で訪れ

いった風情だった。

ンタカーでこの鉞の柄を北上して半島を巡った。までは在来線を利用したが、大湊線には乗り換えず、レ私は、東京から新幹線で八戸に向かい、そこから野辺地私は、東京から新幹線で八戸に向かい、そこから野辺地観の格好をしているかどうかは空から見なければ実感

湾に面したこの町は、菜の花の作付面積が平成元年の時は興味があったのだ。下北半島の中間部に位置し、陸奥市に住んで久しいので、聞き及んでいた青森県の横浜に途中、横浜というところに立ち寄る。神奈川県の横浜

臨むべくもなく、観光客の姿もない寂れた最果ての町とらシーズンオフの九月では、菜の花畑での黄色い景観を観光資源とする町興しが盛んになっていた。残念ながれの製造販売、「菜の花マラソン」の開催など、菜の花点で全国第一位になって以来、無農薬栽培を謳った菜種

に入れたあの時の顔が可笑しくて今でも忘れられない」 るが盛んだっただけでなく、遠く中国向けの輸出品とし 易が盛んだっただけでなく、遠く中国向けの輸出品とし そのナマコだが、夏目漱石は「ナマコを最初に食した人 で外貨を稼いでいたと町の役場で貰った資料にあった。 学校に入る年の正月に酢の物に調理されたものを食した 学校に入る年の正月に酢の物に調理されたものを食した 学校に入る年の正月に酢の物に調理されたものを食した ながら、海鼠腸を美味そうに食べるのを見た母は、小 ながら、海鼠腸を美味そうに食べるのを見た母は、「口 ながら、海鼠腸を美味そうに食べるのを見た母は、「口 ながら、海鼠腸を美味そうに食べるのを見た母は、「口 ながら、海鼠腸を美味そうに食べるのを見た母は、「口

のも頷ける」と、その独特の食感を思うだけでもお酒が「ウニ、カラスミと並んで日本三大珍味の一つだという

と、懐しそうに語った

呑みたくなるのは完全に両親からの遺伝である。

で有名な大間町は、市に吸収されてはいない。町や、翌日向かう半島の最北端にあるマグロの一本釣り大の自治体「むつ市」に入る。通り過ぎたばかりの横浜さて、横浜町から更に車を北上させると、青森県内最

このむつ市は、南に陸奥湾を抱き、北に津軽海峡を眺め、このむつ市は、南に陸奥湾を抱き、北に津軽海峡を眺め、大のないの途中で、ひと時の安らぎを巡礼者に与いで、立迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたし、さ迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたし、さ迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたし、さ迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたし、さ迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたし、さ迷える霊を極楽に導いている。原生林に囲まれたは、霊場巡りの途中で、ひと時の安らぎを巡礼者に与ばの本体の大部分を占める。中央部には標高八百七十九銭の本体の大部分を占める。

を果たした。そのときの市名は「大湊田名部市」で、当とに由来する。昭和三十四年に全国に先駆けて町村合併の地方という意味の「陸奥湾を抱く下北半島の中心であるこの地方という意味の「陸奥国」と総称して呼ばれていた

時としては全国一長い漢字の名前であった。

に改称した、というから面白い。「初めて」「一番」が前にしてしまおうと、翌年日本で最初のひらがなの市名での命名に不便を感じて、いっそのことひらがなの名

好きな人たちが集まっているのだろうか?

恐山からヒバの原生林の中を北上すると、薬研温泉郷

りが、心底からゆったりした気持ちにしてくれる。既に宿の大浴場は総ヒバ作りで、湯屋の中に立ち込める香浴も、観光シーズンを過ぎた温泉浴前の楽しみ方である。狭く頼りない遊歩道を散策する。行き交う人もない森林に出る。宿でチェックインを早々に済ませ、薬研渓谷の

海峡が秋空の下で太陽の光を燦々と浴びていた。最北端の町大間に着く。目の前は北海道だ。紺碧の津軽軽海峡に沿って半島を回り込むように鉞の背を走ると、整海峡に沿って半島を回り込むように鉞の背を走ると、翌日、車を西に走らせると、昔、本州最北の鉄道駅が

していたいと同行の友と語り合った。

決まっている旅程を変更できるなら、何日でものんびり

今でも大間の男たちは、巨大なマグロの一本釣りに人

豊洲 今昔物語

瀬隆平

野

立ち並んでいる。を立ち並んでいる。を立ち並んでいる。を立ち並んでいる。を立ち並んでいる。と立ち並んでいる。と立ち並んでいる。と立ち並んでいる。

「本船を○○と命名する」と厳かに宣言。小さな斧がキラリと光り支綱が切断される。支綱といっても、実際にラリと光り支綱が切断される。支綱といっても、実際にこれで船を支えている訳ではない。この綱で支えられていたシャンペンが勢いよく舳にあたり割れるのだ。それを合図に、作業員が留め金をはずし、船が海に向かってを合図に、作業員が留め金をはずし、船が海に向かってで合図に、作業員が留め金をはずし、船が海に向かってが青空になびく。招かれていた近所の小学生が、手に持った日の丸の旗を力いっぱいふって歓声を上げる。 今から半世紀近くも前のこと、重工業会社に就職して

る唯一の大型造船所で、豊洲にあった。えるために、工場で勉強させられるのである。東京にあ自分が担当する製品がどのように造られるのか現場で覚最初に配属されたのが、造船所の輸出営業部門だった。

に、次々と船を造り続けていた。をつけて、ギリシャをはじめとした外国の船会社向け持って仕事にまい進していた。造船業も国際的に競争力当時、日本の経済は躍進しはじめ、皆が夢と希望を

進水式が無事終わると、関係者一同は車に分乗して、る姿たでの自分が緊張しながらその役目を果たしている姿た。後に経団連の会長になる土光さんが社長だった。営業が準備しておいた日本語の挨拶文を読んでもらう。それを若い担当者が英語に通訳するのである。通訳といっても、予め訳しておいた原稿を読むだけである。土光さても、予め訳しておいた原稿を読むだけである。土光さる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。それを合図に英文をマイクに向かって話す。入社しる。

懐かしく思い出す。

てくるが、そんな外国人を病院に連れて行って、慣れな 壁に繋がれて、艤装工事を行い最後の仕上げへと進むの い医学用語に苦労しながら通訳するのも、若い営業担当 きて、近くの宿舎に滞在する。中には体調を崩す者も出 まで続く。船の乗組員が引き取りのために日本にやって である。営業の仕事は船が完成して、客に引き渡される ちなみに、進水した後も多くの工事が残っている。岸

の仕事だった。 きる。まことに明るく開放的な空間だ。

ング・センターが建てられたのだ。 ておよそ三年前に取り壊され、その跡に大型のショッピ 造るという使命を持って生まれた造船所も、役目を終え は今や往時の面影はどこにも無い。百年前に洋式の船を た正にその場所に立っているのである。しかし、そこに 佇んでいる。かつて造船所があり、仕事で走り回ってい その頃の自分を思い出しながら、今、同じ豊洲の地に

で賑わっている。子供たちが広場に植えられた芝生の上 周りを見回すと、子供連れの若いお母さんや、 若者ら

> を、エスカレーターで昇り降りしながら見渡すことがで をそそる匂いが漂ってくる。三層に分かれた館内の全体 ニック料理の店もある。色々な料理をないまぜた、 並べる。築地の魚河岸の出店があるかとおもえば、エス 陳列されている。こぎれいなレストランがいくつも軒を がずらりと並び、色鮮やかな商品が客の目を引くように で遊びまわっている。ブティックやブランド物を扱う店

花が飛び散る薄暗い工場だったとはとても信じられな この場所が、鉄板をたたく音が響きわたり、溶接の火

い。誠に、今昔の感に堪えない。

行けるのだ。その脇には、造船所の象徴である大きなク スの乗り場として利用されている。お台場や浅草へ船で れば、ドックの跡である。あえて埋め立てずに、水上バ る者が見ると、より侘しさがつのる。 レーンがオブジェとして残されているが、昔日の姿を知 わずかに、当時の名残をとどめているものがあるとす

徐福夢男

·野寺 満 憲

小

始皇帝をも翻弄して日本に来たとされる徐福に関心を持橋」をカラオケの持歌にしながら、中国統一直後の秦・星野哲郎作詞・鳥羽一郎歌う「徐福夢男~虹のかけ

北まで散らばって二十以上残っている。縄文時代から弥漂着したのであろう。徐福神社が日本全国、九州から東る。当時の風まかせ潮まかせの航海のため、ばらばらに八十五艘の船団を率いて渡海してきたという人物であ外訓された童男童女や百工を含む三千人の集団を乗せたち続けている。伝承によると、紀元前二一九年、選ばれ

夢こそは 若さ支える天台烏薬 三国無双は那智の滝舵をとる 徐福 徐福 徐福は秦の夢男】【夢こそは薬めざして船出した 三千人の大ロマン 一つに束ね【まぼろしの まぼろしの 不老長寿の薬を求め 蓬

献をしたのであろう。生時代への移行期、随

殖産の神として祀られるほど地域貢

汗を流して得る喜びが「天国なんだね人の世の「木の徐福」徐福は胸によみがえる】【何よりも何よりも大空駆ける竜に似た「姿をいつも仰ぐたび」徐福

歌詞では始皇帝の不老長寿の薬を求めての遠征とされ

広く儒学を修め、天竺に赴き、仏学を学ぶこと七年に及たのではと思う。徐福は秦に滅ぼされた斉の名家の人で、ているが、始皇帝にも徐福にもそれを超える思惑があっ

良薬を持っている。これを服せば千万歳の寿命を保つこ海に蓬莱・万丈・瀛州という三神山があって不老不死の官位が昇進して頗る重用された。徐福上書して曰く「東んだ一流の学者であった。秦王政に仕えて勲功があり、

悉く許した。単なる不老不死の薬を求める準備にしては女五百人、大船八十五隻を要する」と。始皇帝はこれを装が要る。即ち、金・鉄・砂金・珠玉及び衣食器具と男とができる。これを求めんと請う。さらに、これを求むとができる。これを求めんと請う。さらに、これを求む

大げさすぎる。徐福には秦の暴政を逃れてのユートピア

た思惑があっての合意事業だったのではなかろうか。 づくり、 始皇帝には実り豊かな領土の拡大という隠され

張、楽人、衣類工女、酒造人、塩炊、鍛冶・鋳物師、 ど農業、捕鯨、 場合、中国に残る親族に累が及ぶのを恐れ、彼らに名を 地での生活のために、百工、即ちあらゆる技術者や五穀 の村民を守ったので彼らは都留郡と名づけた。 蚕を養わしめ、糸を作り、機を彼女たちに織らせた。紀 工、諸細工夫、 した。一行中には農夫、大工、 祖山大神宮初め各七廟を拝礼し、一行は大室中室に居住 わって、中央の高天原 の富士山に向かい、駿河湾に上陸して富士山の西をま 変え、住所も移すよう言い残している。富士山北麓の地 の種子、医薬の植物なども積み込んで出航した。失敗の の新天地開拓に向い、二度と戻らない決心をして、新天 元前二〇八年に逝去した」とある。 元の言い伝えによると、「徐福は漂着した熊野で三年ほ 徐福は前途ある若者を引き連れて永遠の楽土・日本で 医師などがいて自給自足できた。徐福は 製紙、医薬を指導した後に、最終目的地 (旧帝都) 壁塗、 の地に到着し、まず阿 鶴に化して富士山麓 漁人、紙師、 笠 石

> に驚嘆し、秦河勝に書写させて、「天皇記」「国記 る。徐福の家系や同行者の名簿も含まれている。五八九 太子は、徐福が集大成した日本創建時代にまつわる書物 年、富士山大神宮に勅使として派遣された十八歳の聖徳 した中国資料により古代中国史二巻も執筆したと伝わ さに感動し、漢字にして十二篇にまとめ、あわせて持参 徐福は日本語を学び、伝承されていた古代日本の豊か

深夜ドライブで横浜に帰った。 を祀った。そこを数年前に訪れ徐福に思いを馳せ、 を引き連れて移住した。その子孫は社嗣を立て徐福の霊 た。次男は姓を福島と称し、紀伊の熊野に一族五十余人 徐福の長男の福永は、父の後を嗣いで姓を福岡と改め 鳥羽のスナックに立寄り「徐福夢男」だけを歌って 同行の妻も、物好きも極

「旧事記」の編纂に反映した。

途、

まれり、と呆れていたろう。

け込んで職分を果たし、庶民が神社で感謝の祈りを捧げ てくれているのを眺めて満足しているのではなかろうか。 精神が、天皇家にも伝わり、多くの子孫が日本社会に溶 今、徐福は天国から自分が思い描いたユートピアへの

古稀 体の変化

浦 武

松 弘

たが、昨年は九月二日に退院することが出来て、健康を りのささやかな七十歳の誕生祝いをおこなった。 回復出来た事を噛みしめながら、妻と二人だけで久方振 の誕生日(九月三日)には病院内のベッドで呻吟してい 昨年は二度も虎の門病院のお世話になり、六十九歳

器内科の検査入院が何の問題もなく終了したので、同じ 気楽な気持ちでの入院であった。 十六日からの二泊三日の検査入院を決めた。二月の消化 六月五日、 循環器内科の藤本医師による定期検診で、

セントの狭窄で、加えて石灰化が激しく、ローターブレ が、左冠動脈の根元の狭窄が二本共に、七十五パーセン トに達していることが判明した。右冠動脈の九十九パー 薬剤溶出型ステント」の状況は極めて良好であった 十七日のカテーテル検査結果、一昨年の右冠動脈の

> ショックであった。 て、これで終了したと想っていただけに、言語に絶する イダーで削り、 薬剤溶出型ステントを血管内に留置し

コー、 部長及び主治医の田中医師より、妻と長女を交え、 た。六月二十九日午後六時、成瀬部長より、手術日が七 管機能検査、胸部エコーなど、色々と検査をした。 説明書をもとに手術の詳細説明がなされた。 月六日に決定した旨連絡を受けた。七月三日には、 日に一度退院して、二十九日の夕方再入院する事となっ エコー等の検査を行った。二十二日は胸部CT超音波エ バイパス手術のスケジュールがタイトなため、二十六 六月十九日、 頭部MRI、首部エコー等を行い、二十三日 スパイロメトリー、 腹部エコー、 頸動脈 は

た」とのことであった。十三日にはCCU室の隣の イパス手術は二時間で終了したが、止血に四時間かかっ 「四三二―一」室に移動し、午後五時からはリハビリを 七月六日のバイパス手術は成功し、 術後の説明で「バ

日には無事退院することになった。開始した。傷跡も非常に綺麗で回復も順調、七月二十五

し、八月四日に泌尿器内科の十五階に移った。医師に変わった。三十一日に消化器内科の十八階に移動までいた同じベッドに移り、担当医が消化器内科の菊池の夜中に緊急入院し、二十七日の早朝には、さきの退院の、食べた赤飯で腸閉塞を起こし、二十六日

テーテル療法を行う事が出来ない状況であった。を服用しており、これらの薬効を切らないと、腎臓のカス」「バイアスピリン」等の「血液サラサラ」にする薬医師に診て貰っていたが、循環器内科で「プラヴィック」一昨年の手術以来、血尿が止まらず、泌尿器科の安部

あった。

では、「血液サラサラ」の薬の薬効を止める必要がならず、「血液サラサラ」の薬の薬効を止める必要があり、尿道口より先穴カテーテルを挿入せねばの必要があり、尿道口より先穴カテーテルを挿入せねばならず、「血液サラサラ」の薬の薬効を止める必要があった。

でいた。安部医師は循環器内科の藤本医師とも打ち合わていた。安部医師は循環器内科の藤本医師とも打ち合わていた。安部医師は循環器内科の藤本医師とも打ち合わていた。安部医師は循環器内科の藤本医師とも打ち合わしたが、下半身麻酔での手術で、私は一番近くのモニターしたが、下半身麻酔での手術で、私は一番近くのモニターしたが、下半身麻酔での手術で、私は一番近くのモニターしたが、下半身麻酔での手術で、私は一番近くのモニター

生体結果も判明し、無罪放免となった。 九月二日退院して、九月十日の安部医師の外来検診でいない状況を、確認することが出来た。

は何だったか、と不可解な気持ちである。 八月に入ってから血尿も止まっており、昨年来の血尿

話になる羽目となった。 これで済んだと思っていたが、又々虎の門病院のお世

この頃である。 古稀の齢となり、体中の血管が狭窄するという、基本

ペンクラブ、そして思い出

的クラブ人生が続きそうである。

安 藤 晃一

夢を追いかけながら、しばらくは、とにかく、最低限は なおかしみ」(市川三喜訳するところの)に満ちた、そ に一度の宿題のお陰で、何とも興味のつきない世界を楽 さ、またその面白さを感じながら、ペンクラブからの年 に立ちはだかるのである。一方、短文を書くことの難し ラの志士」達が天下に物申す会であると言う最初のイン えがたい暖かい人々との触れ合いに支えられた自己満足 悠遊に投稿して会費を払う。このクラブでの何物にも代 のような短編の領域にほんの少しでも近づいてみたい。 しんでいる自分がいる。可能なら、意表を突く、「上品 トロダクションが、それに拘ろうとするためか、私の前 か、先ず苦手意識にも似た感情にさいなまれる。 会員」となってしまった今、悠遊の季節を迎えると何故 七年が経過したことに驚かされる。事情があって「休眠 悠遊も第十七号と聞くと、ペンクラブに入会して既に 「卒サ

私のペンクラブ入会のきっかけは、ある業界機関誌の私のペンクラブ入会のきっかけは、ある業界機関誌の上記では更々なく、振り返って見ると、会社生活が始まってこの方、纏まった散文など絶えて書いたことが無まってこの方、纏まった散文など絶えて書いたことが無まってこの方、纏まった散文など絶えて書いたことが無かった。「何故私に」と、その随想を頼んで来た技術者の人に訊ねて見た。「判るのです。あなたなら書けるとに急逝された。その誠実な人に出会い、別れが来た。そに急逝された。その誠実な人に出会い、別れが来た。そのとき、遠い、本当に遠い、忘れかけていた昔のことがのとき、遠い、本当に遠い、忘れかけていた昔のことがのとき、遠い、本当に遠い、忘れかけていた昔のことが

毎日、大宮から京浜東北線に乗り北浦和に向かう。途用紙一枚の随筆を提出させられた。受験勉強一点張りの男子高校一年生の国語のクラス、全員が四百字詰原稿

思い出された。

中 る。 は、 白が眩しい。 草の群落が見事であった。車内は、衣替えのブラウスの ら眺めていた。初夏、 京に越して行ったことを、担任の先生から告げられた。 と共に、上品で輝くような存在であったその子のこと い女生徒達の中に、小学一年のとき同級で良く話をした 言い知れぬ寂しさが残った。 人の女の子の面影を見た。聡明な鼻筋の通った面立ち その子は教室に現れなかった。その医師の家族が東 大人びた口調でそんな話をして朗らかに笑った翌 数十年を経た今でさえ鮮明に思い出すことができ 与野までの長い、また広大な操車場の景色を車窓か 「わたしは顔がまーるいからマリ子と言う名前な 「あっ、マリちゃんだ」その憧れでしかな 線路を幾重にもまたいで咲く月見

も優れた作品になる筈です」と書かれてあった。語るに原稿の欄外に朱書で「この作文はあなたの生涯の中で最の一枚のみが教師によって読み上げられた。返って来た四百字詰で綴った。翌週のクラスで、思いがけなく、そ四盲中での一瞬のときめきと、その忘れ得ない思い出を

は、と思うことがある。
まだに何処かで眠っていて、自分を支え続けているので籍」に入れて戸棚の奥深く仕舞った。時折、その箱がいの大切な体験であった。私はその作文を自分の「宝物のは面はゆいストーリーだが、それは私の少年時代の一つ



小倉山を借景とした龍安寺の庭園(画:安藤晃二)

奥州 胆 沢郡 の菅江真澄

大 月 和 彦

り、翌年八月津軽で飢饉の惨状を目にした後、南部領の 月に故郷の三河を出てから信州、越後を経て出羽に入 漂泊の旅行家菅江真澄は、 天明三年 (一七八三年) 四

に恵まれたこの豊かな地に三年間逗留し、知人友人の世 郡 地を歩きまわった。 話になりながら水沢、 (現在の奥州市) に入った。北上川中流域の水利水運 前澤、 江刺、平泉、松島などの各

鹿角、二戸、盛岡、黒沢尻を通って十月に仙台領の胆沢

事する当時の人々のくらしぶりを見ることができる。 葉』に詳しくつづられていて、伝統行事や労働などに従 この間の行跡が旅日記『かすむ駒形』と『はしわの若

の部屋で、濁り酒を酌み交わし「飲めや大黒、歌へや恵 た。村人が地主の家に祝詞を述べにやってきて、一段下 正月の行事など 農耕儀礼と結びついた行事が多かっ

> 比寿……」と祝い歌をうたって農作物の豊凶を占う楽し そうな行事。

る行事は、奥羽の特産だった馬を大事に飼育する風習だ 申の日に、馬を柵から恵方の方向に追い出して遊ばせ

ろうか。 節分も大切な行事だった。家族が「天に花さけ、

地に

て田畑を打ち返すしぐさで、田植唄を歌いながら雪原に いれた白粥を食べて病を防ぐというマメタテの行事も。 りで豆を焼いて天候を占う豆占いの様子も面白い。 みのれ、福は内へ鬼は外へ」とはやして豆をまく。 「物始」という仕事はじめの行事は、鋤と鍬を持ち出し

田植えの真似をして豊作を祈った。

若い男女が手に白粉を持って誰かれなく顔に塗りつけ

女花と呼ぶという。前年村に来た婿に乙女たちが泥をか ける風習も面白い。 知れず広い田の面に見える。森かげに咲く卯の花を早乙 ようとする「花かけ」も作物の豊凶を占う行事だった。 初夏の田植がいきいきと描かれている。白い菅笠が数 田植は夜明け前から始まり一日中続

く。蛍が袂に止まるようになるころ家に帰る。短い夏の

夜は寝るまもなく、夢を結ぶ暇もないほど忙しい。

表いきと描かれている。 こ、その間に交わされる会話など当時の婚礼の状況がいて、その間に交わされる会話など当時の婚礼の状況がいず麻のより糸で顔を剃る糸剪、花嫁の額に色とりどりのずをあてる風習、婚家に入るまでのさまざまな作法や儀布をあてる風習、婚家に入るまでのさまざまな作法や儀が、その間に交わされる会話など当時の婚礼を見にいく。花嫁が、近くの家

るにつれて酔いしれ、孫が傘と扇を持って唄い舞って長のような人もあるものか。領主から賜り物があったのもろっていて八十歳ぐらいにしか見えない。世の中にはころっていて八十歳ぐらいにしか見えない。世の中にはこのような人もあるものか。領主から賜り物があったのもざれざ来ていただいて…」と礼を言う。老婆は麻糸を紡ざわざ来ていただいて…」と礼を言う。老婆は麻糸を紡ざわざ来ていただいて…」と礼を言う。老婆は麻糸を紡ざわざ来ていただいて…」と礼を言う。老婆は麻糸を紡ざわざ来ていただいて…」と礼を言う。老婆は麻糸を紡ざわざ来ていたが、酒肴を開かれていたが、酒肴を持って唄い舞って長

る。貞任に追いついた源義家が「衣のたてはほころびに歩く。白鳥二郎行任の白鳥館跡と安倍一族の館跡を訪ね歩への古戦場 前九年の役の主戦場だった衣川付近を

寿を祝っていた。

いる。

けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ貞任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったところ真任が「年をへし糸の乱けり」と下の句を送ったからだった。

は断絶し、屋敷跡は水田になり、真澄の記念碑が建って村上家が送別の宴を開いた。そのときのメニューは、鮭村上家が送別の宴を開いた。そのときのメニューは、鮭上家が送別の宴を開いた。そのときのメニューは、鮭川沢郡徳岡の村上良知もその一人。ここを離れるとき胆沢郡徳岡の村上良知もその一人。ここを離れるとき

交流を綴った日記などが残っている。 運の船肝入などを勤める有力者だった同家には真澄との木常雄は最大の支援者だった。胆沢の大肝入と北上川舟木常雄は最大の支援者だった。胆沢の大肝入と北上川舟

あ 1 大村 湾が見えた

稲 宮 健

た。 が、 C)を建設して、ランドサット用の大型アンテナや受信 空から送ってくる航空写真と紛う鮮明なカラー 同時に運用と保守管理技法をも習得するはずであった **A社を通じて米国製品を購入し整備した。A社は購入と** 機は国産、 事業団は埼玉県比企郡鳩山町に地球観測センター 魅了された。その技術を日本で確立するため、 米国 しかし、 **[の地球観測衛星ランドサットが高度九一五粁の天** 画像処理用のコンピュータ・システム一式は 習得が不十分で事業団の信頼を失ってい 宇宙開発 の画像に Ê O

烈な受注合戦が展開されたが、幸い営業活動が功を奏し テムの仕様書が事業団から公示され、それに応じて各社 は提案書を提出した。A社を除き、 の開発が始まった。その後、この衛星用の画像処理シス 九八〇年代、 国産の地球観測用の海洋観測衛星一号 B C D社間の熾

0)

このような要求された処理内容をよく理解した上で、

てか、筆者の勤務するB社が受注した。 B社はこのプロジェクトの主契約者になり、

B社製の

域、 外放射計、 搭載センサ用の固有な画像処理ソフトを担当した。 態などを地球域で観測するものである。 センサはB社製のマイクロ波放射計、 めを担当した。B、C、D社は個別に、各自社製の衛星 コンピュータ・システム、統合ソフト、 陸域の表面温度、 D社製の可視熱赤外放射計で、 大気の水蒸気量、 C社製の可視近赤 海氷、 総ての取りまと v ずれも海 積雪の状

馴染の地図に適合するように新規な画素に変換し、 た大量のデータを一旦メモリに蓄積した後、 に移動して世界中の地球面の微細な映像を撮像し、 サは東西に首を振りながら、衛星周回運動に従い、 列島を北から南まで、五・六分で通過する。 情報を基に、 時刻付きの画素データをEOCに送る。EOCは受信し 原図を作る。その変換の処理量は膨大である。 衛星は高度九○九粁で地球を一○三分で一周し、 我々が普段使っているメルカトールなどお 衛星の軌道 各搭載セン 日本

ピュータ部門が、コンピュータ・ハードと、基本OSソ 悪しき風潮があった。仕方がない。コンピュータ部門を に取り掛かったが、受注時に共に協力したB社のコン れれば大型ソフト部でも付属品として一円で売るという の受注にのみ注力して、ソフトを軽視し、マシンさえ売 いてしまった。日本のコンピュータ業界には当時マシン フトを宇宙部門に提供した後、プロジェクトから手を引 後、 衛星画像処理コンピュータ・システムの設計

持つ宇宙部門の関連会社を巻込んで設計、製作を進めた。

設計が進み、

処理ソフトの全貌が見えて来た納入半年

間を要した。そのため、 題に突き当たった。 程前の総合試験に取り掛かると、初期に見積った規定枚 レー・プロセサをマシンに付加することにした。 大なので、 上の位置に変換する数式は複雑ではないが、 違いは付き物。 数の写真を三時間で仕上げるはずが、九時間も掛る大問 変換の繰り返し演算量が膨大になり、 衛星で撮像した原画の画素の位置を地図 国産初の挑戦、 急遽、 繰り返し演算専用 未知の分野に見込み 画素数が膨 長時 のア

短期間でマシンの構成を変更することは至難の業だ

取得できた瞬間であった。

当社の改修マシンに組み込み、各種試験を行い、 時期に再び統合作業に戻り、C社、 縮できる応急処置を完成させた。それから、年末の寒 が、 マシン本体とアレー・プロセサ間の固有なソフトの作成 接続後の動作確認を行い、 我々のなかのソフトの鬼と言われる技術者の指導で 処理時間を三分の一に短 D社の固有ソフトを 完成さ

せ、衛星の打ち上げを待つ状態に持ち込んだ。

٤

られ、 て、 常であることが確認され、いよいよ画像が送信され のざわめきと拍手が鳴り、 村空港の滑走路が真上から鮮やかに映し出された。 た。だが、曇天のため、 なった。いよいよ衛星は北海道に達し、 業団の幹部や各社の技術者が取り囲み、 る日になった。EOCのリアルタイム画像モニター ケットN─Ⅱ七号機で種子島射場から成功裡に打ち上げ 衛星は日本列島を南に去ろうした直前、 九八七年二月十九日に海洋観測衛星一号は国 軌道に投入された。投入後、 雲の画像ばかりが続き、 国産初のきれいな衛星画像が 衛星の基本性能が正 画像を送って来 画面に釘 大村湾と大 付に で来 産 口

能登門前町の総持寺祖院

田 道 雄

浜

ることであった。 今回の旅の目的は、能登、門前町の総持寺祖院を訪ね

の総持寺は「祖院」と呼ばれている。 横浜の鶴見に移転した。その後再建された、この門前町 横浜の鶴見に移転した。その後再建された、この門前町 あったが、明治中期の火災で僧坊の大半を失ったあと、 を が、明治中期の火災で僧坊の大半を失ったあと、 は登の総持寺は、十四世紀元享年間に曹洞宗の第四祖

だった。

「で、の日ペンクラブで能登出身のTさんに出会ってからは、OBペンクラブで能登出身のTさんに出会ってからから身近な存在であり、寺は昔からそこにあったと思っから身近な存在であり、寺は昔からそこにあったと思っから身近な存在であり、寺は昔からそこにあったと思ったった。

たNさんに現地で合流して、能登への旅は始まった。そう思って、先祖の墓参りに行くTさんと彼に同行し「ならば、能登に行き、総持寺を訪ねねばなるまい」

眼下には重畳たる山並みが果てしなく続き、谷間をうていた。十一月中旬の能登は、紅葉真っ盛りだった。登半島にさしかかると、眼下の山々は一面紅葉に覆われた。飛行機が紺碧の富山湾上空から高度を下げながら能

レットは、海に面した斜面にほんの数平米にしかならな能登の人々もそう思っているのだろう。観光パンフがら、山里の険しい田畑で働く人々の重労働を想った。

ねるように道路が走る。私は、その山深い地形を眺めな

を年貢米の代わりとして納めた「珠洲の塩作り」を、能の千枚田」や、炎暑のなか重労働に堪えながら焼いた塩い小さな田が何枚も何枚も折り重なるように続く「白米

登の文化財として誇らしげに掲げている。を年貢米の代わりとして納めた「珠洲の塩作り」を、

ている。ここの人々は自然の厳しさに虐げられ、縮この寺院の屋根は家々の屋根をさらに超えて、偉容を誇っるのだ。集落の家々は大きく、高く軒を掲げており、村るのだ。集落の家々は大きく、高く軒を掲げており、村たが、実際に能登を訪れてみると、すぐに、こうしただが、実際に能登を訪れてみると、すぐに、こうした

しの豊かさはどこからきたのだろうか。と戦ってきた人たちなのである。だが、この人々の暮らまって生きているのではなく、昂然と胸を張って、自然

あった北前船の一大根拠地であった。能登の人々は北前過疎の地であるが、江戸時代、ここは日本海運の主流でたことを思い起こさねばならない。いまでこそ、能登はそのためには、能登は山国である前に、海の国であっ

船を所有し乗り組んで、日本中を渡り歩いて交易し、そ

の富をここに持ち帰った。能登に散在する古い寺々の壮

まっすぐに西に延び、北前船の根拠地であった天領の黒は間違いない。総持寺の山門から参道は、海に向かって能登の海人によって支えられ、これまで栄えてきたことしたか、いまの私にはわからないが、総持寺がこうした人さが、この地のそうした豊かさを教えてくれている。

持寺を訪れ、その境内を散策しながら、この疑問が私のだが、なぜ船乗りと禅とが結びついたのだろうか。総

きを暗示しているのである。

島に至っている。この道は北前回船業者と寺との結びつ

心から離れなかった。

願う心があるのも当然である。禅の修行には、こうしたの上で働く人々には、航海の安全という現世利益を仏に得ない厳しさがある。一方、「板子一枚下は地獄」の海りを目指す。そこには衆生の救済は二の次にならざるを道元の曹洞禅では、僧はひたすら座禅に励み、己の悟

実はこの間は東南アジアのテラワーダ仏教の庶民との衆生の願いを受け止める余裕などあったのだろうか。

関係にも繋がるものである。二千数百年前の仏陀の教え

すら己の解脱を求める僧と、そうした修行僧の姿にマジを受け継ぎ、日々二百二十七戒もの戒律を守って、ひた

「ひたすらに悟りを目指し、修行せよ」という仏陀の教民の願いとのギャップはここでの問と同じものなのだ。カルなものを求め、悪霊の退散と幸運の将来を求める庶

の課題なのだと思いつつ、私は総持寺をあとにした。するギャップこそ、仏教の有り様を探る、私の古寺巡歴

たすらにブン(徳)を積む衆生の願いと。この一見矛盾

えに従い努力する僧と、仏陀に自分の後生を託して、

オペラを観る人々(ロイヤル・オペラハウス)

ンのオペラに行きましてね」と帰国して友人に話したい

人……とある。私はどの範疇に入るのだろうか。私のよ

甲 昌 利

都

行かなかった。いや、観に行けなかった。オペラもそう 沢で、富と繁栄の象徴だった。当時は王侯貴族しか観に も美しい。演劇的要素もあり、観客は魅了される。 いう階級のために作られた。一流の世界的指揮者による と言っている。一世紀前、オペラを観ることは大変な贅 オペラハウス」が建っている。通称コベント・ガーデン 八五六年に完成した豪華なオペラの殿堂「ロイヤル・ ンドンのウエストエンドに、ビクトリア時代の 一流のオペラ歌手による歌唱が聴けるし、

したがって、上流階級の人達だけが楽しむものとされ 舞台

> 見るに限る」とは、毎年ロンドンにオペラを見に来るオ を一度観てみたいというごく普通の観光客もいた。オペ が、せっかくロンドンに来たのだからオペラというもの 頼まれた。やはりお金持ちで貴族的趣味の方が多かった うな庶民はオペラに縁遠いが、ロンドンに駐在していた ペラ通のご婦人の弁である。 ラに関心の無い者にオペラの魅力を説明するには「一度 時は、仕事柄お客様からオペラのチケットの手配をよく

バロッティやドミンゴが出演した時などは、直ぐにプレ 高く、当時で百十八ポンド(約二万五千円)だった。パ だ。オペラの演目によって値段は違うが、この席が最も ではこの身分の差が、座席券の値段の差に変わったよう ルボックスかグランドティエールと決まっていた。現代 に出てくるような美しく着飾った貴族たちの席はロイヤ 差があった。モーツアルトを描いた映画「アマデウス」 配するかであった。昔の貴族社会には歴然とした身分の 私が一番苦心したのは、どのお客様にどの座席券を手

度は観てみたい人⑤「ロンドンでね、コベント・ガーデ

ペラ関連で職業的理由から行く人④オペラという物を一 ブな人々と思っている人②本当にオペラが好きな人③オ ていたが、現在はどんな人々が行くのだろうか。

ある旅行社の案内書によると①貴族階級に準ずるセレ

エリザベス女王やダイアナ妃はロイヤルボックスで観劇席で観劇すれば現在でも貴族的雰囲気に浸れるわけだ。ミアムがついて一枚五百ポンドにもつりあがった。この

される。

次いで、オーケストラストールとストールサークルと

な鏡が掛かっていた。貴婦人達がここで身繕いしてしずし な鏡が掛かっていた。貴婦人達がここで身繕いしてしずし な鏡が掛かっていた。貴婦人達がここで身繕いしてしずし を鏡が掛かっていた。貴婦人達がここで身 が出来るほどの広さ。左にワイン と、カクテルパーティーが出来るほどの広さ。左にワイン たったのがでを敷いた緩やかな階段があり、踊り場に大き しッドの絨毯を敷いた緩やかな階段があり、踊り場に大き しっドの絨毯を敷いた緩やかな階段があり、踊り場に大き しっドの絨毯を敷いた緩やかな階段があり、踊り場に大き と、カクテルパーティーが出来るほどの店さ。左にワイン た、カクテルパーティーが出来るほどの店さ。左にワイン た、カクテルパーティーが出来るほどの店を希望された。値 に、カクテルパーティーが出来るほどの店を希望された。値

には忍耐とかなりの体力がいる。なぜ入り口を別にしたぐ狭い勾配の急な登り階段になり、五階まで上り詰めるから入る。入り口から差別しているのである。入ると直これに対して、アンフィシアターは建物の横の入り口

ずと二階に登って行ったのだろう。

のだろうか。

た。オペラ好きの運転手はアンフィシアターの入り口かた。現代では馬車がロールスロイスやベンツに変わっんと分けたのです」と、イギリスの友人が説明してくれんと分けたのです」と、イギリスの友人が説明してくれんと分けたのです。階級社会の英国では入り口をきちの、手、王侯貴族は馬車に乗り、御者や下僕を伴って、オ「昔、王侯貴族は馬車に乗り、御者や下僕を伴って、オ

ら入っているのだろうか。

一昨年、久しぶりにロンドンを訪ね、ロイヤル・オペラハウスへ行った。手狭だったパー・レストランを拡張ラハウスへ行った。手狭だったパー・レストランを拡張ラハウスへ行った。手狭だったパー・レストランを拡張ラハウスの座席券売り場で聞いた話であるが、アというようがあるという。値段は五ポンド。これなら誰で製長椅子があるという。値段は五ポンド。これなら誰で製長椅子があるという。値段は五ポンド。これなら誰でも買える。全ての階層の人々にオペラを楽しんでもらおうという劇場側の「思いやり」が感じられて嬉しかった。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何時かグランドティエールのボックス席に座った。私も何が大い方は、

英語の下手な日本人

宅

三

劭

熱心に見ていたインテリらしい日本人に日本語で話しか た。彼女はケルン大学で東洋美術の研究をしている学者 風のドイツ人女性に話しかけられ、十分ほど雑談しまし ました。 て日本の年配者は英語ができないのか不思議だといわれ で手を横にふり、逃げるように立ち去ったと驚いていま けたら、「私は英語が判りません」という仕草で顔の前 で日本語が達者でした。数日前京都のある寺院で仏像を 予定で奈良・京都へ出かけたある日、法隆寺境内で学者 が完成せず、気がかりのまま、急に思い立ち四泊五日の した。ドイツ人も決して英語が上手ではないが、どうし |悠遊||第十七号の原稿締め切りが近いのに、 投稿原稿

問題です。

二年程前、

日本英語交流連盟(ESUJ)の創立十周

苦手ですが、今は英語が世界語になって、中学・高校で 争が始まり極端に英語の時間が少なかったので、英語が 昭和二年生まれの私の世代は、中学二年の時太平洋戦

> 語 政治家は原稿を読んでおり、演説が下手です。国語教育 読んでいるのは見たことがありませんが、日本の大半の と気がつきました。先進国の大統領・首相たちで原稿を が、日本人は大勢の前で日本語で話すのも下手な国民だ ですら読み書き中心で、話し方を重視しない教育方針が のでしょうか。このことは昔から気になっていました が悪いのか、あるいは日本人は外国語能力が低い人種な の英語授業時間が大幅に増えているのに、相変わらず英 特に英会話が出来ないのは、文部科学省の教育方針

る三人でした。 子さん、元日本開発銀行副総裁の緒方四十郎氏、外国か を聴講しました。司会・基調講演は元国連事務次長の明 らのパネリストはそれぞれの国で英語教育に携わってい 石康氏、日本側のパネリストは明石氏のほか、マーク寿 年記念国際シンポジウム「非英語国における英語教育_

暢なものでしたが、国連で三十年以上も活躍した明石氏 外国人パネリストたちの英語は何れも米英人並みの流

暮らしているマークスさんの英語も外国人パネリストに 英国人貴族と結婚して現在も主として英国で

でもこのような状態です。緒方四十郎君とは旧制高校の 外国暮らしが長く、国際舞台で活躍しているこの人達 比べると見劣りするものでした。

旨もやや不明確だったといっていました。 話合いました。明石氏とは長年の交流があるが彼の英語 はそれほど上手ではなく、今日の基調講演も長過ぎ、 同期生で六十年来の友人で、この日も講演の後三十分程

日本人が日本語での話も上手ではない事例をもうひと

える」に参加した時のことです。日本側の十数人の講演 間の国際交際シンポジウム「世界の中の日本の役割を考 記」を読む会「米欧亜回覧の会」創立十周年記念の三日 つ経験しました。岩倉使節団の公式記録「米欧回覧実

た。 者は数人の駐日大使経験者と日本研究専門の学者でし

者は何れも明治維新の研究者、海外十数カ国からの講演

でしょう。

て下手なのに比べ、外国人の講演は見易いパワーポイン 立派な著書のある有名な学者の日本語での講演も概し

道だと痛感させられます。

トを使った上手な講演が多く立派でした。

完璧な日本語です。最終日の締めくくりの会でパネリス ネシア大学日本研究所長のパクティアム・アラム博士の 最も印象的だったのは三十分の基調講演をしたインド

者の講演を見事にまとめながら、 の良さには感心しました。 トの一人として、日本人でも判り難い話をした日本人学 自分の見解を述べた頭

まれ、幼少の頃から英語に親しむ環境で育っているから 本人ですが、彼の場合は横浜の恵まれた貿易商の家に生 人なのは納得できます。ほぼ同年輩の坪内逍遥夫人は日 鈴木大拙・新渡戸稲造・野口英世らの夫人がすべて米国 ていますが、日本の有名人で英語の達人といわれている 語学上達の早道は、その国の恋人を作ることといわれ

子女の彼・彼女らは非常に考え方もしっかりして頼もし 学生会議の幹部たちと話す機会がありますが、殆ど帰国 毎年十二月の月例会では、岩崎さんが連れてくる日米 子供の頃に外国人と一緒に暮らすのが語学上達の早

ニューヨーク二泊三日

谷 英 浩

が、ボクは好きだ。

 \mathbb{H}

「DL006便は高度を下げつつニューヨークに近づく がらで、乗客はこの圧巻に息をのむ。やがて機は大きくがらで、乗客はこの圧巻に息をのむ。ミュージカル映画群が次々にクローズアップされる。ミュージカル映画群が次々にクローズアップされる。ミュージカル映画のエスト・サイド物語」のオープニング・シーンさながらで、乗客はこの圧巻に息をのむ。やがて機は大きくがらで、乗客はこの圧巻に息をのむ。やがて機は大きくがらで、乗客はこの圧巻に息をのむ。

いままドスンと着陸した。たが、この日は飛行コースが違ったのか、何の感激もなたが、この日は飛行コースが違ったのか、何の感激もな二十五年前に見たこういうシーンを家人に見せたかっ

にした。

はそれに喧騒とイエローキャブを加えたい。キース、テロが加わり、女なら五番街であろうか。ボク女神、エンパイア・ステート・ビル。男ならそれにヤンムューヨークと聞いて連想するのは、摩天楼、自由の

ロンドンでもパリでもないニューヨーク独特の活気、

オーンと叫んでいるようである。それを嫌がる人もいる笛、引き攣ったようなパトカーのサイレン…。街中がウ混沌、猥雑…。ビルの谷間にこだまするタクシーの警

に見ることと五番街のウインドウ・ショッピングを目的の鉄道に乗ることを目的とし、家人は自由の女神を間近り、家人には初めてのニューヨークである。ボクは近郊り、家人には初めてのニューヨークである。ボクは近郊に見ることを目的とし、家人は自由の女神を間近に見ることと五番街のウインドウ・ショッピングを目的の鉄道に乗ることを目的とし、家人は自由の女神を間近れる。

NEW JERSEY TRANSIT

あり、娘一家はその近くに住んでいる。向う支線がある。その中ほどにハズレットという小駅が鉄道である。途中ローウエイで分岐し、ベイ・ヘッドへジーの州都トレントンまでの五十八kmを結ぶ都市近郊ジーの州コークのペン・ステーションからニュージャー

ダイヤはまずまず正確で、電気機関車が十両ほどの客車昼間は一時間に一本のネットダイヤ。三度乗ったが、

心地も良くないが、途中駅ではかなりの乗降がある。 見るMLBシアトル・セーフコフィールドの裏を走る 見るMLBシアトル・セーフコフィールドの裏を走る 見るMLBシアトル・セーフコフィールドの裏を走る 見るMLBシアトル・セーフコフィールドの裏を走る 見なが、これは電車列車であろう。線路幅は標準軌、た またま乗った車輌は古びていて、レザーの座席のすわり またま乗った車輌は古びていて、レザーの座席のすわり

ラ特急」などと並走する。 線に合流してボストン=ワシントンDC間を走る「アセーさて、列車はハズレットから六駅先、ローウエイで幹 七十%くらいの乗車率。ビジネスマンもチラホラ。

轟音とともにハドソン川を潜って、途方も無く広い終着きて、複々線が三複線、四複線となり(これは壮観)、ちらっと眺めるうちに、四方八方から線路が押し寄せて目立つ。やがてニューアーク空港に離着陸する航空機を目立の、やがてニューアーク空港に離着陸する航空機を

ペン・ステーションに到着する。

SUBWAY

一日乗り放題七ドルのメトロカードを買って九路線に、大ってさえいれば、非常に便利で使い易い交通機関である。ひと昔前、絶対に乗ってはいけないと言われたである。ひと昔前、絶対に乗ってはいけないと言われた頃とは隔世の感がある。東京で言うなら東京駅も大手町頃とは隔世の感がある。東京で言うなら東京駅も大手町は上に出ると違っていることも多かったが、路線図が頭地上に出ると違っていることも多かったが、路線図が頭地上に出ると違っていることも多かったが、路線図が頭地上に出ると違っている上で乗りたいのメトロカードを買って九路線に入ってさえいれば、非常に便利で使い易い交通機関でに入ってさえいれば、非常に便利で使い易い交通機関である。

車輌は次駅表示のでるごく新しい車輌から、乗客に黒 中輌は次駅表示のでるごく新しい車輌から、乗客に黒 車輌は次駅表示のでるごく新しい車輌から、乗客に黒 をったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ なったとは言っても、日本のようにクッションのあるモ

さて、ニューヨークの地下鉄に拘った理由の一つ。ジャで、ブルックリンの東地区からハーレムを経てマンハッが大間違い。 A列車とはニューヨークの地下鉄(電車)が大間違い。 A列車とはニューヨークの地下鉄(電車)が大間違い。 A列車とはニューヨークの地下鉄(電車)で、ブルックリンの東地区からハーレムを経てマンハッタン北部を結ぶ八番街急行であることを知った。 「ジャで、ブルックリンの東地区から、A看板の電車(A列文を聴きにハーレムに行くなら、A看板の電車(A列文を聴きにハーレムに行くなら、A看板の電車(A列文を聴きにハーレムに行くなら、A看板の電車(A列車とは蒸気機関車だとばかり思っていた。

が、時間も無いのでそれは断念した。本来ならそこを起点にハーレムへ行くべきであろうた。本来ならそこを起点にハーレムへ行くべきであろうバーを潜ってブルックリン・ブリッジ駅まで行ってみバーを潜って変哲も無いA列車に乗って、イースト・リ



創作短編



吉田 邦彦

林檎

崎 礼 子

Ш

を枕元の電気スタンドに変えてから、そっと窓を開け 風呂から戻ると良平は寝息を立てていた。麻子は明り

た。冷気と共に川の音が流れ込んで来た。

か特別なことが必要だと思ったのだ。 いうのは感傷でしかなかったが、けじめをつけるには何 の最後の夜を、初めて二人で数日過ごした宿で迎えると この山間の温泉を望んだのは麻子だった。夫婦として

荒々しかった。麻子は二十年前を思い返した。あの頃は ように感じられた。流れの音は麻子の気持ちとは裏腹に 二人とも若かった。どんな所でも、何をしても楽しかっ 北の温泉街は夜気に包まれてひっそりと息づいている

た。だからこんな鄙びた宿がかえって良かったのだろう。

背後で良平が動く気配がした。振り返るとさっきまで

「あ、出たか」

良平が目を覚ました。

「疲れてるのなら寝ちゃっていいわよ」 麻子がそう言うと、良平は身体を起こして、「そうも

だけという状態だった。麻子が風呂から上がるのを横に 先に到着し、独りでご飯を食べ風呂にも入り、後は寝る いかないだろう」と呟き、眼をこすった。 麻子が宿に着いた時はもう九時を回っていて、良平は

なって待っていたらそのまま眠ってしまったのだ。 「おなかは空いてないのか」

「晩ご飯は何だったの。山菜おこわ?」

「懐かしくて美味しかった」 良平は頷いて言った。

「ここはちっとも変わらないわ。川の音も街の雰囲気も」

「山菜おこわも」

「何か貰ってこようか」

視線が合って、どちらともなく笑みがもれた。

と変わっていない。あの頃から時間が止まったままのよ 良平が立ちあがった。部屋には電話がない。それも昔

子も急に寒さを感じて窓を閉めた。川の音が遠くなった。 めくれていた布団を肩まで引き上げたところだった。麻

うだと麻子は思った。

そう言うと、「じゃあお湯を貰ってくるよ」と良平は「列車でパンを食べたから平気。お茶だけ飲もうかな」

ポットを持って部屋から出て行った。

からと麻子に言った。確か二十年前もそうだった。女将到着した時、迎えた女将が今夜はお客さんたちだけだ

今の麻子と変わらない年齢だったのだろう。

も同じ人物だ。その時はずいぶん年配に見えた。多分、

れど、麻子の方でも女将の顔に見覚えがあった。り、覚えていると言ったのである。まさか、と思ったけに泊まったと伝えはしたが、女将は麻子の顔を見るなで約の電話に出たのは女将とは別の女性で、二十年前

良平が戻ってきた。

「何か見つくろって持ってきてくれるってさ」

「こんな夜遅く悪いわ」

良平は部屋の片隅に寄せた座卓でお茶を淹れて麻子にいいじゃないか。何だか僕も小腹がすいた」

「あなたは女将の顔を覚えてた?」

勧めた。

「何となくだけどな」

「ご主人はお元気かしら」

ああ、と麻子は溜息をついた。やはり時は過ぎている「もう亡くなったらしいよ」

と思うと同時に記憶が鮮明に甦った。

り、絶景の穴場を教えてくれたりした。その夜、麻子と健在で、川で釣ってきた魚を串に刺して焼いてくれた

良平が布団に入ってまさに抱き合おうとした時、玄関の

部屋は玄関から進み、突き当りを曲がったすぐの所だっ方から女の喚き声が聞こえてきて、驚いて飛び起きた。

人の浮気相手が酔っ払って乗り込んできたらしい。主人たから、入口に近寄ると声がよく聞こえた。どうやら主

が壁に当たり廊下に落ちる鈍い音が絶え間なく聞こえ足音が近づいてきた。何かを投げつけているのか、物の名を呼び、出て来いと叫んでいる。突然、忙しげな

とられて、入ってきた主人の顏を呆然と見つめた。「ちょっと隠して」と飛び込んできた。麻子はあっけに

てくる。そこでいきなり目の前の戸が開かれ、主人が

出し「終わったか。全くかなわんな。いや、お邪魔さやがて物音が止み、主人は開けた戸の隙間から顔を突き

翌朝、給仕にやってきた女将は二人の前に手をついてと廊下には紅い林檎が数個転がっていた。

た。デザートは林檎であった。去って、狐につままれたような気分で朝食を食べ始めいつか相手の女に殺されるでしょう」と言った。女将が謝罪の言葉を述べた。「うちの人の病気は治りません。

声がして我に返った。女将が戸を開けて顔を覗かせた。とができず、実家から離婚届を送ったのだった。とができず、実家から離婚届を送ったのは半年程前になかった。良平の浮気相手がやってきたのは半年程前になか子はその時の女将のように泰然とはしていられな

手にした盆の上にはおむすびと小鉢があった。

「あの女とはなかなか切れなくてねぇ。殺されはしな麻子は明るく話しかけた。女将はぴんときたみたいで、「今、昔のことを思い出してました」

かったけど毒林檎に当たったんでしょう。ぽっくり逝っ

うに思えた。

そう言って愉快そうに笑い、部屋を出て行った。ちゃいました。相手が林檎農園の娘だったもんでね」

「罰が当たったということね」

子は黙々とおむすびを食べた。小鉢は膾だった。キャベぽつりと言うと、良平は気まずそうに下を向いた。麻

ツや人参の千切りに林檎が混じっていた。

し、「二十年前、あの人が逃げ込んだ部屋にいた方なん拭き掃除をしていた女性が頭を下げて朝の挨拶を口に拭き掃除っている良平を残して風呂に行くと、脱衣場で

湯船に浸かりながら思いが揺らいだ。今の麻子には、ですね」と言った。麻子はあっと声をあげた。

なぜ女将のような心境になれるのか、どうしても理解で

きなかった。

いた。デザートはやっぱり林檎だった。

部屋に戻ったら布団は片付けられ朝食の準備が整って

「もう一泊しない?」

に顔を上げた。怪訝な表情の中に嬉しさが潜んでいるよ麻子の言葉に、新聞を読んでいた良平が弾かれるよう

消えたラヴレター

中 江 賢 三

く劇のヒロインだった。僕のほうは野球部の花形だった。 二人の待合場所は、練習や稽古のない日の、南海線今 僕が初めて恋した昭子は、同じ高校の演劇部で例外な 「青い山脈」が歌われたそのころのことである。

僕の左腕を抱えこみ、歩を進めるごとに柔らかすぎる乳 房が、鋭敏なぼくの上腕を優しく撫でた。 なんば駅を降りると、待ちわびたように昭子の右手が

御堂筋を通って歌声喫茶「コンパ」へ。

宮駅一六時発、先頭車両の一番目の扉だった。

も、未来に描く夢――彼女は女優、僕は建築技師 うか」と、真剣に相談したこともあった。そして何より 命についても語らった。「青共に入ろうか、教会に行こ うなるかもしれないように思えた徴兵制度や社会主義革 二人の会話は、野球や演劇の話が多かったが、近々そ コンパを出たあとは、人波に紛れ込んで戎橋通りから

> ら、千日前のスバル座に吸い込まれるのだった。 法善寺――苔むす不動明王ににらまれて小さくなりなが ■映画が終わると千日前通りの路地裏に彷徨い出て、二

人はたまらず唇を思いっきり吸いあった。

てしまう。夢心地にさせられた僕もよろめきながら、彼 のを目撃した。「失神」まではいかなかったが、同じよう 大学生に、例の路地裏でその同じような姿を演じている 女の全身を支えるのに精いっぱいだった。 ところが、ある夜のことである。彼女が僕の知らない 彼女はキスの一回一回に失神したように身を投げ出し

な動作を何度も繰り返すというところが僕を憤激させた。 ケータイがないこの時代、僕の彼女に対する連絡は、 それでいて、二人の恋心はそのまま燃え続けた。

新聞部の彼女と親しいA君に頼んでいた。彼女の方は、

を境に彼女からばったり返事がこなくなったのである。 ルートが一番スムーズだったからだ。ところが、ある日 僕の家の近くのBさんを通していた。一方通行のその 確かに渡したのだけどなぁ、そのうち気持ちを聞いて

おいてやる」

バトルで時が過ぎ、そのまま五十八年の歳月が流れた。 A君はそう言ったが、これも一大事だった大学受験の

顔を出したときは会場がざわめいた。僕は折を見計らっ■みんな七十歳代の半ばとなって、昭子が初めて同窓会に

妻に内緒で初恋の人に逢うことの倫理性に加えて、ごいながらも、その時は「二人で会おう」と言い出せなかった。て彼女めがけて突進した。「聞きたいことがある」と強く思

らぬ好奇心がせめぎ合った。それに、わが青春のビーナちと、これだけは生きているうちに知りたいという只な主人が亡くなって直ぐという彼女の精神状況を慮る気持

|道頓堀のスタバに座った時の彼女の第一声は、後者が辛勝し一カ月後に私たちは密やかに会った。

スに会って、青春の気持ちを追体験したい。

した。「それにしても!」と彼女はうめくように言い首い、彼女は、その後A君から言い寄られ困った状況を話彼女の最後の手紙を僕が受けとっていないことを言まさに言おうとした言葉を先制されて僕は息を呑んだ。「あの時なぜ返事をくれなかったの?」

をかしげた。

かしら」 「なぜ、Bさんが私のレターをあなたに届けなかったの

そのとき、僕は数年前の同窓会の日、Bさんが

「本当言えば、私ともう一人もあなたのこと好きだった」

と言ったことに思い当った。

「あの頃に、君と大学生との濃厚なシーンを見たよ!」■そこで、僕はもう一つの謎解きにとりかかった。

「そうなの? D大の大学祭で?」

「違うよ!法善寺横丁の裏の例の場所だよ!」

男の子とラブシーンを演じることになったの。そのため「わかった!実はあの時D大の大学祭に雇われて、あの

のお稽古だったのよ」

彼女が看護師を演じる時も女工を演じる時も、病院や

のトゲがやっと抜けることとなったのである。
これで、僕の青春の二つの謎が解け、五十年来の失恋を知っている僕は、それを「半分」信じることにした。

「それはわからないけれど、私が大学に行かずすぐに結■「レターが届いていたらゴールまで行っていたかな?」

婚してしまったのはこの失恋に影響されたからだわ。本

当はそうではなかったのに!」

「僕も君の幻を追い続けた。その後恋愛らしい恋愛はし 沈黙が重くたちこめたあと僕は言った。

なかった。今日は君との恋が半世紀ぶりに蘇ったよ!」

それから、若かりし頃の愛のコースを歩くことにした。 二人は明るく笑った。

のようにした。しかし、どちらもそうはしなかった。

どちらかが、昔のようにして歩きだせば、どちらもがそ

当時の互いの肌触りを体にそのまま感じながら…。

茶」も「スバル座」も「食い倒れ」もなかった。キスを した路地裏にはラブホテルのネオンが瞬いていた。 川や道やポプラの樹々はそのままだったが、「歌声喫

とどちらかが言いだしたらどちらもが、 「入ろうか」

と言っただろう。しかし、立ち止まり顔を見合わせて

笑っただけで、どちらもそうは言わなかった。 昔を知る法善寺の不動明王の怒った顔が、老いた二人

のぎごちないランデブーを見つめながら必死に笑いをこ

らえていた。

屋がしゃれたカフェになっていた。 法善寺横丁から左をとってすぐ、道頓堀の手前のパン

「また会おうね」

「そうしよう」 どちらかが言いだせば、

わなかった。 ということになったにちがいないが、どちらもそうは言

■それからしばらく経った夕飯の時妻がポツリといった。

「えっ? あの僕の家の近所だったBさんか?」 「同級生のBさん亡くなったんだって…」

「そうよ。私あの子と友達から双子といわれたくらいよ」

僕は「そうだったのか」という言葉を辛うじて抑えた。

そのとき、僕が昭子とただ会ったに過ぎなかったのに

前の暗闇の中にゆらり溶けて行った。 心に刺さった自責のトゲが恋のトゲとともに、五十八年

かまだ分からない。 でも、Bさんと妻がどのようにして僕をシェアしたの

ペン俳句のこの一 佳句鑑賞 年

西

Ш 知

世

園正面入口に集まり、公園の中を散策、代々木青少年セ 立てくださり、ペン俳句句会は元気に続いている。一昨 ンターまでを吟行し、午後の句会となった。熱心に、楽 年十二月から中村晃也氏の参加は嬉しいことであった。 継いでもう三度目の冬が来た。頼りないまとめ役を引き 四月二日に代々木公園桜吟行を行なった。午前中に公 私が平間真木子先生から、ペン俳句の取り纏めを引き

しく歩いて成果のある句会となった

ら、飲んで食べて楽しい夜を過ごした。 れ家のようなレストランに集まり、 八月七日には暑気払いを兼ねて、築地の場内にある隠 小句会を楽しみなが

ていただく。 感謝とともに今年一年のペン俳句の成果をまとめさせ

西川 知世

甕の藍匂ふや梅雨の傘たたみ 野遊びの心に白き雲浮きぬ 霧冷の手に受取りしルームキー 日記書くことを律儀に冷奴 武蔵野に文豪多し花辛夷 雪にかはる春夜路上のギタリスト

掛軸の恵比寿笑みをりおらが春

石川

素屯

敗戦の野に赤とんぼ舞ひゐたる 夏の星歳の数ほど数へたる 辛夷咲く心の丈の広がりぬ マスクして運び来られし十夜粥

体調を調整しながら、熱心に句会に出てくださる。素屯 自分の心を預けて開放感に浸っているのである。 かって咲く辛夷の木の大きさが出ている。作者は白い花に く句会に臨まれている。「辛夷咲く」の句は早春に空にむ さんの句帳はいつもびっしりと句が書き込まれ、自薦厳し

	を木立哲学者めく独り言 見も知らぬ犬ついて来る夏の星 見も知らぬ犬ついて来る夏の星 を木立哲学者めく独り言 と木立哲学者の場示板 上田 信隆	田栗の袴つけたる律儀さよ がいいなに咲かせて花菖蒲 がいるなに咲かせて花菖蒲 があるないだかられ大試験
亀 井	上 田	大 泉
弘次	信 隆	子 泉
更の星。一緒に眺めていると感じる作者の哀惜の思いでり、この世にいる作者と逝った友の間にあるのは満天の気・この世にいる作者と逝った友の間にあるのは満天の大の抜毛を部屋隅に見つけ、新年に変わる時間の速さに大の抜毛を部屋隅に見つけ、新年に変わる時間の速さに大の技毛を部屋隅に見つけ、新屋隅に」の句では、愛作者の犬好きはことに有名。「部屋隅に」の句では、愛	では、 は は は は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は の る の の の の の の の の に の の の の の の の の の の の の の	活脱で実直な人柄がよくでている句が並ぶ。「五分咲 酒脱で実直な人柄がよくでている句が並ぶ。「五分咲 酒脱で実直な人柄がよくでている句が並ぶ。「五分咲

※1六年・宣ニよどの直初御空美しき未来疑はず 初参り一歩の先の光かな 来し方の光を集め雪中花 水原 亜矢子	初霜や木道光る尾瀬の沼 見せて闊歩するのは初夏の少し暑さを覚える宮抽斗に孫に貰ひし木の実置く ケッチ。軽妙な雅道さんの一面をのぞかせる。職退きて分に安んず麦の秋 揶揄されている。「膝小僧」の句は、現代の膝小僧のぞくジーパン街薄暑 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	古ショール天模索する占い師潮の香に濃淡ありぬ海霧の町鶏頭の無骨な紅を愛しけり
のようにからから持ち続またようにしている。 ぞれに思い描くことができる未来である。その未来を疑「初御空」の句にある、美しき未来は、読んだ人がそれ子さんの句を見るとき、いつもその叙情性に感服する。お忙しく、なかなか句会への出席はかなわないが、亜矢	合う。 自せて闊歩するのは初夏の少し暑さを覚える頃が良く似見せて闊歩するのは初夏の少し暑さを覚える頃が良く似ケッチ。軽妙な雅道さんの一面をのぞかせる。膝小僧を揶揄されている。「膝小僧」の句は、現代の若者のスルである。雅道さんはよく披講され、ヒコウ少年などと前句会でトップだった方が、句会の披講するというルー	覚。 覚。 覚。 がた。「秋の靴」の句、ふうん、男の人って夏靴から秋いた。「秋の靴」の句、ふうん、男の人って夏靴から秋いた。「秋の靴」の句、ふうん、男の人って夏靴から秋いた。「秋の靴」の句、ふうん、男の人って夏靴から秋いた。「秋の靴」の句、ふうん、男の人って夏靴から秋いた。「おんとする見也さんの視点は個性的である、しかも、言わんとする

駅員は駅長ひとり蚊やりたく 月かかるただ一輪の燈のごとく 十勝野の空の青さとヒマワリと 父いればこその故郷れんげ草 売店に汁粉の旗や山眠る

玉山 和夫

も雪もない穏やかな冬山をあらわす季語である。温かい 和夫さんは北海道出身の方である。いつもその望郷の思 汁粉を食べると、山歩きの疲れも吹き飛ぶことであろ 十勝平野の青い空とヒマワリが印象的。「山眠る」は風 いを句に託されている。「十勝野の」の句は広々とした

う。



(世話人 中村 將陸)

二〇〇九年「ペン川柳」勉強会の成果

川柳勉強会 世話人=平尾富男

クラブ創立二十周年の記念すべき年に、四年前に出版 一の会も、年末には六十七回を迎えました。

五年半を超える長期継続の分科会に成長した「ペン川

弾も、ペン川柳のメンバーだけでなく、「何でも書こう した文芸本『卒サラ川柳―不良老人たちの溜息』の第二

取り込んで、『卒サラも遠くになりにけり』として結実 で、会員有志とお客様を交えた総勢八十名強の参加によ しました。更には、十二月に外国人記者クラブの宴会場 会」その他分科会メンバーのショート・エッセイ作品も

るお祝いが出来ました。

削後の全作品が掲載されて、メンバーの意気込みも増 ページに掲載されると同時に、公開ホームページにも添 毎月の勉強会の成果も、合評・添削付きで会員専用 日頃の研鑽に寄与出来た一年でした。

不言

(!) 三旬です。

(順不同)(一部は世話人の選句)

以下は、この一年メンバー十一名が詠んだ自薦の優秀

1 福の神いつも隣でUターン

神

ニアミスで冷や汗三斗気も萎えて 汗

2

3 消し忘れすぐに気がつく妻の勘

酔雅

1 割り勘かおごりかつけか揺れ動き (割る)

2 3 職退いたいかに泳ぐか家の中 (泳ぐ) 舟をこぐふりして柔肌ちとさぐり

酔深

1 好きな酒過ぎて今宵も乗りそこね (乗る)

3 こりゃまずい女房の勘は神憑り

汗と恥かいて今あるオレの城

汗

神

2

周帆

ビキニ見て隣のコース目で泳ぐ (泳ぐ)

離れても重なり合いたい千切れ雲

2 1

3

乗り遅れドアの向こうに笑う顔

(乗る)

舟

昴

- 1 ステテコで枝豆ビール昭和村 $\widehat{\overline{\underline{\mathbf{g}}}}$
- 2 本命に意地が邪魔して乗り遅れ (乗る)
- 舟を漕ぐ社長の前でご進講 (舟)

3

西貢

1 隠し金割り前よこせと大合唱 (割る)

馬乗りにあえぐ夢覚め汗を拭く 舟方の手落ちでよろめく民主丸 舟) (乗る)

赤い糸間違えたわと山の神 神 安兵衛

3 2

一家(ひとつや)に貧乏神と山の神 神

そんな過去消しておしまい今が春 (消す)

零門

同窓会消えた名前に涙する (消す)

エレベーター乗らず筋トレ腰ねんざ (乗る)

光るもの妻は宝石オレさかな(光る)

だし

気が付けば泳がされてた鯛焼き君 (泳ぐ)

こりゃ酷い月も照れてか雲隠れ (雲)

2

1

損得

1 お前とは泣かせ泣かされ今となる

2 割れ鍋に合う綴じ蓋が見付からず 掴めないほんに貴方は雲のよう

(雲)

(割る) (泣く)

井波 3

2 1 雲の上仙人落ちそうローライズ ちょっと乗り古希を感じて途中下車 (雲)

(乗る)

すそ乱し泳ぐ姿に惑わされ (泳ぐ)

3

3

英語を読もう会

十月にプロマネ佐久間さんの訃報がありました。まこ 九月 金京 法一 A STRING OF BEADS by W.

とに悲しいことでした。

界に求めて、会員の広く、深い教養を披露し、磨く場と 昨年も政治、経済、古典、文学などの分野で題材を世

なりました。担当とテキストは次の通りです。(敬称略)

二月 月 松谷 野瀬 隆平 隆 Keynote Address by Obama NFL's Super atomosphere

佐久間直正 How to plan a town subdued by sagging economy

中村 将陸 As Indian Growth Soars, Child

四月 三月

Hunger Persists

五月 平尾 富男 The Safety Net, For Victims of

Recession

七月 六月 休 会

大泉 潤 LONDON by Edward Rutherford

> 八月 休

会

Somerset Maughm

野瀬 隆平 Concerning Japanese Women

十月

十一月

松谷

隆

Scramble to parcel out H1N1

vaccine

中村 将陸 Rising Debt a Threat to

Japanese Economy

十二月

なお同じ日に引き続き行われる「サロン21」でプロマ

ネ金京法一さんから、国内外の情勢について、深く鋭い

分析がレクチュアされます。

ご関心のある方の参加を歓迎します。

(プロマネ 大泉 潤

サロン21

試みた。

「○○八年九月十五日の投資銀行大手のリーマン・ブニ○○八年九月十五日の投資銀行大手のリーマン・ブニの代産の開発に端を発した株価暴落や金融機関の倒産は世界的な金融危機を招来した。それは百年に一度の危機とも言われている。当サロンはこの問題を二○○九年機とも言われている。当サロンはこの投資銀行大手のリーマン・ブニの人が表現している。

る投資信託証券の信ぴょう性が疑わしくなる。化されたサブプライム・ローン問題が起こると、あらゆろがなく、あらゆるものが疑わしくなるのである。証券もっている。いったん疑念の虜となるやそれは止むとこ

猜疑心が織りなすドラマともいえよう。 今回の問題は人間が持っている無限の欲望と深く暗い

(プロマネ 金京法一)

物と物との交換の補助手段であったお金は、やがてお金そのものを生み出す手段に変貌し、ITの進化発展を製機に、金融工学なる摩訶不思議なソフトを身につけて製機に、金融工学なる摩訶不思議なソフトを身につけて見先端の経済活動の手段となった。お金に無限の欲望を抱く人間はこのお金増殖ゲームにのめり込んでゆく。レ抗ノッジと称される、証拠金の何十倍もの投機ができるがレッジと称される、証拠金の何十倍もの投機ができる手法が駆使され、わずかな利益率で膨大な利益を上げるのである。



四 月	三月	三月			月	21 年		永年に	のため	当クラブ	う名の、	ヘル	1		1
大 庭	山 中縣 村	金 大京 平		上原	都甲	の掲載の		わたるご	このコニ	フ会員で	メールフ	スネット	ヘストニ	:	ンタ
定 男	正将	法 忠		利夫	昌利	の実績は		協力、	ソムは本語	(もあっ	ヾガジン・	rワーク:	ノイフォ	2	トネッ
けれど 「百年間で最大の不況」という	日本を襲う大不況の津波世界経済危機と日本の将来	年金のなかった時代雇用対策は国民総がかりで	ないか	サブプライム不況で年金は減ら	現代に蘇るドストエフスキー	は次の通り。(敬称略)		永年にわたるご協力、ご執筆、ご愛読を感謝します。	のためこのコラムは本年一月をもって停止されました。	当クラブ会員でもあった奥山社長が逝去されました。そ	う名のメールマガジンを運営していました。昨年十一月	ヘルスネットワーク社はベストライフオンラインとい	(1) ベストライフオンライン	•	インターネット関連
十二月	十一月	十月				九月		八月		七月		六月		五月	
吉 大田 泉	渡里	山上崎田		宍戸	大月	田谷		山縣	岩崎洋	野瀬	濱田	平尾	古川	浜田	清 水
邦潤彦	清	礼 信 子 隆		三春	和彦	英浩		正晴	洋一郎	隆平	優	富男	さちお	道雄	勝
私も一言・車内マナーについてスポーツビジネス	上海紀行	越中八尾へ~「おわら風の盆自己主張としての清き一票	泉	夜は混浴露天風呂「天城大瀧温	オーロラハンティング	秋の宮温泉郷「稲住温・	れば改善できるか	日本の低成長は何故か	「もったいない」	危機はラッキー	老いの	日本が一番?	ある年金生活者の実情	日	年金を巡る世代間戦争

小寺 裕子 格差社会 エジプト旅行記

(2) ダイヤモンド社

開が期待されます。

「問社の郵送同梱雑誌とホームページ向けの企画に、参加の予定で、事業開発局樋口氏と協議を進めています。加の予定で、事業開発局樋口氏と協議を進めています。

(プロマネ 大泉潤 上田信隆)



800字文学館賞」の作品公募

外の一般の人から懸賞募集した。目的は、当クラブの文 八〇〇字にまとめた随筆、 創作などの文章を、 会員以

ちが何を考え、それをどのように文章にまとめるかを、

筆活動を広く一般に知ってもらうと同時に、

一般の人た

我々自身も学び参考とすることであった。

作品が国内はもとより海外からも寄せられた。 募集の結果、 反響は予想以上に大きく、三一七編もの

果、次の作品が選ばれた。 クラブの中に設けられた審査委員会にて審査した結

最優秀賞 (深田祐介賞)

「主演女優賞」

浜口須美子

「炭坑節」 宇田 一紘

「妻で娘でハードボイルドで」

優秀賞

優秀賞

漆原 よつば 正雄 のこ

佳作

船に見る影」

佳作 「まごのて」

倉橋

雄二

40半ば過ぎの失業」

剛

最優秀賞に選ばれた作品を以下に掲載します。

『主演女優賞』

母は「生きることは演じること」という。

浜口

一九二〇年生まれの八十八歳。来年には卒寿を迎える。

家族四人の食事係であり、俳句を詠み、俳画を描き、

フラダンスを踊る。

名前は冨貴子。その日の行動によって、自分の名前を

使い分けている。

俳句の会に行く時は「冨貴女」。物腰まで知的になる。 台所仕事をするときは「おふきどん」。働き者である。

フラダンスの教室に行く時は「フキラ」。色気がある。

演じる役で、口紅の色も違う。 でも、それぞれの役に「おしゃれな」という形容詞が

ついている。

ロンを着け、手首にはリストバンドをはめている。 台所でのおしゃれな「おふきどん」は毎日違ったエプ

俳句の会に行くおしゃれな「富貴女」は、ダイアモン

ドが着いた眼鏡着用。

飾りとレイを着け、ハイビスカスのイヤリングがお気に稽古の時から手を抜かない。バフスカートにあわせた髪フラダンス教室に通う、おしゃれな「フキラ」は、お

入りである。

盛り上げ、度胸は女優そのものである。受けて、「生きてるだけで丸もうけです」とステージを受けて、「生きてるだけで丸もうけです」とステージをフラダンスの発表会では、最高年齢でインタビューを

ションは自由自在である。相手は謝って、慌てて電話をは、娘である私達夫婦と同居しているのに、シチュエーいしたのですか?」って、少し悲しい口調で尋ねる。母家に墓地の案内の電話がかかってきた時は「嫁がお願

いさんの役になりきっている。ので何もわかりません」と、インターホンの前でお手伝ので何もわかりません」と、インターホンの前でお手伝訪問販売の人には「奥様はお留守で、私は留守番のも

切るらしい。

ない意地悪は人生を楽しむことだと母を見て思う。昔、意地悪婆さんという番組があったが、人を傷つけ

う。

母は、いつ自分の人生の幕が降りても悔いはないとい

そういって、すでに十年は過ぎた。

じること。「自分」というタイトルのドラマの主人公をり少ないけど、舞台で演じる女優より、生きることが演

母の人生のドラマの観客数は、森光子の「放浪記」よ

演じている母に、主演女優賞をあげたい。

主人と一緒に上京して、参加されました。パーティーに、作者の浜口さんは、はるばる大阪からご十二月十二日に開催された当クラブ創立二十周年記念

(プロマネ 大越 田谷 野瀬)

Ĵ

追悼

佐久間直正さん



平成21年10月11日ご逝去 平成18年当クラブ入会

71歳

参宮橋の出会い 大

平

忠

小田急、参宮橋の改札口を出る

た。そこには短パン姿で大汗をか いている佐久間君がいた。 のあるやや甲高い大きな声が響い いもんだな」と感心すると、 「暑いのに走っているのか、 「おーい、大平」と聞き覚え えら

数年前のことである。昔の仲間

合点がいった。

なった。 何をしているのか」と聞かれた。 く彼は当クラブに入会することに いる。ところで君はこんなところで このときを契機にして、まもな 二〇〇六年初夏のことであった。

社した。

大きく光る目で異彩を放ち存在感 があった。 まに出てくると、あの大きな声と 合わせたことはない。しかし、た 手に専心し、教室では殆んど顔を 部でクラスが一緒だった。 佐久間直正君とは大学の教養学 彼は空

は と駒場を歩いたことがあった。か ないぞ」と真面目に言って、皆を つて教室のあった建物の前で、彼 俺、この建物に入った覚えが

俺の家はすぐ傍だ、毎日走って

唖然とさせたことがあった。 て活躍し、卒業して日本郵船に入 彼は卒業まで空手部の主将とし

の区別ができない」と言ったので の下町育ちで、話すときにヒとシ ぜだ」と尋ねたら、 に仙台一高の話をよくするので、 サンゼルス、ロンドン駐在の頃を にした。大学のクラス会も、 除いて必ず出席した。そんなとき や、生活を共にした仲間達を大事 仙台一高なのに東京弁なのはな 佐久間君は、生まれ育った土地 「下町生まれ

意地があるぜ」と、まくし立てた。 かったのは許せない。江戸っ子の 「幕臣のくせに薩長に刃向かわな あるとき、勝海舟の話になるや、

と、しきりに慨嘆していた。 県立では珍しい男子校だったのよ」 男女共学になったというニュース 男の大学になったというニュース はいのに

仙

:台一高には誇りと拘わりを

ピソードを、次いで『爺々寸感』当クラブでは、「何でも書こう会」では、当初『蚯気」に参加し、やがて「英語を読む会」では、なった。「英語を読む会」では、「何でも書こう会」では、当初『蚯灯の戯言』シリーズで自分史のようでは、「何でも書こう

えながら、鋭くかつ味わいある文た。いずれも独特のユーモアを交た。いずれも独特のユーモアを交ピソードを、次いで『爺々寸感』

章で佐久間節と親しまれた。

自分史で書いた失敗談は、彼の自分史で書いた失敗談は、彼のまったなと、こちらがはらはらすいた。よくぞ郵船で勤いた。とのですがはらばらずのない。

射神経のなせる技か、間髪を入れが読み終えるや、空手で鍛えた反が請み終えるや、空手で鍛えた反バーの原稿に対する彼のコメント

稿もさることながら、他のメン

「何でも書こう会」では、彼の原

間的魅力があったが故であろう。

彼の個性を生かした名門会社の懐

の深さも流石だが、それも彼に人

見抜くのも速いのかもしれない。炯々たるあの眼光で筆者の心理をで警抜な科白を吐くのである。

会を盛り上げてくれた功労者の

ず口を切る。例の大きな甲高い声

一人であった。

稿も書きためた。みんなによろしも「秋になったら行くからな。原大声だった。退院したときの電話くれ、その声は相変わらず元気なくれ、その声は相変わらず元気ないたと言っていたぞ」という。

き起こし、忽然と消えてしまった。十月十一日訃報を聞いたときには「そんな馬鹿な」と呆然とした。は「そんな馬鹿な」と呆然とした。は「そんな馬鹿な」と呆然とした。

人生無常を感ずるばかりである。本当に君はいないのか!

爺々寸感

佐久間 直 正

学校側の逆転勝訴とした。

もこの母親が勝訴していたという。最高裁はこれを覆し、

体罰の禁止

六年生女子のお尻を蹴飛ばしていた。これを見つけた男 押し付け強く注意したそうな。出来事はこれだけだが、 尻を蹴りにきた。教師は悪がきの胸倉をつかんで、壁に その後この男の子が、夜中に泣き叫ぶようになり、食欲 の臨時教師が注意したところ、今度は行きかけた教師の 熊本の小学校で、二年生の悪がきが、廊下を歩いている とが分かる。 事の次第は以下の通りである。 平成十四年、 爺さんだけで、世の中はたいへんなことになっているこ ので、何をいまさら、ということに集約されると思う。 しかし、大方の意見は、最高裁の判決は当たり前そのも 四月末にやっと、最高裁までいって学校側が勝訴した。 ただ少し注意して記事を読んでみると、知らないのは

> 呆れた母親とどう暮らしているのだろうか。 の子はどう成長したのだろうか。今中学生のこの子は、 がちゃんと説得したものだと思うのだが。その後この男 越して、今度は裁判だという呆れた母親は、昔なら周り は、こんな躾の出来ていない悪がきを、勝手に学校に寄 景として、「キレル」児童急増と、保護者からの過激な が、世間が変わってしまったのだと思う。今回の裁判で クレームがあるという。しかしどうにも納得できないの の争点は、「指導」か「体罰」か、という点で、その背 のである。世の中の常識を体現したような我々ではある いくのかと思うが、これがいわゆる世間知らずというも 我が世代からすれば、何でこんなものが、最高裁まで

ていた算盤で殴ったら、壊れた算盤から珠が教室中に飛 られているときに半畳を入れた私を、教師が思わず、持つ はその後も度々殴られた。懐かしく覚えているのは、叱 和二十二年に出来た。二十三年には小学四年になった私 ところで、体罰を禁止している「学校教育法」は、昭

も低下したとして、母親が訴えた。なんと一審、二審と

び出すのさ」と吹聴して歩いたように記憶する。び散った。その後暫く「偉い人の頭からは、光や珠が飛

に、たいした変わり様である。昔前までは、なんにせよ土木工事は有難く頂いていたのに、県知事などが反対する風潮が目立ち始めている。一日本で中央政府から押し付けられたダムや道路建設

大から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。 人から、昨年には二倍半の一五三万人に達したという。

> に黒人男性の犯罪が多くなると、女性の進学率が上がる は三パーセント減少するという。結果として結婚できな 常男の刑務所入りが一パーセント増えると、女の結婚率 にいると、この地域の結婚マーケットはどうなるか。 二十から三十五歳の黒人男性の三十パーセントが刑務所 同じ人種間で行われる。例えば九十六パーセントの黒人 る。これに関連して、昔、経済雑誌で読んだ米国の結婚 地域の安寧は大丈夫だろうかと、他人事ながら心配にな しの実施などが、検討されているという。こんなことで、 ということのようで、なんか妙な気がする。 い女性は、働くか大学へ行くことが多いという。要する 女性は黒人男性と結婚する。ニューメキシコ州の如く、 マーケットの話がある。当たり前のことながら、結婚は 収容数を減らすためには、刑期の短縮、 仮釈放の前倒 通

ぺんに剣突を食らうことになるのだろうか。りで、たいしたことも無い男でも、もてていたのに、いっ今度はどんな現象が起きるのだろうか。今まで、男日照ところで、多くの州で釈放された男性が帰ってくると、

人当たり三万二千ドルと計算される。

五百人を収容する刑務所の年間経費は千六百万ドル、

追悼

奥山融さん

七日、

肺炎のため逝去された。

享

年八十五。



平成21年11月7日ご逝去 85歳 平成13年当クラブ入会

り、

た。

奥山 社長の死を悼 橋

孝

蔵

嘗て松竹の社長であり、 尊敬す

い限りだが、しきたりに従い、

た。

お許しいただきたい。

奥山融さんは二〇〇九年十一月

べき経済人であった大先輩を「さ ん」づけでお呼びするのは心苦し 「さん」でお呼びかけすることを

秘めやかな葬儀になったのは松

劇場」を立ち上げるなど邦画発展

心にも大きな傷を残したことと思 竹クーデターが原因と思う。 彼の 親者を中心に一部の映画人も加わ 同月十二日、 家族や近

かに葬儀が営まれたとのことでし 約五十人が参列し、慎ましや

数千人を越えた。奥山さんの場合 去の際は、 映を傘下に持つ)徳間庚快社長逝 同じ映画人である徳間書店 お別れを告げる人々は 大

たに違いなかったと思われる。私 彼を追慕する数多くの人々が列し も葬儀がオープンであったなら、 も葬儀にはぜひとも参加したかっ

> わ れる。

武臣会長と奥山社長の確執、 務の解任を求める動議が出され、 聞は映画部門の不振の責任、 二分でこれを可決した。当時の新 根回しされていた重役陣はわずか 締役会で奥山融社長と息子和 九九八年一月十九日の松竹取 専務 永山 曲

ず、この世を去らざるを得なかっ ための専門チャンネル「衛星映画 よ」シリーズを定着させ、邦画 たのは誠に残念だ。「男はつらい まま、云い開きの機会も与えられ 奥山さんは一方的に断罪された の

を一生懸命に考え、

大きな貢献を

書いた。

の専横な行動などが解任の原因と

私は実のところ結果的には大した に口惜しがって見せた。 かれた」と奥山社長の前で大げさ 社長は立場上「できる男を引き抜 拶をしたのが始まりだった。 連れて行かれ、お世話になる旨挨 竹に入社する旨報告をしたとこ 仕事はできず、その後ずっと出来 ろ、ただちに奥山社長のところに 長にパーティ会場でお会いし、松 じて親しくしていただいた徳間社 丸紅が投資した映画「敦煌」を通 社を決めていた。私が勤めていた は常務)のお誘いに応じ、松竹入 ときはすでに息子和由専務 授賞式・パーティであった。この 九九三年の日本アカデミー賞の 奥山融さんとの出会い しかし、 (当時 徳間 は

ペリしか口にされなかった。

ユーモアのある英語のスピーチ

シャンパンの王様といわれるドン

も奥山さんだった。

ることはなかった。シャンパンは なものを選び、部下に注文させ ンス語のメニューの中からお好き で、カンヌ映画祭に赴いた時、ご ドの多い人だった。大変なグルメ 奥山さんにお仕えした。エピソー 一緒にお食事をする際、 メディアセンター常務として、 国際部長として、 あるいは神奈 自らフラ

Ш

らったことがある。その日のパ 映画館主たちの接待にあたっても に直行させ、日本から連れてきた 国際映画祭では空港からゴルフ場 もなかなかのものだった。 ティで早速やりだまに上がった。 私には良い部下と悪い部下がい ハワイ 1

ない男を演じてしまった。

だが、さらに周辺の知識を取得す

敗れた時、 が最初の選挙で善戦健闘はしたが 牧山ひろえさん(現参議院議 また、思いやりのある人だった。 しゃべり、笑いを誘った。 き使った」と面白おかしく英語で 朝から晩まで死ぬほど上司をこ るが、今日の部下は悪い部下で、 励ましの会を開いたの 員

を利用し、「シニア世代のオンラ 方から講演するようお誘いした。 と題するお話しを拝聴した。 イン雑誌〝BESTLIFE〟」 二〇〇〇年二月月例会の前の時間 を始められるとお聞きし、 「ベストライフ・ 奥山さんが新しい事業として オンライン」 私の

でく、三月の月例会では日本図書ライブ社・盛池社長、ネット図書館・横山館長を招き「デジタル出館・横山館長を招き「デジタル出館・横山館長を招き「デジタル出館の将来性」について勉強した。

現在、ベストライフには大泉さん、上田さんのお力により安定的に作品を掲載させていただいている。ここまで来るには、故北田さん、都甲さん、古川さん、松谷さんのたゆまない努力があったことは明記しておきたい。すでに何百もの作品が掲載された。出版不況の中で、コンスタントに会員が作の中で、コンスタントに会員が作品を発表できる場を確保されたことは、企業OBペンクラブにとっても良かったと思われる。

お互いに本を刊行しようと約束。ででなく述べ合うこともあった。りラブのランチに誘われ、現況をのます。

ツを導入したストレンジについて画界について、私は日本にスポーしたことがあった。奥山さんは映

書くことだった。その後、奥山さ

ておられなかった。出版社で何とんはもう書くのをやめたとのことれたものが書斎の机から発見されれたものが書斎の机から発見されたようだ。やはり書くことは止めたようだ。やはり書くことは止めたようだ。やはり書くのをやめたとのこと

吹ました。企業OBペンクラブ会 奥山さん本当にありがとうござ か取り上げてもらいたいものだ。

ます。心からご冥福をお祈りいた世話になったこと有難く思っていター時代に公私にわたって大変お私は松竹、神奈川メディアセン私にかたったのと思います。また

合掌

します。



奥山さんと私

都 甲 昌 利

になったのは「企業OBペンクラ界に君臨した奥山融さんとお会かして親しくお話が出来るよういして親しくお話が出来るようのといいよ」の国民的映画「男はつらいよ」の

ブ」を通してであった。

く聞くことになった。

立ち上げた。このサイトは中高年対象としたインターネットサイト「ベストライフ・オンライン」を出さんは二○○○年に中高齢者を出さんは二○○○年に中高齢者を出されたあと、奥

橋孝蔵さんである。新宿のヒルト時代に奥山さんの部下だった高

つきを実現してくれたのが、

松竹

ン・ホテルで北田前会長を交えてる。奥山さんも北田さんも京大卒の先輩後輩、直ぐに打ち解け、一度クラブに来て頂いて「ベストラ

ことで、日航の海外支店を通じて名度も低く、奥山さんは当会で海外にも広く浸透させたいというが、それにのよりではないが、それにのがではないが、とれにのでは、

に発送した。北田さんの勧めもあ会長に頼んでパンフレットを海外を私は頼まれた。当時の日航山地

海外在住の日本人に対しての宣伝

された。

たことなど、映画界の裏話を披露本立ての抱き合わせとして制作し

で、一度ゆっくりお話をお聞きし

クラブ」とも志向が一致するのホームページで、「企業OBペンの健康、老後や趣味などを考える

よういうことになった。この結び

が上がった。 会員の入会で当会もぐんと知名度ンクラブの会員になられた。大物り、これを契機に奥山さんは当ぺ

当たるとは思わず、正月映画の二分会当にも何度か参加された。松竹が配給した「ラスト・エンペケが配給した「ラスト・エンペケが配給した「ラスト・エンペケが配給した「ラスト・エンペラー」が中国寄りだと右翼から狙ラー」が中国寄りだと右翼から狙ったるとは思わず、正月映画の二分に対した。

は「日本映画史」のようなものを持ちであった。今思うと奥山さん勉強したい」と謙虚な気持ちをお「私は文才がないので、少しでも

「ベストライフ」のアクセス数をか。北田さんも熱心に勧めていた。書いて残されたかったのではない

増加させるため、奥山さんは我々

か自分にしか書けないもの、つまり一番得意とするようなものを書り一番得意とするようなものを書り一番得意とするようなものを書いてサイト上に掲載したいという比案をされた。クリック数を表示して、一位、二位と競争原理を持たるんだ。私の後任のITに詳しい松谷さんが中心になり、「エバーが招きんが中心になり、「エバーが出来事であった。松谷さんはスポーツ、石川さんは日本語、岩崎さんは英語と十名の会員が参加しさんは英語と十名の会員が参加しさんは英語と十名の会員が参加した。このシステムは費用もかさみ

「ベストライフ」の中に山崎ひさとして残っている。

フ(政治・年金・社会)」 のコラム

川知世さんである。奥山さんが入人者の山崎先生を招いたのも、一人者の山崎先生を招いたのも、お生主宰の「ベストライフ俳句

なも作って頂いた。で山崎先生と懇談したのがクラブで山崎先生と懇談したのが会している赤坂のメンバーシップ

をいつも嘆いておられた。 をいつも嘆いておられた。 をいつも嘆いておられた。 をいつも嘆いておられた。 をいつも嘆いておられた。

竹全盛時代から日本映画界が衰退奥山さんは自分の生い立ちや松

んが担当する「ベストシニアライ中止となったが、現在、大泉潤さ

に向かう時代のことを後世に残したいと常に考えていたと思う。「私の先輩に直木賞作家の深田祐「私の先輩に直木賞作家の深田祐にはのの先輩に直木賞作家の深田祐にがと常に考えていたと思う。

のバ型コチンの茶上だった。シャいないので応じられない」というがある。「まだ心の整理が出来てら如何ですか」と申し上げたこと

見つかったという。いずれ日の目れた後、一○○○枚ほどの原稿がし、新聞報道によると、亡くならのが奥山さんの答えだった。しか

挨拶に伺ってお目にかかったのが一昨年正月に高橋さんと新年の

を見るだろう。

惜しい方を亡くしてしまった。

ご冥福を心よりお祈りします。

企業OBペンクラブの本年の歩み

=平成二十一年(二○○九年)=

表(二〇〇九年)

年

月例会 (十五日)

・退会会員=森田茂

新入会員 = 中村晃也

(会員への敬称略

三月例会 (十六日)

新入会員=大越浩平、 小野寺満憲、小寺裕子

·会員講演 = 細谷博

『ジャズはクラシックを継承するか?

(ジャズ細胞を解剖する)』

四月例会(十七日)

『悠遊』第十六号合評会

五月例会 (十七日)

新入会員 = 田原敬

·会員講演 = 上田信隆、岩崎洋一郎

小冊子『ホームページ活用法』完成・配布

『ホームページのポイント』、『ブラジル漫談

六月例会 (十八日)

· 退会会員 = 釘澤淑郎

"出版最前線―編集者の視点から"

ゲスト講演 = 三重博一氏(新潮社出版部長)

新年会=①会員参加 ②招待参加ゲスト=二十五名 三十五名

(合計六十名)

二月例会 (十八日)

新入会員=福本多佳子、寺井融、新井良侑

·退会会員 = 福島英毅

・ゲスト講演=小野寺満憲

『悠遊』第十六号の完成・配布 『江戸ナイゼーション―江戸の「富国有徳」遺産を世界に」

会員講演 = 山崎礼子

『私の文章修業~のようなもの』

・創立二十周年行事プロジェクトの立上げ

①「出版企画(川柳+800字文学館)」

②「800字文学館」作品公募開始

七月例会(十六日)

新入会員=小西紀嗣、阿部典文

・ゲスト講演=小鷹信光氏(ハードボイルド作家、 訳家、評論家

翻

『私の物書き道 50年

八月例会 (夏休み)

九月例会(十七日)

新入会員 = 高口恵子

ゲスト講演=山田篤美

『探険帝国主義とギアナ高地』

十月例会 (二十日)

・退会会員=佐久間直正(逝去・合掌!)

会員講演=渡里清、 中村晃也

『コロラドでみたアメリカの義務教育』、

『フォト俳句の誕生

次期役員選挙投票開始

十一月例会 (二十日)

|観光の今日||現状と課題|

ゲスト講演 = 船山譲二氏(ロングステイ財団会長)

『卒サラも遠くになりにけり』上梓

· 「800字文学館賞」公募入選作発表

十二月例会(十七日)

·退会会員=大塚滋 ゲスト講演=日米学生会議

(恒例の現役大学生による活動報告)

・創立二十周年記念パーティーの開催(十二日)

年

、役員人事

二年目を迎える左記の役員が○八年に続き運営

に当る。

会 長(出版担当理事)

西川

副会長(事務局長)

平尾 **富男**

当里事) 大泉 三閏 都甲 昌利

(会計担当理事) 大泉

理 理

事

大平中

監事

理 理

(会計)

山縣 正靖

(デジタル出版を含め)を目指す。並行して、として、ホームページ内に蓄積された作品の出版

プロマネの選任によって推進する。

「七十歳の視点」等の新たな出版企画を意欲ある

③年齢、性別にとらわれず、遠隔地居住者も視野のようの食作している。

に入れた会員拡充活動を展開する。

三、会員数 (六十七名)

に十一名の新入会員があった一方で、物故者二名二○○八年末の会員数は六十二名。○九年度中

の会員数は六十七名となった。

を含む六名の退会者が出た。従って二〇〇九年末

退会会員=森田茂、福島英毅、釘澤淑郎、佐久間の名員製化プログラスであり、ア

融(物故 合掌!)

直正

(物故) 合掌!)、大塚滋、

子、田原敬、小西紀嗣、阿部典文、高良侑、大越浩平、小野寺満憲、小寺裕新入会員=中村晃也、福本多佳子、寺井融、新井

投稿活動を目指す。 て、ホームページの更なる改善と会員の積極的な①ペン活動の重要な情報発信・作品発表の場とし

②「掌編小説」

「川柳」等々の分科会活動の成果

二、二〇〇九年度の方針

口恵子

四 月例会会場の安定確保と活動拠点化

・二〇〇六年度一月から、代々木の「国立オリン 上げがセンターから公示され、会議費関連の出費 月から諸般の事情で、会議場の賃貸料の多少の値 分科会活動の拠点として定着している。○九年四 ピック記念青少年総合センター」が月例会・各種

が漸増しつつある。

Æ, 出版・オンライン投稿プロジェクト

(一)クラブの印刷媒体による発信の基礎である同人

想以上の出来栄えとなった。 れた。委員の地道な貢献と会員の協力により、予 誌「悠遊」第十六号が、二○○九年二月に発行さ

第十七号以降の発行に向けて、編集委員を一名増 **員し、編集委員三人体制が確立した。(「悠遊」**

編集委員=大平忠、浜田道雄、宍戸三春)

(二)電子雑誌「ベストライフ・オンライン」には前 年に続き「政治・経済・社会の目」および「年金」 のコラムに会員の投稿が行われた。新入会員の積

> ている。更には、新たに旅行記のコラムが企画さ 極的投稿も実現し、コラムの充実が維持発展され

れ、好評掲載が始まった。

して新たな躍進を図る準備が出来つつある。 また、ダイアモンド・ヴァンクラフト社と協賛

ロマネ=大泉潤、上田)

B/L経由で「映画試写会」への参画を開始

(三)電子雑誌「ナムコトラベル」は投稿先の都合に ムページに用意された。 し、独自の映画評論・エッセイのコラムが、ホー (担当=大泉、田谷)

トは終了した。(プロマネ=松谷隆、大月和彦) よりコラムが閉鎖され、残念ながら当プロジェク

(四)川柳勉強会も○九年末で五年半を迎え、毎月の

は、四年前に続く念願のクラブ編著出版が実現し 勉強会(句会)も六十七回を重ねた。十二月に

た。 (プロマネ=西川武彦、平尾富男)

(五)○八年経験した電子出版に引き続き、新たな出 (六)「何でも書こう会」から生まれた「800字文 版を模索中。(プロマネ=松谷隆)

-156-

環として、懸賞公募を成功させた。動が活発化したと同時に、創立二十周年行事の一学館」の公開ページ掲載によって、会員の投稿活

した。(プロマネ=野瀬隆平)による「ペン川柳」に協賛した本の出版にも参画これまでに書き溜められたショート・エッセイ

メンバーの中から各種文学賞への応募・挑戦も始果も累計一一六作品、リレー小説二作品となり、(七)○八年度より発足した「掌編小説勉強会」の成

希望と意欲に燃えている。(プロマネ=濱田優・まっている。将来的な文芸(小説)出版に対する

西川武彦)

六、ミーティング・勉強会

(一)「英語を読もう会」

発足以来九年目を迎えた長期継続の分科会活動 発足以来九年目を迎えた長期継続の分科会活動

プロマネの下、更なる発展を目指す。(新プロマ直正氏の急逝という不幸に見舞われたが、新たなえている。これまでプロマネを努められた佐久間乗効果として両分科会に併せて参加する会員も増乗程は「サロン21」と同日の開催となり、相

ネ=大泉潤)

(二) 「何でも書こう会」

編小説等を音読発表し、出席者全員で自由闊達に八○○字の文字制限で、エッセイ・論説・超短

したものを、有志が公開ホームページ「800字ここでの合評・修正提案を得て更に作品を推敲員の参加により、楽しい雰囲気の中で発展中。

平、大月和彦)

文学館」へ掲載している。(プロマネ=野瀬隆

投資銀行大手のリーマン・ブラザース破綻に端を二〇〇九年度は、その前年秋に起きたアメリカ

発した世界的金融危機を集中的に取り上げて勉強

批評し合う楽しい文章力向上の分科会は、新入会

金融論を併せ勉強した。(プロマネ=金京法一)済学と二十一世紀の金融自由化理論フリードマンのみならず、二十世紀後半の政策理論ケインズ経した。その原因・経緯・世界経済に及ぼした影響

(四)「IT勉強会」

を目的に「ホームページ活用法」の小冊子の発する」活動のための公開ホームページの利用促進第一義的レゾンデートルたる「書く」「外部発信第一義的レゾンデートルたる「書く」「外部発信のラブの活動案内、会員間の意見・情報交換を

ネ = 松谷隆、上田信隆、平尾富男) も必要上適宜開催することにしている。(プロマ も必要上適宜開催することにしているが、今後と 行・配布を行った。

(五)「ペン俳句会」

実力を内外に知らしめている。の成果「ペン歳時記」の閲覧者数の増加が、そのブのホームページで公開されている毎月の勉強会西川知世の指導による「ペン俳句会」は、クラ

ものと期待している。(世話人=中村將陸)本年はさらに多くのペン俳人が増える年となる

(六) 「ペン川柳会」

りにけり』の出版も果たした。(世話人=平尾富めにけり』の出版も果たした雰囲気の中で選句・句評員による和気藹々とした雰囲気の中で選句・句評員による和気藹々とした雰囲気の中で選句・句評回目を迎える長期継続勉強会となった。出席者全回目を迎える長期継続勉強会となった。出席者全

(七) 「掌編小説勉強会」

○八年に立ち上げた勉強会は、既に男女八人の○八年に立ち上げた勉強会は、既に男女八人の

濱田優、西川武彦)作者への創作意欲を刺激している。(プロマネ=作者への創作意欲を刺激している。(プロマネ=に二人の文芸会員が参加し、合評会を盛り上げ、現在、勉強会には作者以外にも常時作品の講評

七、まとめ

降の躍進を期待したい。も加わり、会員の若返りを更に求めながら来年以も加わり、会員の若返りを更に求めながら来年以

今後とも、時代の流れに後れを取ることなく、 ホームページへの投稿を含む「書き・発表」する ことをクラブ活動の中心に据えて「企業OBペン クラブ」の改革と前進を、会員全員の参加によっ て実現したい。その為にも、二〇一〇年以降の運 営を担う新理事・役員、運営委員ともども、会員 一丸となって更なる積極的な「ペン」活動に向 かって努力したい。

> 理事 浜田 道雄 (運営副委員) 理事 野瀬 隆平 (運営委員長)

> > 再選

理 事 事

(文責・事務局長)

八、役員の改選

の役員が、以下の通りに決まり、クラブの更なる年末に行われた次期(二〇一〇~二〇一一年)

発展の舵取りを担うこととなった。

副会長 平尾 富男 (事務局長) 再選会長 西川 武彦 (出版担当) 再選

執筆者名簿 (五十音順)

氏 名	(カッコ内は本名)	出身会社
阿部 洋己	あべ ひろき	キリンビール キリンビバレッジ
阿部 典文	あべ みちふみ	石川島播磨重工業
新井 良侑	あらい よしゆき	ダイセル化学工業
安藤 晃二	あんどう てるつぐ	三菱商事
石川 正達	いしかわ まささと	毎日新聞
稲宮 健一	いなみや けんいち	三菱電機
岩崎洋一郎	いわさき よういちろう	三菱レイヨン
上田 信隆	うえだ のぶたか	東芝情報システム
上原 利夫	うえはら としお	住友商事
鵜飼 直哉	うかい なおや	富士通
遠藤 俊也	えんどう としや	東京銀行、丸紅
大泉 潤	おおいずみ じゅん	三菱化学
大越 浩平	おおこし こうへい	NECインフロンティア(旧・日通工)
大月 和彦	おおつき かずひこ	労働省
大平 忠	おおひら ただし	三菱化学
大野 昰	おおの ただし	三井物産
大庭 定男	おおば さだお	三井物産、野村総研
小野寺満憲	おのでら みつのり	
亀井 弘次	かめい ひろじ	キリンビール
金京 法一	きんきょう ほういち	三菱商事・三菱総研
黒崎 昭二	くろさき しょうじ	新日鉄
高口 恵子	こうぐち けいこ	主婦
児玉 忠雄	こだま ただお	三菱銀行
小寺 裕子	こでら ひろこ	会議通訳
佐久間直正(故人)	さくま なおまさ	日本郵船
清水 勝	しみず まさる	明治安田生命(安田生命)
推司 忠志 ***	しょうじ ただし	石川島播磨重工業
杉浦 右蔵	すぎうら ゆうぞう	NTT、三菱電線工業
高橋 孝蔵	たかはし こうぞう	丸紅、松竹
田原 敬	たはら けい	和田製本工業
田谷 英浩	たや てるひろ	神鋼電機

氏 名 (カッコ内は本名)

出身会社

垂水 健一 玉山 和夫 寺井 融 都甲 昌利 鳥海 博 中川路 明 中江 賢三 中村 晃也 中村 爽 中村 將陸 新山章一郎 西川 武彦 西川 知世 野瀬 降平 橋本 政彦 浜田 道雄 濱田 優 平尾 富男 福本多佳子 古川 さちお(幸雄) 細谷 博 松浦 武弘 松谷 降 水原亜矢子 =春 三宅 劭 山縣 正靖 山崎 礼子 吉器 清巳 吉田 邦彦 渡里 清

たるみ けんいち たまやま かずお てらい とおる とこう まさとし とりうみ ひろし なかかわじ あきら なかえ けんぞう なかむら あきや なかむら そう なかむら まさみち にいやま しょういちろう にしかわ たけひこ にしかわ ちよ のせ りゅうへい はしもと まさひこ はまだ みちお はまだ ゆたか ひらお とみお ふくもと たかこ ふるかわ さちお ほそや ひろし まつうら たけひろ まつたに たかし みずはら あやこ みはる みやけ たかし やまがた まさやす やまさき れいこ よしざき きよみ よしだ くにひこ わたり きよし

中日新聞(東京新聞) 通産省、日英協会 民社党本部、産経新聞 日本航空 山一証券 ダイセル化学工業

三菱化学 日本工営 富士通 在日米海軍基地、統合人事部 日本航空 三菱倉庫 石川島播磨重工業 日商岩井 労働省 三菱化学 キャノン 日本航空 安宅産業、石川島播磨重工業 日立製作所、日立メディコ 伊藤忠商事 富士通 東急電鉄

関西ペイント 安田生命 山一証券

住友商事

信越化学

三菱銀行

後 集 記 編

りは編集者に重荷である。 次にお二人の名前が載って、こんなに嬉しいことはない。 である。本号では、黒崎さん、松浦さんが体調快復され目 稿である。もう一つ嬉しいのは、休筆されていた方の復活 とき、こんなにさびしい思いをするときもない。こればか しかし、前号まで健筆を揮ってこられた方の名前が消える 編集をやっていて嬉しいことは、新しい会員の方々の投 (大平)

か、と首をひねるのがうれしい私。おかげで、今年の「悠 経営者。そして、原稿をどう並べたら見栄えがよくなる ストの見積もりのチェックに驚異的な威力を発揮する会社 る。言葉使いと数字の表記にめっぽう強い編集長。印刷コ 次元での議論が飛び交い、編集方針も複雑かつ立体的にな 担当者が三人になると、それぞれの視点が反映されて三 の出来はいいと少々自負している。 (浜田)

見や勉強にもつながった。更に嬉しいのは、先輩委員お二 する分科会以外の会員の作品を丹念に読むことは新たな発 る時期もあったが、今はそれも楽しい思い出。自分が所属 そうもない校正作業に、驚きとともに若干の後悔が忍び寄 人の指導と人柄によって公私ともに多くの教えを受けたこ 新米編集員としては、膨大な量のメールと永遠に終わり

とで、いちどきに二人の兄を得た感がする。

企業OBペンクラブ同人誌

悠 遊」第十七号

二〇一〇年二月十五日発行

編集・発行者 企業OBペンクラブ会長

Ш 武

彦

毎日新聞東京センター

印刷所

株式会社 東京都千代田区一ツ橋一―一―

○三一三二一二一○四七九

企業OBペンクラブ事務局

平尾

連絡先

横浜市青葉区田奈町三三―二一(〒二二七-○○六四) Eメール:hirao3321@t04.itscom.ne

クラブURL: http://www.obpen.com

|菱東京UFJ銀行海老名支店(409)

 \Box

座

企業OBペンクラブ 会計担当 普通 1086096

-162 -